

Natrium carbonicum.

炭酸ナトリウム



炭酸ナトリウムハ無色透映ノ結晶ニシテ氣中ニ於テ風化シ一・六分ノ水竝〇二分ノ熱湯ニ溶解シ強アルカリ性ノ反應ヲ徴シ酒精ニ溶解セス

本品ハ百分中三十七分以上ノ純炭酸ナトリウム($Na_2CO_3 = 106,01$)ヲ含有ス

本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又之ニ酸類ヲ和スレハ泡沸シテ溶解ス(一)

本品ノ水溶液(一:30)ハ硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(二)又醋酸ヲ以テ過飽シタル後硫化水素水(三)竝硝酸バリウム溶液(四)ニ由テ變化スヘカラス又硝酸ノ過剰ヲ加ハタル後硝酸銀溶液ニ由テ十分時間以内ニ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス(五)

本品ノ硫酸性水溶液(一:30)ニ立方センチメートル(5ccm)ニ同容量ノ硫酸ヲ混和シ冷後之ニ硫酸亞酸化鐵溶液一立方センチメートル(1ccm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生スヘカラス(六)又ヨード溶液ヲ加フルニ之ヲ脱色スヘカラス(七)

本品ヲ「ナトロン」溶液ト共ニ温ムルニアムモニアヲ發スヘカラス(八)

本品一グラム(1gr)ヲ水五十立方センチメートル(50ccm)ニ溶解シタルモノヲ中和スルニハ少ナクモ七立方センチメートル(7ccm)ノ定規鹽酸ヲ費ササルヘカラス(標示藥メチールオレンジ溶液)(九)

壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

本品ヲ「ナトロン」溶液ト共ニ温ムルニアムモニアヲ發スヘカラス(八)

本品一グラム(1gr)ヲ水五十立方センチメートル(50ccm)ニ溶解シタルモノヲ中和スルニハ少ナクモ七立方センチメートル(7ccm)ノ定規鹽酸ヲ費ササルヘカラス(標示藥メチールオレンジ溶液)(九)

壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註 解)

(一)質性反應(二)暗色ノ沈澱ヲ生セハ銅、鉛、鐵ヲ夾雜スル徴(三)白澱ヲ生セハ亞鉛ヲ夾雜スル徴(四)硫酸鹽ノ試験(五)痕跡以上クロール化物ノ試験(六)硝酸鹽ノ試験(七)亞硫酸、次亞硫酸ナトリウム等ノ試験(八)アムモニウム鹽類ノ試験(九)定規鹽酸一立方センチメートルハ結晶炭酸ナトリウム〇・一四三〇八又無水炭酸ナトリウム〇・〇五三グラムヲ中和スル

ナリテ茲ニ消費セル該酸液七立方センチメートルハ無水炭酸ナトリウム〇・三七一グラムニ對應シ從テ本品ハ少ナクモ無水炭酸ナトリウム三十七・一%ヲ含有スヘキモノトス

(醫治効用)

内服ニハ制酸劑トシテ一日數回〇・五—一〇ヲ用ヒ外用ニハ咽喉加答兒ニ吸入劑トシテ〇・五—一%溶液ヲ用フ

Natrium carbonicum crudum.

粗製炭酸ナトリウム

粗製炭酸ナトリウムハ無色ノ結晶或ハ結晶性ノ塊ニシテ氣中ニ於テ風化シ二分ノ水ニ溶解シ強アルカリ性ノ反應ヲ徴ス

本品ハ百分中三十四・五分以上ノ純炭酸ナトリウム($Na_2CO_3 = 106,01$)ヲ含有ス

本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又之ニ酸類ヲ和スレハ泡沸シテ溶解ス(一)

本品一グラム(1gr)ヲ水五十立方センチメートル(50ccm)ニ溶解シタルモノヲ中和スルニハ少ナクモ六・五立方センチメートル(6,5ccm)ノ定規鹽酸ヲ費ササルヘカラス(標示藥メチールオレンジ溶液)(11)

(註 解)

(一)質性反應(二)無水炭酸ナトリウムノ最少含量三十四・五%ニ該當ス

(醫治効用)

主トシテ外用ニ洗滌及浴湯ノ目的ニ使用ス

Natrium carbonicum siccum.

乾燥炭酸ナトリウム

乾燥炭酸ナトリウムハ炭酸ナトリウムヲ粗末トナシ塵埃ヲ遮リ二十五度ヲ超エサル温ニ於テ全然風化セシメ次ニ四十乃至五十度ニ於テ乾燥シ其重量ノ半ハヲ失フヲ度トシ篩過シ製スヘシ

本品ハ白色輕鬆ノ粉末ニシテ之ヲ壓迫スルモ集團セス

粗製炭酸ナトリウム 乾燥炭酸ナトリウム

本品ハ百分中七十四分以上ノ純炭酸ナトリウム(Na₂CO₃≒106.01)ヲ含有ス

本品ノ試験ハ炭酸ナトリウムノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品一グラム(0.03)ヲ水五十立方センチメートル(50 ccm)ニ溶解シタルモノヲ中和スルニハ少ナクモ十四

立方センチメートル(14 ccm)ノ定規鹽酸ヲ費ササルヘカラス(標示藥メチールオレンジ溶液)(1)
壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註)

解 (一)定規鹽酸一立方センチメートルハ無水炭酸ナトリウム0.053グラムヲ中和スルヲ以テ茲ニ消費セル定規
鹽酸十四立方センチメートルハ炭酸ナトリウム0.742グラムニ對應ス從テ本品ハ少ナクモ無水炭酸ナトリウム七十四・二
%ヲ含有スヘキモノトス

(醫治効用)

炭酸ナトリウムニ同シ但シ一日數回0.2—0.5ヲ内服セシム

ONatrium chloratum.

クロールナトリウム

食鹽

NaCl = 58,46

クロールナトリウムハ白色ノ骰子形結晶或ハ結晶性粉末ニシテ純鹹味ヲ有シ氣中ニ於テ變化セス三分
ノ水ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴シ酒精ニ殆ト溶解セス

本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黃色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ「アムモニア水

ニ溶解スヘキ白色乾酪様ノ沈澱ヲ生ス(1)

本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス(2)

本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水、硝酸バリウム溶液又稀硫酸ニ由テ(3)又アムモニア水ヲ加ヘタル後極

酸アムモニウム溶液並燐酸ナトリウム溶液ニ由テ變化セス(4)又此水溶液二十立方センチメートル(20

ccm)ハ黄色血滴鹽溶液0.5立方センチメートル(0.5 ccm)ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス(5)

(註)

解 (一)實性反應 (2)カリウム鹽ノ試験 (3)金屬(殊ニ鉛、銅、鐵、亞鉛、硫酸鹽及炭酸鹽、又バリウム、カルチウム及スト
ロンチウム鹽類ノ試験 (4)カルチウム並マグネシウム鹽類ノ試験 (5)鐵ノ試験

(醫治効用)

内服ニハ一二茶匙ヲ單味ニ又ハ少量ノ水ニ溶解シ咯血、癩癩、硝酸銀中毒、鉛毒セル水腫ヲ殺ス目的ニ用ヒ又消化劑
トシ其他鹽酸分泌及新陳代謝ヲ盛ナラシムル爲胃加答兒、脂肪過多症、痛風、腺病等ニ常用ス外用ニハ膀胱劑、浴湯トシ又ハ「クロ
ールナトリウム、重炭酸ナトリウム各二・五ヲ水三〇〇ニ溶解シ慢性咽喉加答兒、氣管枝加答兒ニ吸入劑トシ其他急性貧血、
亞細亞虎列拉ニ皮下及靜脈内注射ス

Natrium iodatum.

ヨードナトリウム

NaJ = 149,92

ヨードナトリウムハ白色結晶性ノ粉末ニシテ引濕性ヲ有シ味ハ苦鹹ナリ0.6分ノ水並三分ノ酒精ニ溶
解ス

本品ハ百分中九十五分以上ノ純ヨードナトリウムヲ含有ス

本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黃色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ少量ノ「クロール水ヲ和シタル後クロ

ロフォルムヲ加ヘテ振盪スレハ之ヲ紫色ニ染ム(1)

本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス(2)

本品ノ粉末ハ濕潤セル赤色試験紙ヲ直チニ紫藍色ニ變スヘカラス(3)

本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水並硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス(4)又硫酸亞酸化鐵一小粒、過クロ

ール鐵溶液一滴及少量ノ「ナトロン滴液ヲ和シ微温ヲ與ヘ冷後鹽酸ヲ以テ過飽スルニ藍色ヲ呈スヘカラ

本品一分ヲ新ニ煮沸シ冷却シタル水十九分ニ溶解シタルモノニ澱粉溶液及稀硫酸ヲ和スルニ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス(六)

本品ノ水溶液(1:20)二十立方センチメートル(20 ccm)ニ二三滴ノ鹽酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ黃色血滴鹽溶液〇・五立方センチメートル(0.5 ccm)ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス(七)

本品一グラム(1g)ニ「ナトロン」液五立方センチメートル(5 ccm)「亞鉛」及鐵粉各〇・五グラム(0.5g)ヲ加ヘテ熱スルニ「アムモニア」ヲ發スヘカラス(八)

本品ノ乾燥シタルモノ〇・二グラム(0.2g)ヲ「アムモニア」水二立方センチメートル(2 ccm)ニ溶解シ振盪シツツ之ニ十分定規硝酸銀液十四立方センチメートル(14 ccm)ヲ加ヘ濾過シテ得タル液ヲ硝酸ヲ以テ過飽スルニ十分時間以内ニ溷濁セス又染色スヘカラス(九)

本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ五分ニ過クヘカラス(十)
壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註)

解 (1) 實性反應 $\text{Na} + \text{Cl} = \text{NaCl} + \text{J}$ (2) カリウム鹽ノ試驗 (3) 炭酸ナトリウムノ試驗 (4) 金屬並硫酸鹽ノ試驗 (5) チアンナトリウムノ試驗 (6) ヨード酸ナトリウムノ試驗 $\text{Na}_2\text{O}_2 + 6\text{NaJ} + 6\text{H}_2\text{SO}_4 = \text{H}_2\text{O}_2 + 5\text{H}_2 + 6\text{NaHSO}_4$; $\text{H}_2\text{O}_2 + 5\text{H}_2 = 6\text{J} + 3\text{H}_2\text{O}$ (7) 鐵ノ試驗 (8) 硝酸鹽ノ試驗 $\text{Zn} + 2\text{NaOH} = \text{Zn}(\text{ONa})_2 + \text{H}_2$; $\text{NaNO}_2 + 8\text{H} = \text{NH}_3 + \text{NaOH} + 2\text{H}_2\text{O}$ (9) 溷濁スルニ僅微以上ノ「クロール」又ハ「ブローム」又ハ「ブローム」ナトリウムヲ夾雜スル微是レ「ヨード」銀ハ「アムモニア」水ニ不溶ナルモ「クロール」又ハ「ブローム」銀ハ之ニ溶解スルニヨル又暗色ヲ呈スレハ「次亞硫酸ナトリウム」ヲ夾雜スル微 $\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_3 + 2\text{AgNO}_3 = \text{Ag}_2\text{S}_2\text{O}_3 + 2\text{KNO}_3$; $\text{Ag}_2\text{S}_2\text{O}_3 + \text{H}_2\text{O} = \text{Ag}_2\text{S} + \text{H}_2\text{SO}_4$ (10) 水分ノ試驗

(醫治効用)

ヨードカリウムニ同シ但シ長時間使用スルモ胃及心臟ヲ侵スコト少ナキヲ以テ優レ

Natrium nitricum.

硝酸ナトリウム



硝酸ナトリウムハ無色透映ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ引濕性ヲ有シ味ハ清涼ニシテ稍苦シ一分ノ水並五分ノ酒精ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵ス

本品ノ水溶液ニ硫酸亞酸化鐵溶液ヲ和シテ後硫酸ヲ加フレハ黒褐色ヲ呈ス又本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ之ヲ黃色ニ染ム(一)

本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト」硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス(二)

本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水ニ由テ變化セス(三)又アムモニア水ヲ和シタル後稀酸アムモニウム溶液並磷酸ナトリウム溶液ニ由テ變化セス(四)又硝酸銀溶液並硝酸バリウム溶液ニ由テ五分時間以内ニ變化スヘカラス(五)

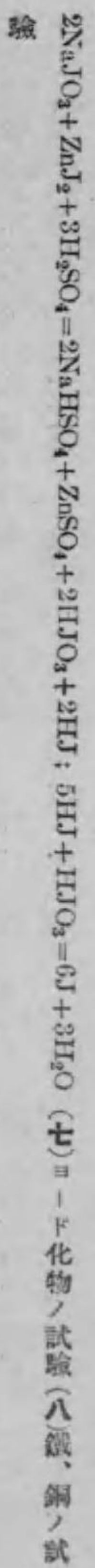
本品ノ水溶液(1:20)五立方センチメートル(5 ccm)ハ稀硫酸及ヨード亞鉛澱粉溶液ニ由テ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス(六)又此水溶液ハ少量ノ「クロール」水ヲ加ヘタル後クロロフォルムト共ニ振盪スルニ之ヲ紫色ニ染ムヘカラス(七)

本品ノ水溶液(1:20)十立方センチメートル(10 ccm)ハ黃色血滴鹽溶液〇・二立方センチメートル(0.2 ccm)ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス(八)

壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註)

解 (1) 實性反應 $2\text{NaNO}_3 + \text{H}_2\text{SO}_4 = \text{Na}_2\text{SO}_4 + 2\text{HNO}_3$; $2\text{HNO}_3 + 6\text{FeSO}_4 + 3\text{H}_2\text{SO}_4 = 3\text{Fe}_2(\text{SO}_4)_3 + 2\text{NO} + 4\text{H}_2\text{O}$ 生シタル酸化窒素ハ過剰ノ硫酸亞酸化鐵ト共ニ褐色ノ化合物ヲ生ス (2) 硝酸カリウムノ試驗 (3) 金屬殊ニ銅、鉛ノ試驗 (4) カリウム並マグネシウムノ試驗 (5) 痕跡以上ノ「クロール」並硫酸ノ試驗 (6) ヨード酸ナトリウム、亞硝酸ナトリウムノ試驗

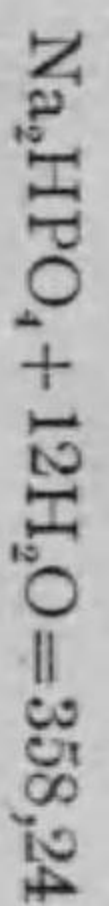


(醫治効用)

一日數回〇・五—一・〇ヲ利尿劑及解熱劑トシテ用フ但シ其ノ效ハ硝酸カリウムニ劣ル

Natrium phosphoricum.

磷酸ナトリウム



磷酸ナトリウムハ無色透映ノ結晶ニシテ乾燥氣中ニ於テ風化シ七分ノ水ニ溶解シ「アルカリ性」ノ反應ヲ徵シ四十度ニ於テ熔融ス

本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ硝酸並アムモニア水ニ溶解スヘキ黃堇ヲ生ス(一)此黃堇ハ温ムルモ褐色ニ變セス(二)

本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子」ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス(三)

本品ノ脱水研磨セルモノ「グラム」(四)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3ccm)ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス(四)

本品ノ水溶液(一:20)ハ硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(五)又硝酸ヲ以テ酸性トナスニ泡沸セス(六)尋テ硝酸バリウム溶液並硝酸銀溶液ニ由テ三分時間ノ後蛋白石濁ヲ起スニ止マリ(七)又其水溶液二十立方センチメートル(20ccm)ニ黄色血滴鹽溶液〇五立方センチメートル(0,5ccm)ヲ和スルニ變化スヘカラス(八)本品「グラム」(九)ヲ熾灼スルニ白色ノ殘留物〇三七乃至〇三八グラム(0,37-0,38g)ヲ遺ササルヘカラス(九)

壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註 解)

(一)第二磷酸ナトリウムノ實性反應 $\text{Na}_2\text{HPO}_4 + 5\text{AgNO}_3 = \text{Ag}_3\text{PO}_4 + 2\text{NaN}_3 + \text{HNO}_3$ (二)亞磷酸ナトリウムノ

試驗 $\text{Na}_2\text{HPO}_4 + 2\text{AgNO}_3 + \text{H}_2\text{O} = \text{Ag}_2 + \text{Na}_2\text{HPO}_4 + 2\text{HNO}_3$ (三)カリウム鹽ノ試驗 (四)砒素ノ試驗 $2\text{Na}_3\text{AsO}_4 + 5\text{SrCl}_2 + 16\text{HCl}$

$= \text{As}_2 + 5\text{SrCl}_4 + 6\text{NaCl} + 8\text{H}_2\text{O}$ (五)鉛、銅及鐵ノ試驗(六)炭酸鹽ノ試驗(七)痕跡以上硫酸鹽並クロール化物ヲ夾雜セサル(八)

鐵ノ試驗(九)理論上三七・一四%ノ焦性磷酸ナトリウム $\text{Na}_2\text{P}_2\text{O}_7$ ヲ生ス

(醫治効用)

緩下劑トシテ一五・〇—三〇・〇ヲ、又尿酸結石ニ尿酸溶解性利尿劑トシテ一日數回〇・五—二・〇ヲ用フ

Natrium salicylicum.

サリチール酸ナトリウム



サリチール酸ナトリウム(一)ハ白色無臭鱗屑狀結晶或ハ結晶性粉末ニシテ味ハ甘鹹ナリ一分ノ水並六分ノ酒精ニ溶解ス

本品ヲ試験管中ニ熱スレハ白色ノ蒸氣ヲ發シテ炭化ス此炭化物ハ酸類ニ由テ泡沸シ無色ノ火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ノ水溶液ハ鹽酸ニ由テ「エーテル」ニ容易ニ溶解スヘキ白色ノ結晶ヲ析出シ又本品ノ極メテ稀薄ナル水溶液(一:1000)ニ過クロール鐵溶液ヲ和スレハ紫色ヲ呈ス(二)

本品ノ水溶液(一:5)ハ無色或ハ微ニ類黄色ヲ呈シ酸性反應ヲ徵スルコトアルモ微弱ニ過クヘカラス(三)又

本品〇・一グラム(0,1g)ハ硫酸一立方センチメートル(1ccm)ニ泡沸或ハ殆ト染色セスシテ溶解セサルヘカラス(四)又本品ノ水溶液(一:20)ハ硫化水素水並硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス(五)又此水溶液二容量ニ

酒精三容量ヲ和シ之ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス(六)

本品「グラム」(七)ヲ弱ク熱灼シ其殘留物ニ熱湯ヲ加ヘ浸出シテ得タル液ハ之ニ二分定規鹽酸ヲ加ヘテ中和スルニ至ルニハ少ナクモ該酸液十二・四立方センチメートル(12,4ccm)ヲ費ササルヘカラス(標示藥メ

チールオランジニ溶液(七)

塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註)

解 (1) $C_6H_4(COONa)$ (2) ナル構造ナ有ス (1) 質性反應 $3C_6H_4(OH)COONa = C_6H_4CH + CO_2 + C_6H_4(ONa)COONa$ 更ニ熱スレハ炭酸ナトリウムヲ残留ス又 $C_6H_4(OH)COONa + HCl = C_6H_4(OH)COOH + NaCl$ (2) 本品ノ分解セルモノ又鐵ヲ含

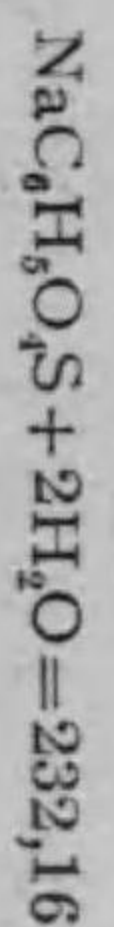
有セルモノハ類赤色、ナトリウム含量多キモノハ類黄色乃至類褐色、サリチール酸量多キモノハ著シク酸性ナリ (3) 泡沸スレハ炭酸鹽ヲ夾雜シ染色スレハ有機性夾雜物(粉塵其他不明ノ物質)ヲ混有スル徵 (4) 金属硫酸鹽ノ試験 (5) クロール化物ノ試験 (酒精ヲ添加スルハ硝酸ニヨリ「サリチール酸」ヲ析出ヲ妨クル目的トス) (6) 無機性夾雜物ノ試験而シテ本品ヲ熱灼スレハ炭酸ナトリウムヲ残留シ本試験ニヨレハ其三十二・八六%ヲ残留ス(本品ノ純ナルモノハ其三十三・一%ヲ残留ス)

(醫治効用)

解熱、鎮痛劑トシテ常用シ内服ニ急性價廉質斯ニ大量(一日量八・〇以内)ヲ、急性熱ニ二・〇―四・〇ヲ、急性亞急性神經痛、坐骨神經痛、偏頭痛等ニ一・〇―三・〇ヲ與ヘ其他尋麻疹、汎發性掻痒症、糖尿病、肋膜炎等ニ用テ本品ハ胃ヲ害シ易キヲ以テ食後ニ投スヘシ

Natrium sulfocarbolicum.

スルフオオ石炭酸ナトリウム



スルフオオ石炭酸ナトリウムハ無色透映稜柱狀ノ結晶ニシテ全ク或ハ殆ト臭氣ナク味ハ清涼ニシテ稍、苦シ六分ノ水ニ溶解シ中性或ハ殆ト中性ノ反應ヲ徵シ百五十分ノ酒精ニ溶解ス

本品ヲ熱スレハ石炭酸ノ臭氣ヲ發シテ炭化シ遂ニ固性物ヲ残留シテ燃化ス此残留物ヲ無色焰中ニ熱スレハ之ヲ黄色ニ染ム又本品ノ稀薄水溶液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈ス(一)

本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水硫化アムモニウム(三)又稀硫酸(三)ニ由テ變化セス硝酸バリウム溶液並硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス(四)

本品一グラム(一)ヲ熾灼スルニ約〇・二グラム(〇・三)ノ固性物ヲ残留スヘシ(五)
本品ヲ百二十五度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ約十五分ノ重量ヲ減失スヘシ(六)
塚中ニ容レ密栓シ貯ヘシ

(註)

解 (一) 質性反應 (二) 金属ノ試験 (三) バリウム鹽ノ試験 (四) 痕跡以上ノ硫酸並クロールノ試験 (五) 三十一・六%ノ硫酸ナトリウム含量ニ該當ス (六) 水分ノ試験

(醫治効用)

防腐、解熱ノ效アリ内用ニハ稀ニ消化不良、肺結核、風氣、空扶斯、赤痢等ニ一日數回〇・五―二・〇ヲ用ヒ外用ニハ腐敗性創傷、淋疾等ニ用フ

Natrium sulfuricum.

硫酸ナトリウム 芒硝



硫酸ナトリウムハ無色ノ結晶ニシテ微ニ苦味ヲ帶フル清涼ノ鹹味ヲ有ス乾燥氣中ニ於テ風化シ冷水三分、三十三度ノ水〇三分又百度ノ水〇四分ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵シ酒精ニ溶解セス熱スレハ容易ニ熔融ス

本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又其水溶液ニ硝酸バリウム溶液ヲ和スレハ稀酸類ニ溶解セサル白堊ヲ生ス(一)

本品ノ脱水研磨セルモノ一グラム(一)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3ccm)ヲ和スルニ一時

間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス(二)
本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水ニ由テ(三)又アムモニア水ヲ加ヘタル後磷酸ナトリウム溶液ニ由テ變化セス(四)又硝酸銀溶液ニ由テ五分時間以内ニ變化スヘカラス(五)又其水溶液二十立方センチメートル

(20 cm)ハ黄色血滴鹽溶液〇五立方センチメートル(0.5 cm)ニ由テ變化スヘカラス(六)
本品ニ「ナトロン」滴液ヲ和シテ熱スルニ「アムモニア」ヲ發スヘカラス(七)又本品ノ水溶液(1:20)二立方センチメートル(2 cm)ニ同容量ノ硫酸ヲ和シ冷後之ニ硫酸亞酸化鐵溶液一立方センチメートル(1 cm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生スヘカラス(八)

(註) 解

(一)質性反應 (二)砒素ノ試験 (三)金屬殊ニ銅、鉛、亞鉛ノ試験 (四)マグネシウム又ハ「カルチウム」鹽ノ試験 (五)痕跡以上クロール化物ノ試験又暗色ヲ呈セハ亞硫酸鹽ヲ夾雜スル徵 (六)藍色ヲ呈セハ鐵、赤色ヲ呈セハ銅ヲ夾雜スル徵 (七)アムモニウム鹽ノ試験 (八)硝酸鹽ノ試験

(醫治効用)

緩下劑トシテ一〇〇—三〇〇ヲ溶液トナシ用フ而シテ常用ニハ人工カル、ス泉鹽ヲ適當トス

Natrium sulfuricum siccum.

乾燥硫酸ナトリウム

乾燥硫酸ナトリウムハ硫酸ナトリウムヲ取り搗碎シテ粗末トナシ二十五度ヲ超ユサル温ヲ與ヘテ充分風化スルニ至ル迄放置シタル後四十乃至五十度ニ於テ乾燥シ其重量ノ半ハヲ失フヲ度トシ篩過シ製スヘシ
本品ハ白色鬆疎ノ粉末ニシテ壓迫スルモ集團セス
本品ヲ弱ク熾灼スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ十一・四分ニ過クヘカラス(二)其他ノ試験ハ硫酸ナトリウムノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ但其溶液ハ「ハ」ノモノヲ用フヘシ
壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註) 解

(一)水分ノ試験

(醫治効用)

硫酸ナトリウムニ同シ又人工カル、ス泉鹽ヲ製スルニ用フ

Natrium thiosulfuricum.

次亞硫酸ナトリウム



次亞硫酸ナトリウムハ無色透映無臭ノ結晶ニシテ約一分ノ水ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵ス約五十度ニ熱スレハ其結晶水中ニ溶解ス
本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ之ヲ黄色ニ染ム(一)
本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ加フレハ亞硫酸ヲ發シ其液暫時ノ後涸濁ス(二)又其水溶液ニ過クロール鐵溶液ヲ滴加スレハ暗紫色ヲ呈シ振盪スレハ其色漸次ニ消失ス(三)
本品ノ水溶液(1:20)ハ稀酸アムモニウム溶液ニ由テ涸濁セス(四)又一滴ノ硝酸銀溶液ニ由テ褐色或ハ黑色ノ沈澱ヲ生スヘカラス(五)又其十立方センチメートル(10 cm)ハ硝酸バリウム溶液〇五立方センチメートル(0.5 cm)ニ由テ涸濁スヘカラス(六)
本品ノ水溶液(1:20)ニ「ヨード」溶液ヲ加ヘテ微ニ持續スル類黄色ヲ呈スルニ至ルニ其液藍色試験紙ヲ赤變スヘカラス(七)
壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註) 解

(一)質性反應 (二)同 $Na_2S_2O_3 + 2HCl = 2NaCl + SO_2 + S + H_2O$ (三)同 $3Na_2S_2O_3 + 2FeCl_3 = Fe_2(S_2O_3)_3 + 6NaCl$

$2Fe(S_2O_3)_2 = 2Fe_2O_3 + 2Fe_2O_4$ (四)カルチウム鹽類ノ試験 (五)硫化物ノ試験 (六)硫酸ノ試験 (七)亞硫酸ノ試験 $Na_2SO_3 + J_2 + H_2O = Na_2SO_4 + 2HJ$ 然レニ次亞硫酸ナトリウムハ「ヨード」ト共ニ「ヨード」ナトリウム及四硫酸ナトリウムヲ生ス $Na_2S_2O_3 + 5H_2O = 2NaJ + Na_2SO_4 + 10H_2O$

(應) 用

主トシテ「ヨード」カリウム軟膏ノ原料ニ用フ

Natrum causticum.

苛性ナトロン

苛性ナトロンハ白色乾燥ノ塊片或ハ小槌子ニシテ破碎面ハ結晶性ヲ現ハシ強キ腐蝕性ヲ有シ氣中ニ於テ潮解シ水ニ容易ニ溶解ス

本品ハ百分中九十分以上ノ純水酸化ナトリウム(NaOH 40.0)ヲ含有ス
本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム(一)

本品ノ水溶液ニ過剰ノ酒石酸溶液ヲ和スルニ變化スヘカラス(二)又本品一グラム(一)ヲ水二立方センチメートル(2 ccm)ニ溶解シ之ニ酒精十立方センチメートル(10 ccm)ヲ混和スルニ少時ノ後極メテ僅微ノ涎滓ヲ析出スルニ止マルヘシ(三)又本品一グラム(一)ヲ水十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ之ニ石灰水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ注キ煮沸シタル後濾過シテ得タル液ヲ過剰ノ鹽酸中ニ注クニ泡沸スヘカラス(四)又本品ノ稀硫酸溶液(1:20)五立方センチメートル(5 ccm)ニ硫酸二立方センチメートル(2 ccm)ヲ和シ冷後硫酸亞酸化鐵溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生スヘカラス(五)

本品ノ水溶液(1:50)ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ變化セス又硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス(六)

本品四グラム(4 g)ヲ水ニ溶解シ百立方センチメートル(100 ccm)トナシタル液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ中和スルニハ定規鹽酸少ナクモ九立方センチメートル(9 ccm)ヲ費ササルヘカラス(標示藥メチーロオランジュ溶液)(七)

壇中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ
(註) 解 (一)質性反應(二)苛性カリノ試験(三)炭酸、クロール及硫酸ノ「ナトリウム鹽類等」ノ試験(四)炭酸ナトリウム四・二

四一四・七七%以上ヲ夾雜セサル微(苛性カリ)ノ條ヲ參照スヘシ(五)硝酸及亞硝酸鹽類ノ試験(六)僅微以上ノ硫酸鹽又ハ「クロール化物ヲ夾雜セサル微(七)定規鹽酸一立方センチメートル」ハ水酸化ナトリウム〇・四〇〇一グラムヲ中和シ從テ純水酸化ナトリウムノ最少含量九十%ニ該當ス

(醫治効用)

苛性カリニ同シ只其作用緩和ナルノミ

Oleum Amygdalarum.

扁桃油

扁桃油(一)ハ苦扁桃或ハ甘扁桃ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ淡黄色澄明ノ液ニシテ殆ト臭氣ナク緩和ノ味ヲ有シ比重〇・九一五乃至〇・九二〇、ヨード數九十三乃至百ナリ(二)

本品ハ敗油性ノ氣味ヲ有スヘカラス之ヲ冷却シテ零下十度ニ至ルモ固結スヘカラス(三)

本品二立方センチメートル(2 ccm)ヲ發烟硝酸及水各一立方センチメートル(1 ccm)ノ混液ニ和シ十度ニ於テ劇シク振盪スルニ類白色ノ混和物ヲ生シ赤色或ハ褐色ヲ呈スヘカラス此混和物ハ二乃至六時間ノ後白色固形ノ塊ト殆ト無色ノ液トニ分離スヘシ(四)

本品十立方センチメートル(10 ccm)ヲ「ナトロン」液十五立方センチメートル(15 ccm)及酒精十立方センチメートル(10 ccm)ト共ニ三十五乃至四十度ニ於テ放置シ混和物ノ澄明トナルニ至リ水百立方センチメートル(100 ccm)ヲ注クニ澄明ノ溶液ヲ得ヘシ(五)此溶液ニ鹽酸ノ過剰ヲ加ヘテ析出セシメタル油液(六)ヲ分取シ温湯ヲ以テ洗滌シ重湯煎上ニ放置シ澄明トナリタルモノハ十五度ニ於テ液狀ニ止マルヘシ(七)此油液一容量ハ酒精一容量ニ澄明ニ溶解シ十五度ニ於テ固性ノ脂肪酸ヲ析出セス更ニ酒精一容量ヲ加ヘテ稀釋スルモ溷濁スヘカラス(八)
本品ハ杏仁油ニ代用スルコトヲ得

(註)

解 (1)主成分ハ油酸グリセリンエステル即チ油脂 $C_{18}H_{34}O_2 \cdot C_3H_7O_2$ トス(II)ヨード數ハ凡例ニ於ケル如ク檢定スヘシ
 例之ハ秤取セル扁桃油ノ量ヲ〇・三二四グラムトシ「ヨード昇液」價値ヲ四十四・八トシ又過剩ノ「ヨード」ヲ還測スルニ次
 亞硫酸ナトリウム液二十・三立方センチメートルヲ要シタリトセハ二十四・五立方センチメートル(48-50%)ノ次亞硫酸鹽液
 ニ對應スル「ヨード」ノ量即チ $24.5 \times 0.012692 = 0.311$ グラムカ扁桃油〇・三二四グラムト化合セルモノナリ從テ次式ニ從ヒ「ヨ
 ード數ハ九十八・九トス $0.3145 : 0.311 = 100 : x$ 而シテ「オレーフ油、胡麻油ノ如キ他ノ油ヲ夾雜スレハ」ヨード數ハ既定數ヨリ
 モ低ク或ハ高シ(III)オレーフ油、落花生油ノ如キ硬脂酸グリセリンエステル即チ硬脂ヲ含有スル他ノ油類ヲ夾雜セザル微(四)エ
 ライザン反應ニシテ本品ノ如キ乾燥油ノ特徵ナリ即チ油脂力發煙硝酸中ニ含有セラル、亞硝酸ニ由リ同質異性體ナル白色ノ
 「エライザン」ナル固體ニ變化スルニ基因シ此際橙黃色乃至類赤色ノ塊ヲ生セハ山桃仁油ヲ夾雜シ多少褐色ノ塊ヲ生セハ綿實油、
 落花生油、胡麻油、罌粟油等ヲ夾雜スル徵(五)潤濁スレハ流動マラフイン、ヲ夾雜スル徵 $C_{18}H_{34}O_2 + 3NaOH = C_{18}H_{33}O_2Na + H_2O$
 $+ 3NaC_8H_{15}O_2$ (六)油酸ヨリ成ル $3NaC_8H_{15}O_2 + 3HCl = 3C_8H_{15}O_2 + 3NaCl$ (七)析出物アルニ他ノ油類ノ脂肪酸類ヲ夾雜スル
 徵(八)流動マラフイン又他ノ油類ノ試驗

(醫治効用)

内服ニハ緩下劑トシ外用ニハ緩和及軟化劑トシテ用フ

Oleum Arachidis.

落花生油

Arachis hypogaea L.

落花生油ハ本植物ノ種子ノ皮殻ヲ除キ冷壓シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ類黄色無臭ノ液ニシテ緩和ノ味ヲ有シ比量〇・九一六乃至〇・九二二、ヨード數八十三乃至百鹼化數
 百八十八乃至九十六・六、酸度七五以下ナリ(一)

本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ同容量ノ鹽酸ヲ加ヘテ振盪シ尋テ白糖〇・五グラム(0.5 g)ヲ投シテ更
 ニ振盪スルニ紅色ヲ呈スヘカラス(II)

本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ「アミールアルコホル」及「硫黃ノ硫化炭素溶液」(1:100)各五立方センチ

メートル(5 ccm)ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分時間重湯煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス(III)更ニ
 硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)溶液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ追加シテ尙十五分時間熱スルモ亦然
 リ(四)

(註)

解 (一)凡例ニ於ケル如ク檢定スヘシ而シテ「ヨード數」試驗ニハ〇・三乃至〇・四グラム、鹼化數ノ試驗ニハ一乃至二
 「グラム、酸度」試驗ニハ二グラムヲ用フ「オレーフ油參照」(二)胡麻油ノ試驗(三)及(四)綿實油ノ試驗

(醫治効用)

オレーフ油ニ代用ス

Oleum Aurantii Corticis.

橙皮油

Citrus 屬ノ諸種

橙皮油(一)ハ本屬諸種植物ノ果皮ヨリ得タル揮發油ナリ

本品ハ無色或ハ類黄色稀薄ノ液ニシテ特異芳香性ノ氣味ヲ有シ味稍、苦ク等分ノ酒精ニ澄明ニ混和セス
 比重〇・八五乃至〇・八六、旋光度(20°C)右旋九十四度以上ナリ

(註)

解 (一)主トシテ右旋性リモノチ $C_{10}H_{16}O$ ヨリ成リ其他チト랄 $C_{15}H_{24}O$ 、チトロネル $C_{15}H_{22}O$ 等ヲ含有ス

(醫治効用)

矯味、矯臭劑トス

Oleum Aurantii Florum.

橙花油

Citrus 屬ノ諸種

橙花油(一)ハ本屬諸種植物ノ新鮮ナル花ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ黄色或ハ帶褐黄色稀薄ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ佳快ノ香氣ヲ有ス一乃至二分ノ酒精ニ澄明ニ

落花生油 橙皮油 橙花油

混和ス比重〇・八六乃至〇・八八、旋光度 (D_{25}^20) 右旋一・五乃至五度ナリ

本品ニ少量ノ酒精ヲ加ヘテ二液層トナシ之ヲ搖動スレハ美麗ナル紫色ノ螢石彩ヲ現ハス(二)

本品ニ濃厚ナル重亜硫酸ナトリウム溶液ヲ加ヘテ振盪スレハ紅色ヲ呈ス(三)

(註) 解 (一)左旋性リナロール $C_{15}H_{30}O$ 、ゲラニオール $C_{15}H_{30}O$ 及前兩種アルコホルノ「エステル等トス(一)質性反應(二)正

品ノ特徴

(醫治効用)

矯臭劑トス

Oleum Bergamotae ベルガモット油

Citrus Bergamia Risso et Poiteau

ベルガモット油(一)ハ本植物ノ新鮮ナル果皮ヨリ壓搾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ類綠色或ハ帶綠黃色稀薄ノ液ニシテ佳快ノ香氣及芳香性ノ苦味ヲ有シ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ徴ス水醋酸ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重〇・八八〇乃至〇・八八六、旋光度 (D_{25}^20) 右旋八乃至二十四度ナリ

本品ニ容量ニ酒精一容量ヲ和スルニ澄明ニ止マリ更ニ多量ノ酒精ヲ混和スルニ溷濁スヘカラス又本品一容量ハ二十度ニ於テ酒精八十立方センチメートル(80 ccm)及水十立方センチメートル(10 ccm)ノ混液一・五乃至二容量ニ溶解スヘシ或ハ溷濁スルコトアルモ油滴ヲ析出スヘカラス(二)

本品ニグラム(20)ヲ重湯煎上ニ蒸發シ香氣ノ消失スルニ至ルニ綠色柔軟均等ノ物質ヲ殘留スヘシ其量百分ニ付キ六分ニ過クヘカラス(三)

本品ニ立方センチメートル(2 ccm)ニ酒精製カリ油液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘテ蒸發乾潤シ

熾灼シタル後水ニ溶解シ稀硝酸ヲ以テ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ溷濁スヘカラス(四)

本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ水五立方センチメートル(5 ccm)及醋酸五滴ヲ和シ振盪シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ微ニ染色スルニ過クヘカラス(五)

本品ニグラム(20)ニ酒精製二分定規カリ液二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ重湯煎上ニ三十分時間熱シタル後水百立方センチメートル(100 ccm)ヲ和シ二分定規鹽酸ヲ用ヒテ過剰ノ「カリ液ヲ中和スルニハ該液ヲ費スコト十二・六立方センチメートル(12.6 ccm)ニ過クヘカラス(標示藥メチールオランジュ溶液)(六)

壺中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ冷處ニ貯フヘシ

(註) 解

(一)成分ハ「リモン、サベンテン、リナロール」ノ醋酸エステル $C_{15}H_{27}O_2$ 等トス(二)桐油、橙皮油、テレベ

ン油、脂肪油ノ試験(三)桐油、エチルエステルノ試験(四)クローリエチル其ノ他炭化水素ノ造鹽素化合物ノ試験(五)銅ノ

(醫治効用)

芳香性矯味劑トス

Oleum Cacao.

カカオ脂

Theobroma Cacao L.

カカオ脂(一)ハ本植物ノ子殻ヲ除キタル種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪ナリ

本品ハ淡類黃色ノ塊ニシテ微弱ナル特異ノ香氣及緩和ノ味ヲ有シ十五度ニ於テハ堅脆ニシテ三十乃至三十四度ニ於テ熔融シ澄明ノ液トナル「ヨード數三十四乃至三十八(二)酸度五以下ナリ(三)

本品ハ敗油性ノ臭氣ヲ有スヘカラス(四)又本品一分ヲ二分ノ「エーテル」ニ溶解セルモノハ常溫ニ於テ一日

以內ニ濁濁スヘカラス(五)

(註) 解

(一)主成分ハ硬脂酸、軟脂酸、油酸、ラウリン酸ノ「グリセリンエステル」トス(二)ヨード數及酸度ハ凡例ニ於ケル如ク檢定スヘシ而シテ、ヨード數低ケレハ椰子油、蠟、パラフィン等ヲ、高ケレハ扁桃油、胡麻油、落花生油、綿實油等ヲ夾雜ス(三)多量ノ遊離酸ヲ含有セサル微(四)變敗品ナラサル微(五)蠟、牛脂又ハ「パラフィン」等ノ試験

(醫治効用) 主トシテ軟膏、坐藥、座球等ヲ製スルニ用フ

Oleum Cajeputi.

カヤブテ油

Melaleuca Leucadendron L.

カヤブテ油(二)ハ本植物ノ葉ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ無色或ハ淡黄色或ハ類綠色中性又ハ弱酸性稀薄ノ液ニシテ樟腦ニ類スル竄透性ノ香氣ヲ有シ酒精ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重〇九一至〇九三、旋光度(S.D.)左旋四度以下ナリ

本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ五十度ノ温ニ於テ「ヨード」一グラム(一)ヲ漸次ニ添加シテ冷却スレハ固結シテ結晶性ノ塊トナル(11)

本品ニ同容量ノ「ナトロン」溶液ヲ和シテ振盪スルニ殆ト全ク溶解スヘカラス(三)

本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ水二十立方センチメートル(20 ccm)「醋酸」一滴ヲ加ヘテ振盪シ之ニ黄色血鹵鹽溶液一滴ヲ和スルニ呈色スヘカラス(四)

(註) 解

(一)主トシテ「チネオール」 $C_8H_{10}O$ ナルモノヨリ成ル(11)ヨードチネオールナルモノヲ生スルニ由ル(12)フェノール様物質ノ試験(四)銅ノ試験

(醫治効用) 鎮痙、發汗、刺衝ノ效アリ主トシテ外用ニ瘰癧質新、痛風、神經痛、齒痛等ニ用フ

Oleum camphoratum.

樟腦オレーフ油

樟腦オレーフ油ハ

精製樟腦

ヲ取リ

オレーフ油

ニ溶解シ濾過シ製スヘシ

本品ハ淡類綠色或ハ黄色澄明ノ液ニシテ樟腦ノ香氣ヲ有ス

(醫治効用)

主トシテ外用ニ瘰癧質新性疼痛、神經痛、凍瘡等ニ塗擦シ又虚脱ニ皮下注射ス

一分(1)

四分(4)

Oleum cantharidatum.

カンタリス油

カンタリス油ハ

カンタリス中末

オレーフ油

ヲ硝子壺ニ取リ栓塞シ屢ニ搖動シツ、十時間重湯煎上ニ温メ壓搾シテ得タル油ヲ濾過シ製スヘシ

本品ハ帶綠黄色ノ液ナリ

(應) 用

主トシテ「カンタリス軟膏」ヲ製スルニ用フ

三分(3)

十分(10)

Oleum Caryophyllorum.

丁香油 丁子油

丁香油(一)ハ丁香ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ
本品ハ無色或ハ類黃色澄明稍稠厚ノ液ニシテ氣中ニ於テ漸次褐色ニ變シ特異ノ香氣ヲ有シ水ニ僅微ニ、
酒精、エーテル又氷醋酸ニ容易ニ混和ス比重一・〇四四乃至一・〇七〇、旋光度(α_{D20})左旋一・二五度以下ナ
リ

本品五滴ニ石灰水十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ強ク振盪スレハ柔軟絮狀ノ結晶塊ト黃色ノ液ト
ニ分離ス又本品二滴ヲ酒精四立方センチメートル(4 ccm)ニ溶解シ之ニ過クロール鐵溶液一滴ヲ加フレハ
綠色ヲ呈ス(二)

本品一グラム(1 gr)ニ熱湯二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ中性ノ反應
ヲ徴シ之ニ過クロール鐵溶液一滴ヲ加フルニ帶灰綠色ヲ呈スルモ藍色ヲ呈スヘカラス(三)

本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ稀醋酸五立方センチメートル(5 ccm)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液
ハ硫化水素水ニ由テ染色スルコトアルモ僅微ニ過クヘカラス(四)

本品一立方センチメートル(1 ccm)ハ稀酒精二立方センチメートル(2 ccm)ニ澄明ニ混和セサルヘカラス(五)
本品十立方センチメートル(10 ccm)ニカリ液四十立方センチメートル(40 ccm)ヲ加ヘ屢、振盪シ十五分
時間重湯煎上ニ温ムルニ一五立方センチメートル(15 ccm)以上ノ油分ヲ析出スヘカラス(六)

(註) 解

(一)主トシテ「オイゲノール」C₉H₁₀O₂ヨリ成ル(II)オイゲノールノ實性反應(III)フェノールノ試験(四)金屬
ノ試験(五)脂肪油、流動パラフィン、サ、フラスコ油等ヲ夾雜スレハ澄明ニ混和セス(六)オイゲノール最少含量八十五%ニ對應ス
(醫治効用) 内服ニハ健胃劑、驅風劑トシテ半—三滴ヲ油糖トナシ用ヒ外用ニハ主ニ齒痛ニ用フ

Oleum Chloroformii.
クロロフォルム油

クロロフォルム油ハ

クロロフォルム

ヲ取リ

オレーフ油

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ黃色澄明ノ液ニシテ「クロロフォルム」ニ類スル香氣ヲ有ス

(醫治効用) 局處麻酔性塗擦劑トス

一分(一)

一分(二)

Oleum Cinnamomi.
桂皮油

桂皮油(一)ハ桂皮ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ黃色或ハ類褐色澄明稍濃稠ノ液ニシテ特異ノ芳香ヲ有シ味灼クカ如クニシテ甘ク弱酸性ノ反應
ヲ徴シ三分ノ稀酒精ニ溶解シ(二)酒精ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重一・〇五五乃至一・〇七〇ナリ
本品ハ百容量中七十容量以上ノ純桂アルデヒド(C₉H₈O = 132.11)ヲ含有ス

本品四滴ヲ取リ之ニ粗製硝酸四滴ヲ和シ振盪スレハ五度ヲ超エサル温ニ於テ白色ノ結晶塊トナル(三)
本品四滴ヲ酒精十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シタルモノハ過クロール鐵溶液數滴ニ由テ褐色ヲ
呈スルニ止マリ綠色或ハ藍色ヲ呈スヘカラス(四)

本品一立方センチメートル(1ccm)ヲ稀酒精四乃至五立方センチメートル(4-5ccm)ニ溶解シタル液ハ澄明ニシテ常温ニ於テ之ニ新ニ製シタル醋酸鉛稀酒精飽和溶液半容量ヲ和スルニ沈澱ヲ生スヘカラス(五)
本品五立方センチメートル(5ccm)ヲ重亜硫酸ナトリウム溶液四十五立方センチメートル(45ccm)ニ混和シ履、振盪シツツ重湯煎上ニ温ムルニ初メ生成シタル固形分全ク溶解シ澄明ナル油層一五立方センチメートル(1.5ccm)ヲ遺スニ過クヘカラス(六)

本品ヲ重湯煎上ニ揮散セシムルニ百分ニ付キ八分以上ノ残留物ヲ遺スヘカラス(七)

本品一立方センチメートル(1ccm)ニ稀醋酸五立方センチメートル(5ccm)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ニ酒精五立方センチメートル(5ccm)ヲ加ヘタル後硫化水素ヲ通スルニ沈澱ヲ生スヘカラス(八)

(註)

解 (一)主成分ハ「チナムトアルデヒド」 $C_6H_5CH_2CHO$ トス (II)脂肪油、テルペン油ヲ夾雜スレハ濁濁ス (III)桂

酸及硝基桂酸ノ生成ニ因ル(四)丁香油又ハ石炭酸類ノ試験 (五)樹脂ノ試験ニシテ若シ沈澱ヲ生スレハ「ハルツ酸類ト鉛トノ化

合體ヲ生スルニ由ル(六)チナムトアルデヒド」ノ定量法ニシテ其最少含量七十%タルコトヲ示ス而シテ「アルデヒド」ト重亜

硫酸ナトリウムトノ化合物 $C_6H_5CH_2CH_2SO_3Na$ 、 $COH-NaHSO_3$ 、ハ水ニ溶解スレトモ「アルデヒド」ナラサル他ノ成分ハ溶

解セスシテ残留ス(七)揮散性夾雜物ノ試験(八)鉛、銅ノ試験

(醫治効用)

矯味、矯臭劑又ハ健胃劑、驅風劑ニシテ内服ニハ一—三滴ヲ油糖又ハ酒精溶液トナシ用フ

Oleum Citri. Oleum Limonis.

枸橼油 レモン油

枸橼油(一)ハ新鮮ナル枸橼皮ヨリ得タル揮發油ナリ

本品ハ淡黄色稀薄ノ液ニシテ特異芳香性ノ氣味ヲ有シ味稍、苦シ約十二分ノ酒精ニ澄明或ハ殆ト澄明ニ混和シ比重〇・八五七乃至〇・八六一、旋光度 (D_{20}^D) 右旋五十八乃至六十五度ナリ

(註)

解 (一)主トシテ「リモネン」ナル炭化水素ヨリ成リ其ノ他チト랄及チトロネル等ヲ含ム

(醫治効用)

矯味、矯臭劑トス

Oleum Crotonis.

巴豆油

Croton Tiglium L.

巴豆油(一)ハ本植物ノ子殻ヲ除キタル種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ帶褐黄色稍、濃稠ノ液ニシテ特異不快ノ臭氣ヲ有シ酸性ノ反應ヲ徴シ比重〇・九四乃至〇・九六ナリ
本品一容量ニ純アルコホルニ容量ヲ加ヘテ温ムルニ澄明ニ溶解シ放冷スルモ油滴ヲ析出スヘカラス(二)

本品二立方センチメートル(2ccm)ヲ發烟硝酸及水各一立方センチメートル(1ccm)ノ混液ニ和シ強ク振盪スルニ二日以内ニ全ク或ハ一部分凝結スヘカラス(III)

本品一滴ニ硫酸二十滴ヲ和スルニ暗褐色澄明ノ液トナルヘシ(四)
本品ヲ以テ濡ホシタル捻紙ニ點火シテ後吹滅スルニ動物性脂肪ヲ燃燒スルカ如キ臭氣ヲ放ツヘカラス(五)

壺中ニ容レ密栓シ最モ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・〇五グラム(0.05g)

一日ノ極量 〇・一五グラム(0.15g)

(註)

解 (一)主トシテ硬脂酸、軟脂酸、油酸、ミリスチン酸等ノ「グリセリンエステル」ヨリ成リ其有效成分ハ「クロトノール酸」

「グリセリンエステル」トス (二)酒精ニ溶解セザルハ他ノ脂肪油、蓖麻子油ヲ除クヲ以テ製造セル微 (三)乾燥油ノ試験 (四)他

ノ脂肪油ノ試験 (五)牛脂、豚脂ノ如キ動物性脂肪ノ試験

(醫治効用)

最モ強烈ナル峻下劑ニシテ非常ナル頑固ノ便秘、鉛毒痛、腸閉塞ニ又蟻蟲驅除劑トシ半—一滴ヲ白糖ニ和シ又ハ散

巴豆油

劑、丸劑等トナシ用ヒ外用ニハ脂肪油又ハ「グイセリン」ニ和シ誘導劑トシテ用フ

Oleum Eucalypti.

オイカリプツス油

オイカリプツス油(一)ハ「オイカリプツス葉」ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ
本品ハ無色或ハ淡黄色澄明稀薄ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ中性ノ反應ヲ徴シ酒精ニ隨意ノ比例ニ於テ
澄明ニ混和ス比重〇・九〇乃至〇・九三ナリ

本品一立方センチメートル(1 cc)ニ氷醋酸二立方センチメートル(2 cc)及飽和亞硝酸ナトリウム溶液二
立方センチメートル(2 cc)ヲ和シ輕ク振盪スルニ結晶ヲ生スヘカラス(II)

本品十立方センチメートル(10 cc)ヲ石油エーテル五十立方センチメートル(50 cc)ニ溶解シ零度ニ於テ
攪拌シツツ磷酸(比重一・七〇九)ヲ滴加シ結晶ヲ析出シ類黄色或ハ類紅色ヲ呈スルニ至リ茲ニ析出セル結
晶ヲ乾燥濾紙ヲ用ヒテ急速ニ濾過シ石油エーテルヲ以テ洗滌シ之ヲ濾紙間ニ乾燥シ劃度圓筒ニ容レ温
湯ヲ和スルニ分離セル油層常温ニ於テ少ナクモ五立方センチメートル(5 cc)ナラサルヘカラス(III)

(註) 解 (一)主成分ハ「チネオール」又オイカリプトル C₁₀H₁₆O トス(II)着量ノ「フェルランドレン」ヲ含有スル「オイカ
リプツス油」トノ區別(III)チネオールノ含量五十容量%ヨリ少カラサル

(醫治効用) 内服ニハ一日數回〇・二—二・〇ヲ膠囊劑、丸劑、油糖劑トナシ麻拉里亞、肺壞疽、腐敗性氣管枝炎等ニ用ヒ外用ニハ
「テレピン油」ニ和シ腐敗性肺疾患ニ吸入劑トナス

Oleum Foeniculi.

茴香油

茴香油(一)ハ茴香ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ無色或ハ類黄色ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味微ニ甘ク後微苦樟腦様ナリ比重〇・九六五乃至〇・九
八〇(II)旋光度(20°C)右旋六度以上ナリ

本品ハ零度ニ冷却スレハ白色ノ結晶ヲ析出ス(III)此結晶ハ五度以上ノ温ニ於テ復タ全ク融解ス
本品ハ同容量ノ酒精ニ澄明ニ溶解シ更ニ十倍容量ノ酒精ヲ和スルモ變化スヘカラス(IV)

(註) 解 (一)主成分ハ「アネトール」即チ「パラアルリールフェノール」ノ「メチルエーテル」C₁₀H₁₂OCH₃C₆H₅ トス(II)酒精
又ハ「テレピン油」ヲ夾雜スレハ比重ヲ低クス(III)結晶ハ「アネトール」ヨリ成ル(IV)脂肪油、テレピン油ノ試験

(醫治効用) 内服ニハ驅風劑トシ一—五滴ヲ油糖トナシ用フ

Oleum Hydnocarpae.

大風子油

Hydnocarpus 屬

大風子油(一)ハ本屬植物ノ子殻ヲ除キタル種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ類白色或ハ類黄色軟膏様ノ塊ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ特異脂肪様ニシテ苛辣ナラス二十
二乃至二十三度ニ於テ大部分液化シ二十五乃至三十度ニ於テ全ク熔融シ澄明ノ液トナル「ヨード」數八十
乃至九十、鹼化數百九十五乃至二百十五、酸度七以上ナリ
本品五グラム(5 g)ヲ純クロロフォルムニ溶解シ常温ニ於テ百立方センチメートル(100 cc)トナシタルモ

ノハ旋光度(8D₅₅)右旋約二・四度ナリ
 本品ノ「クロロフォルム溶液」(一)〇五立方センチメートル(5 ccm)ニ硫酸一滴ヲ加ヘテ振盪スレハ暫時ニシテ美綠色ヲ呈ス(二)
 本品十滴ニ「トリクロール醋酸」一グラム(一〇)及鹽酸四滴ノ混液五滴ヲ和シ微温ヲ與フルニ深藍色ヲ呈セサルヘカラス(三)
 本品ニ五倍容量ノ純アルコホルヲ加ヘテ温ムルニ澄明ニ溶解シ常温ニ於テ白色結晶性ノ沈澱ヲ析出セサルヘカラス(四)

(註) 解 (一)大風子酸其他脂肪酸類トス(二)實性反應(三)本品ノ特性(四)本品ノ特性且他ノ脂肪油ノ試驗
 (醫治効用) 慢性皮膚病(濕疹、痒疹、癩癧)ニ用ヒ大人ニハ十滴ヨリ二十一三十滴ニ増量ス外用ニハ其マ、又ハ豚脂若クハ「アセリン」ニ和シ軟膏トシ用フ

Oleum Jecoris.

肝油

Gadus macrocephalus Tiliastus.
Pollachius Brandi Jordan et Snyder.

肝油(一)ハ本魚類ノ肝臟ヨリ得タル脂肪油ナリ
 本品ハ葉黃色或ハ金黃色澄明ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味緩和ニシテ比重〇・九二四乃至〇・九三一、ヨード數百四十乃至百八十、鹼化數百六十三乃至百九十、酸度三以下ナリ(二)
 本品五滴ニ硫酸一滴ヲ點加スレハ藍色或ハ紫紅色ヲ呈ス(三)又本品十五滴ニ發烟硝酸三滴ヲ點加シ攪和スレハ薔薇色又ハ紫藍色ヲ呈シ直ニ枸橼黃色或ハ類褐色ニ變ス(四)

本品ハ不快敗油性ノ氣味ヲ有スヘカラス(五)又零度ニ於テ約三時間ヲ經ルモ澄明ニ止マリ白色ノ固形物ヲ析出スヘカラス(六)

本品一容量ニ硝酸一容量及銅屑少許ヲ加ヘタルモノハ久シキヲ經ルモ澄明液狀ニ止マルヘシ(七)又本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ稀醋酸五立方センチメートル(5 ccm)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(八)

(註) 解

(一)主トシテ油質約七十%、軟脂約二十五%、硬脂等ヨリ成ル(二)ヨード數、鹼化數及酸度ノ檢定法ニ就テハ凡例ヲ觀ヨ(三)實性反應ニシテ本邦產肝油ハ藍色、歐洲產肝油ハ紫紅色ヲ呈ス(四)實性反應ニシテ歐洲產ハ薔薇色後枸橼黃色、本邦產ハ紫藍色後類褐色ニ變ス(五)燥敗ニ傾ケル不良品ナラサル微(六)寒冷ヲ用ヒテ成ルヘク硬脂ヲ除去シタル本品ハ零度ニ於テ固形物ヲ分離セス(七)固形物「エライヤン」ヲ析出スレハ不乾燥油ヲ夾雜スル微(八)金屬殊ニ鉛、銅ノ試驗
 (醫治効用) 吸收サレ易キ最良ノ滋養品ニシテ初期結核、腺病、貧血症、佝僂病等ニ小兒ニハ一日二茶匙、大人ニハ一日三食匙ヲ食後ニ内服セシム但シ胃ヲ害シ易キヲ以テ冬期ニ使用スヘシ

Oleum Lavandulae.

ラヘンデル油

ラヘンデル油(一)ハ「ラヘンデル花」水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ無色或ハ類黃色ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味稍、苦ク比重〇・八八二乃至〇・九〇〇、旋光度(8D₅₅)左旋三乃至十度ナリ

本品一分ハ二十度ニ於テ稀酒精三分ニ殆ト澄明ニ溶解セサルヘカラス(二)

本品一グラム(一〇)ニ酒精製二分定規カリ液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ還流冷却器ヲ附シ三十分時間重湯煎中ニ熱シタル後水百立方センチメートル(100 ccm)ヲ和シ二分定規鹽酸ヲ用ヒテ過剩ノ「カ

リ液ヲ中和スルニハ其酸液ヲ費スコト七立方センチメートル(7 cc)ニ過クヘカラス(標示藥メチールオ
ランジユ溶液)(iii)

(註 解)

(i)主成分ハ醋酸リナリールエステル $C_{18}H_{35}O_2$ トス (ii)チマン油、ツェーデル油等ノ試験 (iii)エステル
數ノ試験ニシテ「リナリール、エステル」ハ水酸化カリウムニヨリ次ノ如ク分解ス $C_{18}H_{35}O_2 + KOH = C_{18}H_{33}O + CH_3$
COOK 而シテ二分定規カリ液一立方センチメートルハ水酸化カリウム 0.028 五グラムニ含有シ從テ其立方センチ
メートル(10-7=3cc)ハ 0.084 一グラム即チ八十四・一ミリグラムノ水酸化カリウムニ對應ス此數タル「エステル數ナリ
香味、矯臭劑又粧飾劑トシテ用フ

(醫治効用)

Oleum Lini.

亞麻仁油

亞麻仁油(i)ハ亞麻仁ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ黄色澄明ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ零下二十度ニ於テ尚液狀ニ止マリ薄ク塗布シテ放置スレハ
乾涸ス(ii)比重 0.93 乃至 0.94 、ヨード數百七十乃至百九十、酸度三以下ナリ(iii)

本品十グラム(10 g)ニ「カリ鹼液十五グラム(15 g)及酒精三グラム(3 g)ヲ混和シ重湯煎上ニ温メ充分鹼化セ
シメタルモノハ水並酒精ニ殘滓ヲ留メシテ溶解スヘシ(iv)

本品ヲ以テ濡ホシタル捻紙ニ點火シテ後吹滅スルニ動物性脂肪ヲ燃燒スル如キ臭氣ヲ放ツヘカラス(v)
本品一容量ニ硝酸一容量及銅屑少許ヲ加ヘタルモノハ久シキヲ經ルモ澄明液狀ニ止マルヘシ(vi)

本品一立方センチメートル(1 cc)ニ稀醋酸五立方センチメートル(5 cc)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ニ
酒精五立方センチメートル(5 cc)ヲ加ヘタル後硫化水素ヲ通スルニ三時間ノ後沈澱ヲ生スヘカラス(vii)
本品ニ同容量ノ石灰水ヲ加ヘテ振盪スルニ直チニ永ク持續スル乳劑ヲ生セサルヘカラス(viii)

(註 解)

(i)成分ハ「リノレン及イソリノレン酸」グリセリンエステル $C_{18}H_{35}O_2$ 及「ノール酸」グリセリンエステ
ル $C_{17}H_{33}O_2$ 等トス(ii)粘着性ノ層ヲ生スレハ不乾燥油ヲ夾雜スル徵(iii)ヨード數及酸度ハ凡例ニ於ケル如ク檢定スヘシ
(iv)ハルツ油(コロフォニウム)ノ高温煮沸部分及礦油ノ試験(v)動物性脂肪ノ試験(vi)不乾燥油ノ試験(vii)鉛、銅ノ試験(viii)
ハルツ油ノ試験

(醫治効用)

主ニ外用ニ等分ノ石灰水ト混シ火傷、濕疹ニ用フ

Oleum Menthae.

薄荷油

薄荷油(i)ハ薄荷葉ニ水ヲ和シテ蒸餾シ寒冷ニ由リ固形分ヲ除去シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ無色或ハ類黄色澄明稀薄ノ液ニシテ特異竄透性ノ香氣ヲ有シ味初メ灼クカ如ク後清涼ナリ「ヨー
ド」ニ逢フモ熱ヲ起サス酒精ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス(ii)比重 0.897 乃至 0.900 、旋光度 (D_{20}^{25})
左旋二十乃至三十三度ナリ

本品一立方センチメートル(1 cc)ハ約十五度ニ於テ水二十九立方センチメートル(29.5 cc)及酒精百
立方センチメートル(100 cc)ヨリ成レル混液ニ「五立方センチメートル(5 cc)」以內ニ澄明ニ混和シ尙之
ニ五乃至十立方センチメートル(5-10 cc)ヲ和スルモ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス(iii)
本品一滴ヲ硝酸(比重一・四)五立方センチメートル(5 cc)ニ和スルニ赤色ヲ呈スヘカラス或ハ呈色スルコ
トアルモ永ク持續スヘカラス(iv)

(註 解)

(i)主成分ハ「メントール」 $C_{10}H_{18}O$ ニシテ其他メントン、テルペン類ヲ含有ス(ii)流動パラフィン、脂肪油、他ノ揮
發油等ヲ以テ製造セルモノハ隨意ノ比例ヲ以テ混和セス(iii)製法宜シキヲ得ス又ハ輕質樟腦油ヲ混和スルモノハ混濁ス(iv)サ
フラス油、樟腦油ノ試験

薄荷油

(醫治効用)

驅風、鎮痙、興奮、食慾増進ノ目的ニ胃痛、痙痛、下痢等ニ一日數回一―三滴ヲ用テ其他矯味、矯臭劑トス

Oleum Olivarum.

オリーブ油

Olea europaea L.

オリーブ油(一)ハ本植物ノ果實ヲ冷壓シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ淡類綠色或ハ黄色ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ緩和ニシテ敗油性ナラス比重〇・九一五乃至〇・九二〇、ヨード數八十乃至八十八、鹼化數百八十九乃至百九十九、酸度八以下ナリ(二)

本品ハ約十度ニ於テ溷濁シテ結晶性ノ析出物(三)ヲ生シ零度ニ至リテ軟膏様ノ塊トナル(四)

本品ニ立方センチメートル(5 cc)ヲ發烟硝酸及水各一立方センチメートル(1 cc)ノ混液ニ和シ十度ニ於テ強ク振盪スルニ類綠白色ノ混和物ヲ生シ赤色或ハ褐色ヲ呈スヘカラス此混和物ハ二乃至六時間ノ後白色固形ノ塊ト殆ト無色ノ液トニ分離スヘシ(五)

本品五立方センチメートル(5 cc)ニ「アミール」アルコール及硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)各五立方センチメートル(5 cc)ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分時間重湯煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス更ニ硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)五立方センチメートル(5 cc)ヲ追加シテ尙十五分時間熱スルモ亦然リ(六)

本品五立方センチメートル(5 cc)ヲ試驗管ニ取り硝酸銀〇・五グラム(0.5 g)ヲ「エーテル」三立方センチメートル(3 cc)酒精十二立方センチメートル(12 cc)及稀硝酸二滴ニ溶解シテ得タル液ヲ加ヘテ振盪シ之ヲ十五分時間重湯煎中ニ熱スルニ褐色或ハ黑色ヲ呈スヘカラス(七)

本品五立方センチメートル(5 cc)ニ同容量ノ鹽酸ヲ加ヘテ振盪シ尋テ白糖〇・五グラム(0.5 g)ヲ投シテ更ニ振盪スルニ紅色ヲ呈スヘカラス(八)

(註 解)

(一)主トシテ軟脂、硬脂其他アラヒン酸及リノール酸グリセリンエステルヨリ成ル(二)ヨード、鹼化數ハ凡例ニ於ケル如ク檢定スヘシ而シテ酸度ヲ檢定スルニハ本品五グラムヲ「テグロ」、フォルム十立方センチメートル及純酒精二十立方センチメートルニ溶解シ「フェノール」フタレイン溶液一立方センチメートルヲ加ヘ酒精製十分定規カリ液ヲ滴加シテ持續セル赤色ヲ呈スルニ至ルヘシ(三)析出物ハ主トシテ軟脂ヨリ成ル(四)正品ノ特徴ニシテ下等品ハ已ニ十度以上ニテ溷濁ス(五)エライヤン反應ニシテ乾燥油ヲ夾雜セハ茲ニ析出セル塊ハ粘著性ノ觀ヲ呈シ胡麻油、落花生油、綿實油ヲ夾雜セハ赤色又ハ褐色ノ油層及類褐色ノ塊ヲ生ス(六)綿實油ノ試驗(七)十字科植物ノ油類(種油ノ類)及綿實油ノ試驗(八)胡麻油ノ試驗

(醫治効用)

内服ニハ五・〇―一五・〇ヲ緩下劑、苛性カリ中毒解毒劑トシテ用ヒ外用ニハ塗擦劑、浣腸劑等トナス

Oleum Pruni armeniacaе.

杏仁油

杏仁油(一)ハ杏仁ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ黄色澄明ノ液ニシテ殆ト臭氣ナク味緩和ナリ零下十度ニ於テ尙液狀ニ止マリ比重〇・九一乃至〇・九二、鹼化數二百五乃至二百十五、ヨード數九十六乃至百六ナリ(二)

本品ニ立方センチメートル(5 cc)ニ發烟硝酸及水各一立方センチメートル(1 cc)ノ混液ヲ和シ強ク振盪スルニ橙赤色ヲ呈シ數時間ノ後淡橙黄色軟膏様ノ塊ト殆ト無色ノ液トニ分離ス(三)

本品ハ敗油性ノ氣味ヲ有スヘカラス(四)

本品五立方センチメートル(5 cc)ニ「アミール」アルコール及硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)各五立方センチメートル(5 cc)ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分時間重湯煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス更ニ硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)五立方センチメートル(5 cc)ヲ追加シテ尙十五分時間熱スルモ亦然リ(五)

本品五立方センチメートル(5 cc)ニ同容量ノ鹽酸ヲ加ヘテ振盪シ尋テ白糖〇・五グラム(0.5 g)ヲ投シテ更

ニ振盪スルニ紅色ヲ呈スヘカラス(六)
本品ハ扁桃油ニ代用スコルトヲ得

(註) 解 (一)成分扁桃油ニ同シ(二)鹼化數及ヨード數ハ凡例ニ於ケル如ク檢定スヘシ(扁桃油参照)(三)落花生油、綿實油、
胡麻油等ヲ夾雜スレハ類褐色ノ塊ト暗色ノ液トニ分ル(四)變敗油ナラサル微(五)綿實油ノ試験(六)胡麻油ノ試験
(醫治効用) 扁桃油ニ同シ

Oleum Ricini.

蓖麻子油

Ricinus communis L.

蓖麻子油(一)ハ本植物ノ子殻ヲ除キタル種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ無色或ハ類黄色澄明濃稠ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ初メ緩和ニシテ後稍、苛辣ナリ零度ノ
温ニ於テハ益、濃稠トナリ或ハ溷濁シ適ニ低度ニ至レハ乳脂様ニ凝結ス純アルコホル並水醋酸ニハ隨意
ノ比例ニ於テ、酒精ニハ其三分ニ溶解ス(二)比重〇・九五乃至〇・九七ナリ

本品及硫化炭素各三立方センチメートル(3 cm)及硫酸一立方センチメートル(1 cm)ノ混和物ハ三分時間
振盪スルニ黒褐色ヲ呈スヘカラス(三)

(註) 解 (一)主成分ハトリチノール酸及リチニツール酸ノ「グリセリンエステル $C_{27}H_{48}O_2$ 」ニシテ其他少量ノ硬脂チ
含有ス(二)他ノ脂肪油ハ溶解セス(三)他ノ油類又ハ温ヲ用ヒテ壓搾シタル蓖麻子油ヲ夾雜スレハ黒褐色ヲ呈ス
(醫治効用) 緩下劑トシテ常用シ内服ニハ一〇・〇—三〇・〇ヲ單味ニ又ハ「カフエー、肉汁、牛乳、赤葡萄酒、麥酒ト攪拌シテ用
ヒ腸ノ炎症アルトキニモ適應ス

Oleum Rosae.

薔薇油

Rosa 屬ノ諸種

薔薇油(一)ハ本屬諸種植物ノ花ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ淡類黄色ノ液ニシテ特異佳快ノ香氣ヲ有シ約百分ノ酒精ニ澄明ニ混和シ(二)十八乃至二十度ニ於
テ鍼狀ノ結晶ヲ析出シ較、高度ノ温ニ於テ熔融ス

(註) 解 (一)主トシテ薔薇油ステアロアテン(パラフィン列炭化水素ヨリ成ル)及ガラニオール $C_{20}H_{40}O$ (アルコホル)ニ屬ス)
ヨリ成ル(二)脂肪油、流動パラフィンヲ夾雜スレハ酒精ニ溶解セス
(醫治効用) 矯味、矯臭劑トス

Oleum Rosmarini.

迷迭香油

Rosmarinus officinalis L.

迷迭香油(一)ハ本植物ノ新鮮ナル葉及枝尖ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ無色或ハ淡黄色稀薄ノ液ニシテ樟腦ニ類スル竄透芳香性ノ氣味ヲ有シ同容量ノ硫化炭素及半容量
ノ酒精(二)ニ澄明ニ混和ス比重〇・八九五乃至〇・九二〇、旋光度 $[\alpha]_D^{20}$ 左旋二度乃至右旋十五度ナリ

(註) 解 (一)種々ノ「テルペン類ヨリ成ル(二)テレピン油ヲ夾雜セルモノハ澄明ニ混和セス
(醫治効用) 刺激性軟膏及擦劑等ニ添加シ又陰毛虱ニ用フ

Oleum Santali.

白檀油

白檀油(一)ハ白檀ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ淡類黄色或ハ黄色濃稠ノ液ニシテ白檀ノ氣味ヲ有シ中性或ハ微ニ酸性ノ反應ヲ微ス比重〇・九七五乃至〇・九八五旋光度(D₂₀)左旋十五乃至二十度ナリ

本品ハ百分中九十分以上ノ「サンタロール」(C₁₅H₂₅O = 220.27)ヲ含有ス

本品一分ハ二十度ニ於テ六分ノ稀酒精ニ溶解シ更ニ稀酒精ヲ和スルニ澄明ニ止マルヘシ(II)

本品二滴ニ氷醋酸九立方センチメートル(9 cm)及鹽酸一立方センチメートル(1 cm)ノ混液七・五立方センチメートル(7.5 cm)ヲ和スルニ五分時間以内ニ紅色或ハ紫色ヲ呈スヘカラス(III)

本品五グラム(5 g)ヲ硝子壺ニ取り無水醋酸五グラム(5 g)及熔製醋酸ナトリウム二グラム(2 g)ヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ一時間煮沸シ冷後二十立方センチメートル(20 cm)ノ水ヲ加ヘ重湯煎上ニ屢振盪シツツ

十五分時間温メタル後水層ヲ除去シ其油分ニ水ヲ加ヘテ數回洗滌シ藍色試験紙ヲ赤變セサルニ至リ之ニ乾燥硫酸ナトリウムヲ加ヘテ水分ヲ去リ乾燥濾紙ヲ用ヒテ濾過シ玆ニ得タル油分一・五グラム(1.5 g)ヲ

硝子壺ニ秤取シ之ニ酒精三立方センチメートル(3 cm)ヲ加ヘ「フェノール」フタレイン溶液一二滴ヲ添加シ

酒精製二分定規カリ液二十立方センチメートル(20 cm)ヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ一時間重湯煎上ニ熱

シ之ニ水百立方センチメートル(100 cm)ヲ加ヘ「フェノール」フタレイン溶液一立方センチメートル(1 cm)ヲ

添加シ二分定規鹽酸ヲ用ヒテ剩餘ノ「カリ液」ヲ中和スルニハ其酸液ヲ費スコト九・五立方センチメートル

(9.5 cm)ニ過クヘカラス(IV)

壺中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ冷處ニ貯フヘシ

(註 解) (I)本品ハ東印度産ニ限リ主成分ハ「サンタロール」C₁₅H₂₅OHナル「アルコホル」トス(II)「フェニール」油、コバイバ

ルサム、グルエンバルサム等ノ試験ニシテ此等ノ夾雜物ハ亦比重ヲ減シ且左旋力ヲ高ム(III)西印度産白檀油及グルエンバルサム

ノナル
CH₃COOC₁₅H₂₅ + KOH = CH₃COOK + C₁₅H₂₅OH
醋酸サンタロール 56.11 醋酸カリウム サンタロール(320.19)

サンタロール量ハ次ノ式ニ由リ之ヲ算定スルモノナリ
%サンタロール = $\frac{a \cdot 11}{b - a \cdot 0.021}$

前式ニ於テaハ費シタル二分定規カリ液ノ立方センチメートル數(局方ノ規定ノ場合ニハ 30-9.5 = 10.5 cm) sハ鹼化ニ用ヒ

タル「アセチル」化セル油ノ量(局方規定ニヨレハ一・五グラム)トス

本定量ニヨレハ「サンタロール」最少含量九十・三三%ヲ徵ス

(醫治効用) 内服ニハ一日數回〇・三ヲ膠囊劑トナシ淋疾、膀胱炎ニ用フ

Oleum Sesami.

胡麻油

Sesamum indicum L.

胡麻油(一)ハ本植物ノ種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ類黄色或ハ金黄色ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ緩和ナリ零下五度ニ於テハ凝結シテ帶黃白色軟膏様ノ塊トナル比重〇・九一五乃至〇・九二六、ヨード數百三乃至百十四、鹼化數百八十六乃至百九十三(II)ナリ

本品十立方センチメートル(10 cm)ニ硫酸及粗製硝酸各一容量ヨリ成レル混液ノ放冷セルモノ二三滴ヲ加ヘテ振盪スルニ深綠色ヲ呈シ忽チ暗赤色ニ變ス(III)

本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ同容量ノ鹽酸ヲ加ヘテ振盪シ尋テ白糖〇・五グラム(0.5g)ヲ投シテ更ニ振盪スルニ紅色ヲ呈ス(四)

本品二立方センチメートル(2 ccm)ヲ發烟硝酸及水一立方センチメートル(1 ccm)ノ混液ニ和シ強ク振盪スルニ橙赤色ヲ呈シ數時間ヲ經ルノ後黃白色顆粒狀ノ塊ト帶赤黃色ノ液トニ分離スヘシ(五)

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ硝子壺ニ取リ「アミール」アルコホル及硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)各五立方センチメートル(5 ccm)ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ重湯煎中ニ十五分時間熱スルニ其混液赤色ヲ呈スヘカラス更ニ硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)五立方センチメートル(5 ccm)ヲ追加シテ尙十五分時間熱スルモ亦然リ(六)

(註) 解 (一)成分ハ硬脂酸、軟脂酸、油酸、リノール酸ノ「グリセリン」エステル其他遊離脂肪類、フイトマリン等トス(二)ヨード數及鹼化數ハ凡例ニ示ス如ク檢定スヘシ(三)及(四)正品ノ特徴(五)エライヤン反應(六)純實油ノ試驗

(醫治効用) オレーフ油ノ代用品トス

Oleum Sinapis aetherium.

揮發芥子油

揮發芥子油(一)ハ芥子ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ

本品ハ無色或ハ類黃色澄明稀薄ノ液ニシテ極メテ強烈ナル刺激性ノ香氣ヲ有シ酒精並硫化炭素ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和シ百四十八乃至百五十六度ニ於テ沸騰ス比重一・〇一七乃至一・〇二五ナリ(一)

本品ヲ水ニ滴スレハ澄明ノ油滴トナリテ器底ニ沈降シ其油滴ハ一分時間以内ニ類白色ヲ呈スヘカラス(三)

又本品三グラム(3g)ニ善ク冷却シツツ徐々ニ硫酸六グラム(6g)ヲ和シ振盪スルニ瓦斯ヲ發シ黃色澄明ノ液ヲ生シ尋テ濃稠トナリ稀ニハ凝結シテ結晶性トナリ揮發芥子油ノ劇臭ヲ失フ(四)又本品一容量ニ酒精

五容量ヲ和シテ稀釋シタルモノハ少量ノ過クロール鐵溶液ニ由テ染色スヘカラス(五)

本品一グラム(1g)ヲ酒精ニ溶解シテ五十立方センチメートル(50 ccm)トナシ其五立方センチメートル(5 ccm)ヲ内容百立方センチメートル(100 ccm)ノ測容硝子壺ニ取り之ニ十分定規硝酸銀液三十立方センチメートル(30 ccm)及アムモニア水五立方センチメートル(5 ccm)ヲ注加シ還流冷却器ヲ附シテ重湯煎中ニ一時間熱シ放冷シタル後水ヲ加ヘテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシ濾過シテ得タル澄明液五十立方センチメートル(50 ccm)ニ硝酸五立方センチメートル(5 ccm)及硫酸酸化鐵アムモニウム溶液二立方センチメートル(2 ccm)ヲ和シ十分定規硫チアンアムモニウム液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト五・七立方センチメートル(5.7 ccm)ニ過クヘカラス(七)

注意シテ貯フヘシ

(註) 解

(一)アルリール芥子油即チ「イソ」硫チアンアルリール $\text{CH}_3\text{CH}_2\text{NCS}$ ヨリ成セ(二)比重高ケレハ「クロ、フル」
ム、硫化炭素ヲ夾雜シ低ケレハ酒精、メンツオール、揮發油及脂肪油ヲ夾雜スル(三)酒精又ハ脂肪油ノ試驗(四)アルリール芥子油ハ硫酸ニ逢ウテ硫酸化炭素 COS ナルモノヲ生シ一部凝結性ヲ有スル「アルリールアミン」ノ硫酸鹽ニ變ス $\text{C}_2\text{H}_5\text{NOS} + \text{H}_2\text{O} = \text{C}_2\text{H}_5\text{NH}_2 + \text{OOS}$ 若シ脂肪油、揮發油ヲ夾雜スレハ類赤色乃至褐色ヲ呈シ「クロ、フォルム、硫化炭素ヲ夾雜スレハ油滴ヲ析出ス(五)フェノール機物質、ウインテルゲルン油ノ試験(六)本品〇・〇五グラム「ニ相當ス(七)本定規法タル「アルリール芥子油」ハ「アムモニア」ヨリ「アルリール」尿素トナリ此物ハ硝酸銀及アムモニア「ニヨリ」硫化鐵及アルリールチアンアミドトナルヲ以テ $\text{C}_2\text{H}_5\text{NOS} + \text{NH}_3 = \text{CS} \cdot \text{NH}_2$ $\text{NH}_2\text{C}_2\text{H}_5 + 2\text{AgNO}_3 + 2\text{NH}_3 = \text{Ag}_2\text{S} + \text{CN} \cdot \text{NH}_2\text{C}_2\text{H}_5$ 過剰ノ硝酸銀ヲ十分定規硫チアンアムモニウム液ヲ以テ還測ス、 $\text{NH}_2\text{C}_2\text{H}_5 + \text{AgNO}_3 + (\text{NH}_4)\text{CNS} = \text{AgCNS} + (\text{NH}_4)\text{NO}_3 + \text{Fe}(\text{NH}_4)_2(\text{SO}_4)_2 + 6(\text{NH}_4)\text{NCS} = 2\text{Fe}(\text{ONS})_2 + 4(\text{NH}_4)_2\text{SO}_4$ 而シテ本定規法ニ於テ混合液中其半量ヲ使用シ還測ニ硫チアンアムモニウム液五・七立方センチメートルヲ消費セルヲ以テ本品〇・〇五グラム「ニ對シ」使用セル十分定規銀液ノ量ハ九・三立方センチメートル(15-5.7=9.3 ccm)トス而シテ十分定規硝酸銀液一立方センチメートルハ「アルリール芥子油〇・〇〇四九五七グラム」ニ對應スルヲ以テ該銀液九・三立方センチメートルハ其〇・〇〇四六一グラム「ニ對應シ」此量タル芥子油〇・〇五グラム中ニ含有セラル、モノナルヲ以テ本品中純揮發芥子油

揮發芥子油 テレピン油

四二二

アルキール芥子油ノ最少含量ハ九十二・二%トス
主トシテ外用ニ芥子精トナシ同蘇、引赤誘導ノ目的ヲ以テ昏倒、假死、虎列拉厥冷、頭部充血、内臟器官ノ炎症等ニ用フ

(醫治効用)

Oleum Terebinthinae.
テレピン油

テレピン油(一)ハ「テレピンチーナ」ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ
本品ハ無色或ハ淡黄色稀薄ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味辛辣ナリ五乃至十二分ノ酒精ニ溶解シ(二)百五十五乃至百六十五度ニ於テ其ノ大半ヲ餾出ス比重〇・八六〇乃至〇・八七七ナリ
本品ハ焦臭ヲ有スヘカラス(三)又其五立方センチメートル(5ccm)ニ「カリ滴液一立方センチメートル(1ccm)ヲ加ヘテ振盪スルニ其カリ滴液黄褐色ヲ呈スヘカラス(四)
本品五立方センチメートル(5ccm)ニ冷却シツツ硫酸二十立方センチメートル(20ccm)ヲ混和シ反應熄ムニ至リテ硝子圓筒ニ移シ静置スルニ油層ヲ析出スヘカラス(五)
壺中ニ殆ト全滿シ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

(註)

解 (一)種々ノ「テルペン類」ヨリ成ル (二)石油ヲ夾雜スレハ澄明ニ溶解セス (三)松根タールヨリ製セルモノハ焦臭ヲ有ス (四)松根タールノ試験 (五)石油其他炭化水素ノ試験

(醫治効用)

防腐、粘液膜ノ分泌抑制、血壓及尿分泌ノ増進其他皮膚引赤ノ作用ヲ有シ内服ニハ一日數回〇・二五—一・〇(五—二十滴)ヲ膠囊劑、乳劑等トナシ又ハ牛乳、肉汁等ニ混シ肺壞疽、腐敗性氣管枝加答兒、單純氣管枝膿漏、肺出血、腎石、胆石、急性中毒等ニ用ヒ外用ニハ癬劑、軟膏等トナシ神經痛、痲痺質疼痛、疥癬、丹毒、凍瘡等ニ塗擦、塗布劑トシ又ハ茶匙ヲ温湯ニ和シ肺壞疽、氣管枝膿漏等ニ蒸氣吸入セシム

Oleum Terebinthinae rectificatum.
精製テレピン油

精製テレピン油ハ

テレピン油 一分(一)
石灰水 六分(6)

ヲ取り混和振盪シ之ヲ蒸餾シテ其油ノ約四分ノ三ヲ得ルニ至リ 餾液ヨリ油分ヲ分取シ乾燥セル濾紙ヲ以テ濾過シ製スヘシ
本品ハ百五十五乃至百六十二度ニ於テ殆ト全ク蒸餾シ比重〇・八六乃至〇・八七ナリ
本品ハ無色澄明ニシテ中性ノ反應ヲ徵セサルヘカラス(一)又本品一立方センチメートル(1ccm)ハ酒精七立方センチメートル(7ccm)ニ澄明ニ溶解セサルヘカラス(二)
壺中ニ殆ト全滿シ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ
(註) 解 (一)水ヲ貯藏シタルモノハ酸化作用ニ由リ酸性反應ヲ呈ス(二)石油、樹脂ノ試験
(醫治効用) テレピン油ニ同シ

Oleum Thymi.
チミアン油

Thymus vulgaris L.
チミアン油

チミアン油(一)ハ帯花ノ季節ニ採集シタル本植物ノ葉及枝尖ニ水ヲ和シ蒸餾シテ得タル揮發油ナリ
本品ハ無色或ハ帶黄色或ハ帶微赤色澄明ノ液ニシテ強芳香性ノ氣味ヲ有シ比重〇・九以上ナリ

精製テレピン チミアン油

四一三

本品一立方センチメートル(1ccm)ハ酒精百容量及水十四容量ノ混液三立方センチメートル(3ccm)ニ澄明ニ溶解セサルヘカラス(II)

本品五立方センチメートル(5ccm)ヲ割度圓筒ニ取り「ナトロン」濃液十立方センチメートル(10ccm)及水二十立方センチメートル(20ccm)ヲ加ヘ強ク振盪シ濃液層ノ澄明トナルニ至ル迄放置スルニ其液面ニ浮游シ來ル油層四立方センチメートル(4ccm)ニ過クヘカラス(III)

(註 解) (I)主トシテ「チモール」ヨリ成リ其他カルヴァクロール C₈H₁₀O ナル「アルコホル」ヲ含有ス (II)テレピン油、脂肪油、流動パラフィン等ノ試験 (III)フェノール類(チモール及カルヴァクロール)ノ定量法ニシテ其要求最少含量ハ約二十%トス即チ此等ノ「フェノール類」ハ「ナトロン」ニ逢ウテ溶解スレトモ「シモール」ハ「ナトロン」ノ如キモノハ溶解セズシテ殘留ス

(醫治効用) 主トシテ外用ニ誘導ノ目的ニ塗擦劑トナシ又ハ洗滌劑ニ添加ス

Oleum Tsubaki.

山茶油

Camellia japonica L.

山茶油(一)ハ本植物種子ノ皮殻ヲ除去シ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

本品ハ無色或ハ帶微黄色澄明ノ液ニシテ殆ト臭氣ナク味緩和ニシテ敗油性ナラス零下十度ニ於テ一部分凝固シ零下十五度ニ於テ全ク凝固ス比重約〇・九一六、ヨード數八十乃至八十二、鹼化數百八十九乃至百九十二・六ナリ

本品二立方センチメートル(2ccm)ニ發烟硝酸、硫酸及水各等分ヨリ成レル冷混液十立方センチメートル(10ccm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ暫時ノ後其接界ニ於テ美麗ナル藍綠色ヲ呈ス(II)

本品二十滴ニ硫酸一滴ヲ和スレハ初メ淡黄色ヲ呈シ尋テ暗黄色乃至褐色ニ變ス(III)

本品五立方センチメートル(5ccm)ニ同容量ノ鹽酸ヲ加ヘテ振盪シ尋テ白糖〇・五グラム(0.5g)ヲ投シテ更ニ振盪スルニ紅色ヲ呈スヘカラス(IV)

本品二立方センチメートル(2ccm)ニ發烟硝酸及水一立方センチメートル(1ccm)ノ混液ヲ加ヘ十度以下ニ於テ強ク振盪シ二時間放置スルニ全ク固結セサルヘカラス(V)

本品五立方センチメートル(5ccm)ニ「アミール」アルコホル及硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)各五立方センチメートル(5ccm)ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分時間重湯煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス更ニ硫黃ノ硫化炭素溶液(1:100)五立方センチメートル(5ccm)ヲ追加シテ尙十五分時間熱スルモ亦然リ(六)

(註 解) (I)主成分ハ油脂トス(II)及(III)質性反應(IV)胡麻油ノ試験(V)乾燥油ヲ夾雜スレハ固結セズ(六)棉實油ノ試験(醫治効用) オレーフ油ニ代用ス

Opium.

阿片

Papaver somniferum L.

阿片(一)ハ未熟罌粟殼乳液ノ乾涸セルモノヲ六十度ヲ超エサル温ヲ以テ乾燥シ粉末トナシタルモノナリ

本品ハ褐色ノ粉末ニシテ麻酔性ノ臭氣及苛烈ノ苦味ヲ有ス

本品ノ六十度ヲ超エサル温ニ於テ乾燥シタル粉末五グラム(5g)ニ水化石灰三グラム(3g)ヲ和シ水百立方センチメートル(100ccm)ヲ加ヘ屢、強ク振盪シツツ冷浸スルコト二時間ノ後濾紙上ニ置キタル布片内ニ傾瀉シ之ヲ絞搾シテ濾過シ其濾液五十立方センチメートル(50ccm)ニ酒精五立方センチメートル(5ccm)ヲ混和シ振盪シ更ニ濾過シ其濾液四十四立方センチメートル(44ccm)ニ「エーテル」二十立方センチメートル(20ccm)及「クローラム」二グラム(2g)ヲ混和シ三十分時間強ク振盪シ二十四時間放置シタル

後茲ニ析出セル結晶ヲ濾紙上ニ集メ水十立方センチメートル (10 ccm) ヲ以テ洗滌シ六十度ヲ超エサル温ニ於テ乾燥シ冷後純エーテル十立方センチメートル (10 ccm) ヲ以テ濾紙上ノ結晶ヲ洗滌シ初メ微温次ニ九十六乃至百度ニ於テ乾燥シタル後更ニ此結晶ヲ十分定規鹽酸二十立方センチメートル (20 ccm) ニ溶解シ之ニ三滴ノ「ヘマトキシリン」溶液ヲ和シ十分定規カリ液ヲ滴加シテ中和スルニハ該液ヲ費スコト十二ニ乃至十二九立方センチメートル (12.9-129 ccm) ナラサルヘカラス(二)又此中和液ニ硝酸ヲ和スルニ血赤色、過クロール鐵溶液ヲ和スルニ藍綠色ヲ呈セサルヘカラス(三)

本品ニシテ「モルヒネ」ノ含量超過シタルモノハ之ニ「モルヒネ」含量寡少ノ阿片若クハ澱粉ヲ調和スルコトヲ得

本品ハ百度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ八分以上ノ重量ヲ減失スヘカラス(四)

注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 〇・一五グラム (0.15g)
- 一日ノ極量 〇・五グラム (0.5g)

(註) 解 (一)主成分ハ「モルヒネ」 $C_{17}H_{19}NO_3$ (約二十%以内) ニシテ其他ナルコチン $C_{15}H_{17}NO_2$ (二-四%)、 β -マイン $C_{18}H_{21}NO_3$ 、 γ -マイン $C_{18}H_{21}NO_3$ 、 δ -マイン $C_{18}H_{21}NO_3$ 、 ϵ -マイン $C_{18}H_{21}NO_3$ 、等二十餘種ノ「アルカロイド」ヲ含ム(1)本試驗ニ於テ濾液四十四立方センチメートルハ本品二グラムニ相當シ之ヨリ得タル「モルヒネ」結晶ト結合セル十分定規鹽酸ノ量ハ七・一立方センチメートル (30-12.9=17.1 ccm) 乃至七・八立方センチメートル (30-12.2=17.8 ccm) ナリ而シテ十分定規鹽酸一立方センチメートルハ無水モルヒネ $C_{17}H_{19}NO_3$ ニ對應スルヲ以テ本品二グラム中ニハ $C_{17}H_{19}NO_3$ 〇・二〇二四九二グラム (0.202492) $=0.212492$ 乃至 $C_{17}H_{19}NO_3$ 〇・二〇二四六六グラム (0.202466) $=0.222466$ ノ「モルヒネ」ヲ含有シ本品中モルヒネ含量十・一二乃至十一・一二%ヲ徵ス(三)モルヒネノ實性反應(四)水分ヲ試驗

(醫治効用) 鎮痛、鎮靜、鎮痙、催眠劑ニシテ内服ニハ一回〇・〇〇五-〇・〇一〇、一ナ丸劑、散劑、錠劑トナシ下痢症、赤痢、急性腹膜炎、盲腸周圍炎、腹腔手術後腸蠕動ヲ靜止セシムル目的、腸出血、鉛毒痛、メラニコリー、恐怖及強迫觀念ヲ伴フ重症神經衰弱症、精神病興奮状態ヲ安靜ナラシムル目的等ニ用フ外用ニハ坐藥(0.5-1.0)、軟膏(1:10)等トナン用フ

Pancreatinum.

パンクレアチン

パンクレアチン(一)ハ温血動物ノ膵中ニ存在スル「エンチーム」ノ混合物ニシテ通常ハ豚ノ新鮮ナル膵ヨリ製シタルモノナリ

本品ハ類黄色或ハ帶黄白色或ハ類灰色無晶形ノ粉末ニシテ微ニ不快ナラサル特異ノ臭氣竝肉ニ類スル味ヲ有シ水ニ徐々ナルモ殆ト全溶シ酒精ニ溶解セス

本品ハ蛋白質ヲ消化シ澱粉ヲ糖化ス永ク礦酸類ニ觸ルレハ其力減少ス

本品〇・二八グラム (0.28g) 及重炭酸ナトリウム一・五グラム (1.5g) ヲ豫メ微温湯百立方センチメートル (100 ccm) ヲ盛リタル硝子壺ニ容レ之ニ三十八度ニ温メタル新鮮ノ牛乳四百立方センチメートル (400 ccm) ヲ注加シタル後三十分時間同一ノ温ヲ保持シ其少許ヲ試験管ニ取り之ニ硝酸ヲ滴加スルニ凝固物ヲ生スヘカラス(二)又其牛乳ハ著シク苦味ヲ有スルニ至ルモ敗油臭ヲ放ツヘカラス(三)

壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註) 解

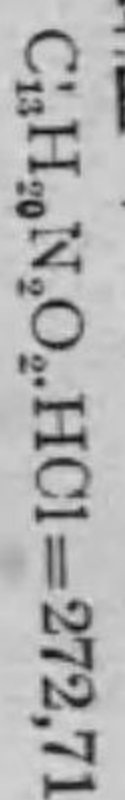
(一)アルカリ性溶液ニ於テ蛋白質ヲ「ペプトン」ニ化スル性アル「トリプシン」、澱粉ヲ砂糖ニ化スル性アル「サアスタゼ」七種似ノ「アミロプシン」、脂肪ヲ「グリセリン」及脂肪酸ニ分解スル性アル「ステアプシン」等ノ酵素ヨリ成ル(二)効力試驗ニシテ硝酸ニヨリテ凝固スルハ効力弱クシテ「ペプトン」化セサル蛋白質ノ殘存スルコトヲ示ス(三)不純物ノ試験

(醫治効用)

胃症ニシテ「ペプシン」ノ適應スル場合ニ一日數回〇・一-〇・五ヲ肉汁、牛乳ニ和シ又ハ丸劑、錠劑トナシ用フ

Paraminobenzoylethylaminoethanolum hydrochloricum.

鹽酸パラアミノペンツォイルヂエチールアミノエタノール



鹽酸パラアミノペンツォイルヂエチールアミノエタノール(一)ハ無色無臭ノ小鍼狀結晶ニシテ微ニ苦味ヲ有シ舌上鈍麻ノ感覺ヲ起ス一分ノ水ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵ス又三十分ノ酒精ニ溶解シ百五十六度ニ於テ熔融ス

本品ノ水溶液(一・一〇)ハ「カリ」滴液ニ由テ暫時ノ後凝固シテ結晶性ニ變スル無色ノ油滴ヲ析出シ昇汞溶液ニ由テ白色ノ沈澱、ヨード溶液ニ由テ褐色ノ沈澱又硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス(二)

本品及甘汞各等分ヨリ成レル混和物ニ稀酒精ヲ和シテ濕潤スレハ黒變ス(三)

本品〇・二グラム(〇・一〇)ヲ鹽酸二滴ヲ和シタル水五立方センチメートル(5 cc)ニ溶解シ之ニ亞硝酸ナトリウム溶液二滴ヲ和シタルモノヲ「ベタナフトール」〇・二グラム(0.2 g)ナトリオン滴液一立方センチメートル(1 cc)及水九立方センチメートル(9 cc)ヨリ成レル混液中ニ注加スレハ猩紅色ノ沈澱ヲ生ス(四)

本品〇・一グラム(〇・一〇)ニ稀硫酸五滴及水五立方センチメートル(5 cc)ヲ加ヘ溶解シテ得タル液ニ過マンガン酸カリウム溶液五滴ヲ和スルニ其紫色直チニ消失セサルヘカラス(五)

本品〇・一グラム(〇・一〇)ハ硫酸一立方センチメートル(1 cc)並硝酸一立方センチメートル(1 cc)ニ無色ニ溶解スヘシ(六)

本品ノ水溶液(一・一〇)ハ硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(七)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・二分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(八)
注意シテ貯フヘシ

(註) 解 (一)別名ノノウカイン Novocain ニシテ $NH_2 \cdot C_6H_4 \cdot CO \cdot O \cdot C_2H_5 \cdot N(C_2H_5)_2 \cdot HCl$ (二)ナル構造ヲ有ス(一)(二)(三)及(四)實性反應(五)鹽酸「コカイン」ノ試験(六)有機性夾雜物ノ試験(七)重金屬鹽類ノ試験(八)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用) 局處麻酔劑ニシテ其作用殆ト「コカイン」ニ等シ然カモ其毒性ハ約六倍弱シ唯効力ノ早ク消失スル短所アリ此ノ缺點ハ少量ノ「アドレナリン」ノ添加ニヨリ補足スルヲ得ヘシ

Parainum liquidum.

流動パラフィン

流動パラフィン「ハ石油ヨリ得タル無色澄明油樣ノ液ニシテ臭味ナク螢石彩ヲ現ハサス水ニ全ク、酒精ニ殆ト溶解セス「エーテル、クロロフォルム又硫化炭素ニ容易ニ溶解ス比重〇・八七五以上ナリ

本品百立方センチメートル(100 cc)ヲ蒸餾壺ニ取り三十分時間三百度ニ熱スルニ馏出分アルヘカラス(一)

本品三立方センチメートル(3 cc)ヲ試験管ニ取り硫酸三立方センチメートル(3 cc)ヲ注加シ重湯煎中ニ挿入シ屢、振盪シツツ十五分時間熱スルニ變色セス其硫酸ハ褐色ヲ呈スルコトアルモ僅微ニ過クヘカラス(二)

本品ニ等分ノ酒精ヲ加ヘ煮沸シテ得タル液ハ酸性ノ反應ヲ徵スヘカラス(三)

本品五立方センチメートル(5 cc)ニ「ナトロン」滴液二十立方センチメートル(20 cc)ヲ和シテ重湯煎上ニ三十分時間温浸シ其水液ヲ取り之ニ硫酸ヲ注キテ過飽スルニ油狀物ヲ分離スヘカラス(四)

(註) 解 (一)正品ノ特性(二)樹脂様夾雜物ノ試験ニシテ精製不十分ナルニ基因ス(三)遊離酸類又ハ酸性有機化合物ノ試験(四)脂肪ノ試験

(應用)

軟膏ノ基礎劑トス

Paraffinum solidum.

固形パラフィン

固形パラフィンハ白色細微結晶性ノ塊ニシテ臭氣ナク六十五乃至八十度ニ於テ熔融シ(一)無色澄明ノ液トナル

本品三グラム(3g)ヲ試験管ニ取り硫酸三立方センチメートル(3ccm)ヲ注加シ重湯煎中ニ挿入シ屢々振盪シツツ十五分時間熱スルニ變色セス其硫酸ハ褐色ヲ呈スルコトアルモ僅微ニ過クヘカラス(二)本品ニ等分ノ酒精ヲ加ヘ煮沸シテ得タル液ハ藍色試験紙ヲ赤變スヘカラス(三)

(註解)

(一)褐炭テールヨリ製シタル「パラフィン」ハ熔融點低シ(二)樹脂様夾雜物ノ試験(三)遊離酸類又ハ酸性有機化合物

ノ試験

(應用) 軟膏ノ基礎劑トス

Pastae.

パスタ劑

パスタ劑ハ粘稠軟膏狀或ハ糊泥狀ノ稠度ヲ有スル外用劑ナリ
本劑ハ藥物ニ澱粉、油類、脂肪、臘、固形パラフィン、ワセリン、水等ヲ親密ニ研和シ製スヘシ

Pasta Sulfuris cum Pice liquida.

タールパスタ 麥硫膏

タールパスタハ

木タール

酸化亞鉛

昇華硫黃

豚脂

牛脂

- 一分(一)
- 一分(一)
- 一分(一)
- 一分(一)
- 二分(二)

ヲ取り研和シ製スヘシ

本品ハ帶褐灰色ナリ

器中ニ密閉シ冷處ニ貯フヘシ

(醫治効用) 外用ニ濕疹、痒疹等諸種ノ皮膚病ニ用フ

Pastilli.

錠劑

錠劑ハ藥物ノ細末ヲ或ハ之ニ乳糖、澱粉若クハ適當ノ賦形藥ヲ混和シ錠子トナシ製シタルモノナリ
本劑ハ之ヲ約三十七度ノ水中ニ於テ時々搖動シツツ放置スルニ三十分時間以內ニ全ク崩壞セサルヘカラ
ス
密閉シ貯フヘシ

アセチールサリチール酸錠 タンニン錠

Pastilli Acidi acetylsalicylici.

アセチールサリチール酸錠

アセチールサリチール酸錠ハ

アセチールサリチール酸

澱粉

精製滑石

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・五グラム(0.5g)ノ「アセチールサリチール酸」ヲ含有ス

(醫治効用)

アセチールサリチール酸ノ條ヲ參觀スヘシ

四三三

五十分(30)

七分(7)

三分(3)

Pastilli Acidi tannici.

タンニン酸錠

タンニン酸錠ハ

タンニン酸

乳糖

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・五グラム(0.5g)ノ「タンニン酸」ヲ含有ス

(醫治効用)

タンニン酸ノ條ヲ參觀スヘシ

一分(1)

九分(9)

Pastilli Antipyrini.

アンチピリン錠

アンチピリン錠ハ

アンチピリン

澱粉

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・二五グラム(0.25g)ノ「アンチピリン」ヲ含有ス

(醫治効用)

アンチピリンノ條ヲ參觀スヘシ

各等分

Pastilli Bismuti subnitrici.

次硝酸蒼鉛錠

次硝酸蒼鉛錠ハ

次硝酸蒼鉛

乳糖

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・二五グラム(0.25g)ノ「次硝酸蒼鉛」ヲ含有ス

(醫治効用)

次硝酸蒼鉛ノ條ヲ參觀スヘシ

各等分

アンチピリン錠

次硝酸蒼鉛錠

四三三

鹽酸キニーネ錠 鹽酸コカイン錠

Pastilli Chinini hydrochlorici.

鹽酸キニーネ錠

鹽酸キニーネ錠ハ

澱粉

乳糖

精製滑石

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・一グラム(0.1g)ノ鹽酸キニーネヲ含有ス

(醫治効用)

鹽酸キニーネノ條ヲ參觀スヘシ

十分(10)

五分(5)

三分(3)

二分(2)

Pastilli Cocaini hydrochlorici.

鹽酸コカイン錠

鹽酸コカイン錠ハ

乳糖

乳糖

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・〇〇五グラム(0.005g)ノ鹽酸コカインヲ含有ス

注意シテ貯フヘシ

(醫治効用)

鹽酸コカインノ條ヲ參觀スヘシ

一分(1)

四十九分(49)

Pastilli Hydrargyri bichlorati.

昇汞錠

昇汞錠ハ

昇汞

クロールカリウム

ヲ取り混和シ「スカルレット」又ハ「フクシンS」ヲ以テ著色シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・五グラム(0.5g)ノ昇汞ヲ含有ス

壘中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

(醫治効用)

急速ニ昇汞溶液ヲ製スルニ用フ(一錠ヲ一「オートル」ノ水ニ溶解スレハ〇・〇五%ノ溶液ヲ得)

各等分

Pastilli Hydrargyri chlorati.

甘汞錠

甘汞錠ハ

甘汞

乳糖

澱粉

精製滑石

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・二五グラム(0.25g)ノ甘汞ヲ含有ス

二十五分(25)

八分(8)

十一分(11)

六分(6)

昇汞錠 甘汞錠

甘汞錠 吐根錠 ヨードカリウム錠

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

(醫治効用) 甘汞ノ條ヲ參觀スヘシ

Pastilli Ipecacuanhae.

吐根錠

吐根錠ハ

吐根

乳糖

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・〇一グラム(0.01 gr)ノ吐根ヲ含有ス

(醫治効用) 吐根ノ條ヲ參觀スヘシ

一分 (1)
四十九分 (49)

Pastilli Kalii iodati.

ヨードカリウム錠

ヨードカリウム錠ハ「ヨードカリウム」ヲ取り錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・二五グラム(0.25 gr)ノ「ヨードカリウム」ヲ含有ス

壺中ニ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用) ヨードカリウムノ條ヲ參觀スヘシ

Pastilli Morphini hydrochlorici.

鹽酸モルヒネ錠

鹽酸モルヒネ錠ハ

鹽酸モルヒネ

乳糖

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・〇〇五グラム(0.005 gr)ノ鹽酸モルヒネヲ含有ス

注意シテ貯フヘシ

(醫治効用) 鹽酸モルヒネノ條ヲ參觀スヘシ

一分 (1)
四十九分 (49)

Pastilli Natrii salicylici.

サリチール酸ナトリウム錠

サリチール酸ナトリウム錠ハ

サリチール酸ナトリウム

澱粉

ヲ取り混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・二五グラム(0.25 gr)ノ「サリチール酸ナトリウム」ヲ含有ス

(醫治効用) サリチール酸ナトリウムノ條ヲ參觀スヘシ

各等分

鹽酸モルヒネ錠 サリチール酸ナトリウム錠

Pastilli Opii et Ipecacuanhae.
阿片吐根錠

阿片吐根錠ハ
阿片 一分(1)
吐根細末 一分(1)
サフラン細末 一分(1)
乳糖 七分(7)

ヲ取リ混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中阿片及吐根各〇〇五グラム(0.05g)ヲ含有ス

注意シテ貯フヘシ

(醫治効用) ドーフル散ノ條ヲ参照スヘシ

Pastilli Santonini.
サントニン錠

サントニン錠ハ 二分(2)
サントニン 二十二分(22)
乳糖 一分(1)
精製滑石 一分(1)

ヲ取リ混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇〇二グラム(0.02g)ノ「サントニン」ヲ含有ス

光ヲ遮リ貯フヘシ

(醫治効用)

サントニンノ條ヲ参照スヘシ

Pastilli stomachici.
健胃錠

健胃錠ハ 五分(5)
重碳酸ナトリウム 二分(2)
龍膽細末

ヲ取リ混和シ錠子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇二五グラム(0.25g)ノ重碳酸ナトリウム及〇一グラム(0.1g)ノ龍膽ヲ含有ス

(醫治効用)

健胃劑トス

Pepsinum saccharatum.
含糖ペプシン

含糖ペプシンハ豚或ハ牛ノ胃粘膜ヨリ得タル「ペプシン」ニ乳糖ヲ混和シタルモノニシテ殆ト白色細微ノ粉末ヲナシ稍、潮解性ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味微甘ニシテ僅ニ苦味ヲ遺ス百分ノ水ニ微濁シテ溶解シ微弱酸性ノ反應ヲ徴シ酒精ニ殆ト溶解セス

本品ハ不快若クハアムモニア性ノ臭氣ヲ有スヘカラス(1)

本品〇一グラム(0.1g)水百立方センチメートル(100 cm)及鹽酸〇五立方センチメートル(0.5 cm)ノ混液

サントニン錠 健胃錠 含糖ペプシン

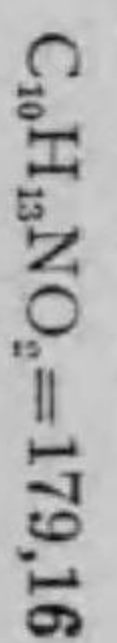
ニ新鮮ナル鶏卵ヲ約八分時間熱湯中ニ煮熟シ冷後其卵白ヲ取り第四號篩ヲ用ヒ壓ヲ加ヘテ二回篩過シタルモノ十グラム(10g)ヲ加ヘ五十度ニ於テ屢ニ振盪スルニ二時間以内ニ其卵白殆ト全ク溶解スヘシ(一)本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルモ百分ニ付キ〇・五分ニ過クヘカラス(三)又燃化スルニ百分ニ付キ〇・五分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(四) 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註) 解 (一)如上ノ臭氣ヲ有スルモノハ已ニ變敗セル徵(二)消化効力試験ニシテ「ハブシン」ハ鹽酸ノ助アルトキハ卵白ヲ溶解シテ「ハブトン」ニ變ス(三)重量ヲ減失スルコト多クハ乾燥不充分ナル徵(四)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用) 諸種ノ消化不良、慢性胃加答兒等ニ一日數回〇・五—一・〇ヲ散劑、丸劑、合劑トナシ毎食後ニ投與シ稀鹽酸ヲ配伍スルヲ常トス

Phenacetinum.

フェナセチン



フェナセチン(一)ハ光輝アル無色小葉狀結晶ニシテ臭味ナク水ニ溶解シ難ク約七十分ノ熱湯竝約十六分ノ酒精ニ溶解シ中性ノ反應ヲ微シ百三十四乃至百三十五度ニ於テ熔融ス(二)

本品ニ硝酸ヲ和シテ振盪スレハ黃色ヲ呈ス(三)

本品〇・一グラム(0.1g)ヲ鹽酸一立方センチメートル(1ccm)ト共ニ一二分時間煮沸シ水二十立方センチメートル(20ccm)ヲ以テ稀釋シ冷後濾過シテ得タル液ニ重クローム酸カリウム溶液二三滴ヲ加フレハ紅色ヲ呈ス(四)

本品〇・一グラム(0.1g)ヲ熱湯十立方センチメートル(10ccm)ニ溶解シ冷後濾過シテ得タル液ハ之ニ「プロ

ーム水ヲ和シテ黃色ヲ呈スルニ至ルニ濁濁スヘカラス(五)又本品〇・二グラム(2g)ニ酒精一立方センチメートル(1ccm)ヲ和シ三倍容量ノ水ヲ以テ稀釋シ「ヨード溶液」一滴ヲ加ヘテ煮沸スルニ赤色ヲ呈スヘカラス(六)

本品〇・一グラム(0.1g)ハ硫酸一立方センチメートル(1ccm)ニ殆ト染色セスシテ溶解スヘシ(七)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・二分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(八)

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 一グラム(1g)

一日ノ極量 三グラム(3g)

(註) 解 (一)アセトフェネチサン「ニシテ $C_6H_4 \langle \begin{smallmatrix} \text{NHCOCH}_3 \\ \text{OC}_2\text{H}_5 \end{smallmatrix} \rangle$ 」ナル構造ヲ有ス (II)アセトアニリド又ハ「アミンチピリン」

ヲ夾雜スレハ熔點低シ(III)及(IV)實性反應(IV)「セトマニール」ノ試験 $C_6H_4 \langle \begin{smallmatrix} \text{H} \\ \text{NHCOCH}_3 \end{smallmatrix} \rangle + 2\text{Br} = C_6H_3 \langle \begin{smallmatrix} \text{Br} \\ \text{NHCOCH}_3 \end{smallmatrix} \rangle + \text{HBr}$

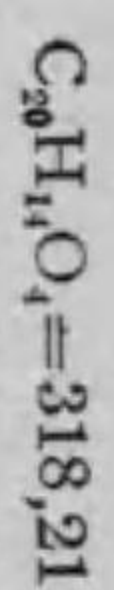
(六)「パラフェネチサン」ノ試験 $C_6H_4 \langle \begin{smallmatrix} \text{NH}_2 \\ \text{OC}_2\text{H}_5 \end{smallmatrix} \rangle + 2\text{I} = C_6H_3 \langle \begin{smallmatrix} \text{NH}_2 \\ \text{OC}_2\text{H}_5 \end{smallmatrix} \rangle + \text{HI}$ (七)有機性夾雜物ノ試験 (八)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用) アセトアニリド又ハ「アミンチピリン」ニ同シク解熱劑、鎮痛劑トシテ常用シ一日數回〇・五—一・〇ヲ散劑トナシ

用フ

Phenolphthaleinum.

フェノールフタレイン



フェノールフタレイン「ハ白色或ハ類黃白色結晶性或ハ無晶形ノ粉末ニシテ臭味ナク水ニ殆ト溶解セス十二分ノ酒精ニ溶解シ又カリ鹼液竝ナトロン鹼液ニ紅色ヲ呈シテ溶解ス熔融點二百五十五乃至二百五十八

フェナセチン フェノールフタレイン

度ナリ

本品〇.五グラム(0.5g)ハ酒精二十立方センチメートル(20ccm)ニ染色セスシテ溶解セサルヘカラス(一)

本品〇.五グラム(0.5g)ハ「ナトロン」液一立方センチメートル(1ccm)及水五十立方センチメートル(50

ccm)ノ混液ニ全溶スヘシ(二)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇.一分以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス(三)

注意シテ貯フヘシ

(註) 解

(醫治効用)

(一)本品ノ特性(二)無水フェニールフタレイン $C_{10}H_6O_2$ ナル「フルオラン」ノ試験(三)無機性夾雑物ノ試験
良好ナル緩下劑ニシテ一回〇.二—〇.五チ、小兒ニハ〇.〇二—〇.〇五チ用フ

Phenylidihydrochinazolinum tannicum.

タンニン酸フェニールギヒドロヒナツォリン

タンニン酸フェニールギヒドロヒナツォリン(一)ハ白色或ハ帶黄白色ノ粉末ニシテ殆ト臭味ナク水ニ僅微
ニ、鹽酸性水ニ容易ニ又五十分ノ酒精ニ溶解ス

本品〇.五グラム(0.5g)ニ酒精二立方センチメートル(2ccm)ヲ注キ之ニ稀薄鹽酸(1:20)八立方センチメー

トル(8ccm)ヲ加ヘテ得タル溶液ニ昇汞溶液ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生シ「クロム酸カリウム」溶液ヲ和

スレハ暗色ノ濁濁ヲ生ス又ナトロン「液」ヲ和スレハ黄白色ノ沈澱ヲ生シ之ニ「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ

其エーテル液ヲ取り蒸發シテ得タル残渣ハ約九十五度ニ於テ熔融シ酒精並ク「クロム酸カリウム」ニ溶解ス(二)

本品ニ亞鉛末ヲ加ヘテ熱スレハ「イソニトリール」ノ臭氣ヲ發シ之ニ鹽酸性水ヲ加ヘ濾過シテ得タル液ハ

「クロール石灰」溶液ニ由テ藍色ヲ呈ス(三)

本品ヲ鹽酸性水ニ溶解シ之ニ過ク「クロール」鐵溶液ヲ和スレハ藍色ヲ呈ス(四)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇.一分以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス(五)

(註) 解

(一)フェニールギヒドロヒナツォリン即チ「オレキシン」 $C_6H_3(CH_2)_2N_2O_5$ ノ「タンニン酸」ナリ(二)(三)及

(四)實性反應(五)無機性夾雑物ノ試験

(醫治効用) 食慾増進ノ目的ニ朝〇.三—〇.五チ用フ

Phenylm salicylicum.

サリチール酸フェニール



サリチール酸フェニール(一)ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ弱キ芳香性ノ氣味ヲ有シ約四十二度ニ於テ熔融
シ水ニ殆ト溶解セス「エーテル」並ク「ロソフォルム」ニ容易ニ又十五分ノ酒精ニ溶解ス

本品ノ酒精溶液ニ過ク「クロール」鐵溶液ヲ和スレハ紫色ヲ呈ス(二)又本品〇.二グラム(0.2g)ヲ「ナトロン」液

二立方センチメートル(2ccm)ニ温ヲ與ヘテ溶解シ鹽酸ヲ以テ過飽スレハ石炭酸ノ臭氣ヲ發シテ「サリチ

ール酸」白堊ヲ析出ス(三)

本品ハ水ヲ以テ滯ホシタル藍色試験紙ヲ赤變スヘカラス(四)又本品一分ヲ五十分ノ水ト共ニ振盪シ濾過

シテ得タル液ハ稀過ク「クロール」鐵溶液(五)、硝酸バリウム溶液(六)又硝酸銀溶液(七)ニ由テ變化スヘカラス

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇.一分以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス(八)

(註) 解

(一)別名「サロメ」ニシテ $C_6H_4(OH)(COOC_6H_5)$ (二)ナル構造ヲ有ス(三)實性反應(四)實性反應 $C_6H_4(OH)(COOC_6H_5) +$

$2NaOH = C_6H_4(OH)(COONa) + C_6H_5ONa + H_2O$; $C_6H_4(OH)(COONa) + C_6H_5ONa + 3HCl = C_6H_4(OH)(COOH) + C_6H_5OH + 2NaCl$ (四)サリ

チール酸、燐酸ノ如キ遊離酸類ノ試験(五)サリチール酸「ナトリウム」、サリチール酸、フェニール(一)ノ試験(六)硫酸ノ試験(七)遊離

ノ試験(八)無機性夾雑物ノ試験

(醫治効用)

内服ニハ關節痠痛、痲痺、下痢、膀胱加答兒等ニ一日數回〇・五—二・〇(一日四・〇—八・〇以内)ヲ、又腸胃、下痢、膀胱加答兒等ニ一日數回〇・五—一・〇ヲ散劑トシ又ハ「オブラート」ニ包ミ用ヒ外用ニハ防癩劑トシ潰瘍、濕疹、癩癬等ニ一—十%ヲ「ヨウ」軟膏、澱粉撒布粉トナシ又ハ三%酒精溶液ヲ含嗽水ニ添加ス

燐 Phosphorus.

P=31.04

燐ハ白色或ハ類黄色透映蠟様ノ塊ニシテ多クハ圓柱形ヲナシ四十四度ノ水中ニ熔融シ氣中ニ於テ特異ノ臭氣ヲ放チ白霧ヲ生シ發火シ易ク暗處ニ置ケハ光ヲ現ハシ久シク貯藏スレハ赤色又時トシテハ黑色トナル水ニ溶解セス硫化炭素ニ容易ニ溶解シ脂肪油並揮發油ニ較シ難ク酒精並エーテルニ僅ニ溶解ス水ヲ滿タセル壺中ニ沈メ硝子栓ヲ以テ密閉シ鐵葉器中ニ納メ最モ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・〇〇一グラム(0.001 g)

一日ノ極量 〇・〇〇三グラム(0.003 g)

(醫治効用)

内服ニハ佝僂病、骨軟化症、骨質形成遲緩症等ニ一日數回〇・〇〇〇三—〇・〇〇一ヲ丸劑、乳劑、油性(肝油)溶液等トナシ用ヒ外用ニハ麻痺、痲瘋痲質ニ搽劑、軟膏(0.1—0.2:30%)トナシ用フ

Physostigminum salicylicum. Eserinum salicylicum.

サリチール酸フィズスチグミン サリチール酸エゼリン

$C_{17}H_{17}NO_7 \cdot C_7H_5O_2 = 413.36$

サリチール酸フィズスチグミンハ無色或ハ微黄色ノ光澤アル結晶ニシテ百分ノ水ニ徐々ニ、十二分ノ酒精

ニ速ニ溶解シ其水溶液(1:100)ハ藍色試験紙ヲ直チニ變色セス(一)其乾燥品ハ久シキヲ經ルモ變化セス光ニ觸ルルモ亦然リ其水溶液並酒精溶液ハ一二時間ノ後類赤色ヲ呈ス

本品ノ水溶液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈シ「ヨード」溶液ニ由テ濁濁ス(二)又本品ヲ硫酸ニ溶解スレハ無色ノ液トナリ漸次黄色ヲ呈ス(三)

本品一小片ニ「アムモニア」水ヲ和シテ温ムルニ帶黄赤色ヲ呈シテ溶解シ之ヲ重湯煎上ニ蒸發スレハ藍色或ハ藍灰色ノ物質ヲ殘留ス此殘留物ハ酒精ニ藍色ヲ呈シテ溶解シ醋酸ヲ以テ之ヲ過飽スレハ赤色ニ變シ螢石彩ヲ現ハシ又此殘留物ハ一滴ノ硫酸ニ綠色ヲ呈シテ溶解シ漸次酒精ヲ以テ稀釋スレハ赤色ニ變シ其酒精ヲ揮散セシムレハ復タ綠色トナル(四)

本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ殆ト其重量ヲ減失スヘカラス又之ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(五)

光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・〇〇一グラム(0.001 g)

一日ノ極量 〇・〇〇三グラム(0.003 g)

(註)

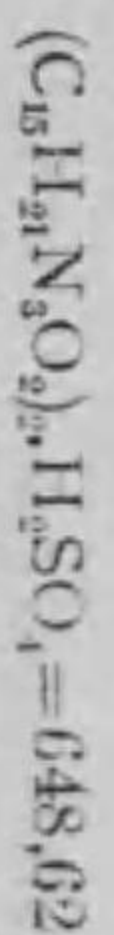
(一)遊離サリチール酸ノ試験(二)實性反應(三)直ニ染色スレハ有機性夾雜物ヲ混スル徵(四)フィズスチグミンノ實性反應(五)水分又無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用)

内服ニハ腸管無力症、神經痛、破傷風、痲痺、舞踏病、アトロピン及ストリキニーネ中毒等ニ一日一—三回〇・〇〇〇五ヲ溶液又ハ丸劑トナシ用ヒ外用ニハ主トシテ縮瞳劑トシ瞳孔散大、調節痲痺、虹彩脫、角膜潰瘍、葡萄腫、虹彩後蓋著ヲ離解シ又ハ終内障内壓ヲ減少スル目的ニ用ヒ〇・二—〇・五%溶液ヲ點眼ス

Physostigminum sulfuricum.

硫酸フィソスチグミン



硫酸フィソスチグミンハ白色或ハ微ニ類黄色ヲ帶フル結晶性ノ粉末ニシテ苦味ヲ有シ濕潤氣中ニ於テ潮解シ水並酒精ニ容易ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵ス
本品ノ水溶液ニ硝酸バリウム溶液ヲ和スレハ稀酸類ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生ス(一)又本品ノ水溶液(1:1000)ニ過クロール鐵溶液ヲ和スルニ紫色ヲ呈スヘカラス或ハ之アルモ極メテ僅微ニ止マルヘシ(二)其他ノ試驗ハ「サリチール酸フィソスチグミン」ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ
塚中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 0.001グラム(0.001g)

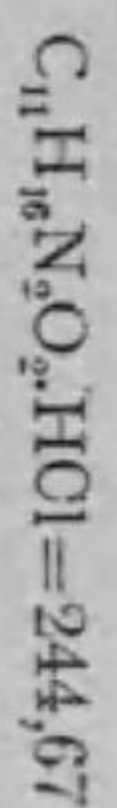
一日ノ極量 0.003グラム(0.003g)

(註) 解 (一)硫酸ノ實性反應(二)サリチール酸ノ試驗

(醫治効用) サリチール酸フィソスチグミンニ同主トシテ獸醫術ニ於テ用フ

Pilocarpinum hydrochloricum.

鹽酸ピロカルピン



鹽酸ピロカルピンハ白色ノ結晶ニシテ微ニ苦味ヲ有シ氣中ニ於テ潮解ス水並酒精ニ容易ニ溶解シ弱酸性ノ反應ヲ徵シ「エーテル並クロロフォルム」ニ僅微ニ溶解ス熔融點約百九十六度ナリ
本品ニ少量ノ「ナトロン滴液」ヲ注ケハ油球ヲ析出シ之ヲ熱スレハ溶解シテ澄明ノ液トナリ尙久シク熱ス

レハ「トリメチールアミン」ノ臭氣ヲ放ツ又本品ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ稀硝酸ニ溶解セサル白堊ヲ生ス(一)

本品0.01グラム(0.01g)ヲ水五立方センチメートル(5ccm)ニ溶解シ之ニ稀硫酸一滴、稀過酸化水素溶液一立方センチメートル(1ccm)、ベンツォール一立方センチメートル(1ccm)及重クロールム酸カリウム溶液一滴ヲ加ヘ強ク振盪スレハ「ベンツォール層藍紫色ヲ呈ス(二)

本品ノ水溶液(1:100)ハ「ヨード溶液」ブローム水又昇汞溶液ニ由テ沈澱ヲ生シ(三)「アムモニア水並重クロールム酸カリウム溶液」ニ由テ濁濁スヘカラス(四)

本品ハ硫酸ニ染色セスシテ溶解シ發烟硝酸ニ綠色ヲ呈シテ溶解スヘシ(五)

本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ殆ト其重量ヲ減失スヘカラス又之ヲ燃化スルニ百分ニ付キ0.1分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(六)

塚中ニ容レ密栓シ最モ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 0.01グラム(0.02g)

一日ノ極量 0.04グラム(0.04g)

(註) 解 (一)(二)及(三)實性反應(四)他ノ「アルカロイド」ノ試驗(五)有機性夾雜物ノ試驗(六)水分又無機性夾雜物ノ試驗

(醫治効用) 發汗劑、催溼劑トシテ常用シ内服ニハ腎臟炎ニ因スル水腫症、肋膜炎性滲出物吸收ノ目的、尿毒症、慢性水銀及鉛中毒、痲瘋質斯疾、氣管枝炎、實扶的里、梅毒、痒疹、毛髮發生ノ目的等ニ0.01-0.02ヲ溶液又ハ丸劑トナシ用ヒ又ハ2%溶液半一筒ヲ皮下注射シ外用ニハ縮瞳劑トシ虹彩炎、脈絡膜炎、網膜剝離、視神經炎等ニ1%溶液ヲ點眼ス

Pilulae.
丸劑

丸劑ハ球圓形稀ニハ卵圓形ヲ有シ通例甘草末及甘草羔末或ハ甘草越幾斯ヲ賦形藥トシテ調製シタル藥劑ニシテ内用ニ供スルモノナリ
本劑ヲ製スルニハ其諸成分ヲ親密ニ混和シ賦形藥ヲ加ヘ捏合シテ可塑性ノ塊トナシ前項ノ形狀トナスヘシ
丸子ハ其大サ均等ナルヲ要シ一丸ノ重量ハ特別ニ記載スルモノノ外約〇・一二グラム(一四)ナルヘシ
有機質ニ觸レ容易ニ分解スル物質ヲ含有スル場合ニハ賦形藥トシテ通例白陶土或ハ精製滑石及グリセリン或ハ「ワセリン」ヲ用ヒ又多量ノ「バルサム」揮發油或ハ脂肪ヲ含有スル場合ニハ通例黃蠟ヲ用フ
丸衣ニハ通例石松子又ハ甘草細末ヲ用フ

Pilulae Acidi arsenicosi.
亞砒酸丸

亞砒酸丸ハ
亞砒酸
一分 (1)
甘草細末
三十分 (30)
桂皮細末
三十分 (30)
ヲ取り研和シタル後
適宜量
グリセリン
ヲ加ヘテ復タ研和シ丸子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・〇〇一グラム(0.001g)ノ亞砒酸ヲ含有ス
最モ注意シテ貯フヘシ

(醫治効用) 亞砒酸ノ條ヲ參觀スヘシ

Pilulae Aloës.

蘆薈丸

蘆薈丸ハ

蘆薈中末
藥用石鹼

各等分

ヲ取り水ヲ加ヘテ研和シ丸子トナシ製スヘシ
(醫治効用) 常習便秘ニ一五丸ヲ用フ

Pilulae Aloës et Ferri.

蘆薈鐵丸

蘆薈鐵丸ハ

乾燥硫酸亞酸化鐵
蘆薈中末

各等分

ヲ取り酒精ヲ加ヘテ研和シ丸子トナシ製スヘシ
(醫治効用) 月經不調及便秘ヲ兼メル萎黃病ニ一日三回一―二丸ヲ用フ

蘆薈丸 蘆薈鐵丸

蘆薈ヤラツバ丸 規鐵丸

Pilulae Aloës et Jalapae.

蘆薈ヤラツバ丸

蘆薈中末

ヤラツバ石鹼

甘草細末

各等分

ヲ取り研和シ約〇・一五グラム(0.15g)ノ重量ヲ有スル丸子トナシ製スヘシ

(醫治効用) 瀉下劑ニシテ二―五丸ヲ用フ

四四〇

Pilulae Ferri et Chinini.

規鐵丸

規鐵丸ハ

鹽酸キニーネ

還元鐵

龍膽越幾斯

五分(5)

五分(5)

適宜量

ヲ取り研和シ約〇・二五グラム(0.25g)ノ重量ヲ有スル丸子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中鹽酸キニーネ及還元鐵各〇・〇五グラム(0.05g)ヲ含有ス

(醫治効用) 健胃強壯劑トス

Pilulae Guajacoli carbonici.

炭酸グアヤコール丸

炭酸グアヤコール丸ハ

炭酸グアヤコール細末

甘草細末

龍膽越幾斯

五分(5)

二分(2)

適宜量

ヲ取り研和シ丸子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・〇五グラム(0.05g)ノ炭酸グアヤコールヲ含有ス

(醫治効用) 炭酸グアヤコールノ條ヲ參觀スヘシ

Pilulae Kreosoti.

クレオソート丸

クレオソート丸ハ

クレオソート

甘草細末

グリセリン

十分(10)

十九分(19)

一分(1)

ヲ取り研和シ丸劑塊ヲ得ルニ至リ約〇・二五グラム(0.25g)ノ重量ヲ有スル丸子トナシ桂皮末ヲ衣トナシ

製スヘシ

本品ハ一箇中〇・〇五グラム(0.05g)ノ「クレオソート」ヲ含有ス

(醫治効用) クレオソートノ條ヲ參觀スヘシ

炭酸グアヤコール丸 クレオソート丸

四四一

炭酸クレオソート丸 複方大黃丸

四四二

Pilulae Kreosoti carbonici.

炭酸クレオソート丸

炭酸クレオソート丸ハ

グリセリン

甘草細末

ヲ取り研和シ約〇・一八グラム(18%)ノ重量ヲ有スル丸子トナシ製スヘシ

本品ハ一箇中〇・〇五グラム(0.05%)ノ炭酸クレオソートヲ含有ス

(醫治効用) 炭酸クレオソートノ條ヲ參觀スヘシ

五分(5)

三分(3)

十分(10)

Pilulae Rhei composita.

複方大黃丸

複方大黃丸ハ

大黃越幾斯

蘆薈越幾斯

ヤラップバ脂

藥用石鹼

ヲ取り水ヲ加ヘテ研和シ丸子トナシ大黃細末ヲ衣トナシ製スヘシ

(醫治効用) 瀉下劑ニシテ一回五―十丸ヲ用フ

六分(6)

二分(2)

一分(1)

四分(4)

Pix Betulae liquida. Oleum Rusci.

樺木タール

Betula alba L.

樺木タール(一)ハ本植物ノ木材ヲ乾留シテ得タル「タール」ナリ

本品ハ黒褐色油様ノ濃稠液ニシテ竄透性特異ノ臭氣ヲ有シ薄層ニ於テハ透明ナリ

本品一分ニ水二十分ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液十立方センチメートル(10ccm)ハ稀過クロール鐵溶

液數滴ニ由テ持續スル綠色ヲ呈ス(二)

(註) 解 (一)成分ハゴアヤコール、クレゾール、クレオゾール等トス(二)實性反應(クレオゾールノ存在ニ基因ス)

(醫治効用) 軟膏(T:O:1)トナシ慢性皮膚病、濕疹、痒疹等ニ用フ

Pix Juniperi liquida. Oleum cadinum.

杜松木タール

Juniperus Oxycedrus L. 及其他 *Juniperus* 屬ノ諸種

杜松木タール(一)ハ本屬諸種植物ノ木材ヲ乾留シテ得タル「タール」ナリ

本品ハ暗褐色油様ノ濃稠液ニシテ薄層ニ於テハ透明ナリ「クロロフォルム、エーテル又アニリン」ニ溶解シ

「テレピン油」ハ殆ト全ク溶解ス

本品一分ニ水二十分ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液十立方センチメートル(10ccm)ハ稀過クロール鐵溶

液數滴ニ由テ持續スル紅色ヲ呈ス(二)

(註) 解 (一)成分ハ醋酸同基列化合物、炭化水素、樹脂、フェノール等トス(二)實性反應

(醫治効用) 木タールニ同シク皮膚病ニ用フ

樺木タール 杜松木タール

四四三

Pix liquida.

木タール

Pinus 屬ノ諸種

木タール(一)ハ本屬諸種植物ノ木材ヲ乾留シテ得タル「タール」ナリ

本品ハ帶黒褐色半透明濃稠ノ液ニシテ少シク顆粒狀ヲ呈シ特異ノ臭氣ヲ有シ水中ニ注ケハ沈下シ純アルコホルニ全ク溶解シ「テレピン油」一部分帶褐黄色ヲ呈シテ溶解ス顯微鏡下ニ檢スレハ細微ノ結晶ヲ認ム(二)

本品一分ニ水十分ヲ和シ振盪シテ得タル液ハ類黄色ニシテ(三)特異ノ臭味ヲ有シ酸性ノ反應ヲ微シ(四)其十立方センチメートル(10 cm)ニ水二十立方センチメートル(20 cm)及過クロール鐵溶液二滴ヲ加フルニ帶緑褐色ヲ呈シ又其液及石灰水各同容量ヨリ成レル混液ハ暗褐色ヲ有セサルヘカラス(五)

(註)

解

(一)主成分ハフェノール類及其誘導體クレオソートノ類其他醋酸等トス(二)結晶ハ「アレンツカテヒン」ヨリ成ル

(三)褐炭タールノ場合ニハ往々藍黑色ヲ呈ス(四)石炭タールノ場合ニハアルカリ性ヲ微ス(五)本品ノ特性ニシテ「フェノール」類ノ存在ニ因スル反應

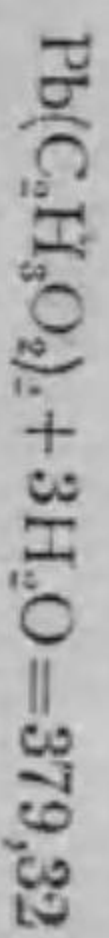
(醫治効用)

主ニ外用ニ五―十倍ノ軟膏トナシ慢性皮膚病、濕疹、痒疹、乾癬等ニ塗布ス

Plumbum aceticum.

醋酸鉛

鉛糖



醋酸鉛ハ無色透映ノ結晶或ハ白色結晶性ノ塊ニシテ微ニ醋酸ノ臭氣ヲ有シ氣中ニ於テ漸次風化シ二三十分ノ水並二十九分ノ酒精ニ溶解ス本品ノ冷飽和水溶液ハ「アルカリ性」ノ反應ヲ微シ水ヲ以テ稀釋スレハ

弱酸性ノ反應ヲ呈ス(一)味微ニ甘ク後收斂性ナリ

本品ノ水溶液ハ「ヨードカリウム」溶液ニ由テ黄色ノ沈澱、硫化水素水ニ由テ黑色ノ沈澱、硫酸ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生シ又過クロール鐵溶液ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生シ其上清液ハ赤色ヲ呈ス(二)

本品一分ヲ新ニ煮沸シ冷却シタル水九分ニ溶解シタルモノハ澄明ナルヘシ或ハ蛋白石濁ヲ呈スルニ止マルヘシ(三)又之ニ少量ノ黄色血滴鹽溶液ヲ加ヘテ得タル沈澱ハ純白色ナラサルヘカラス(四)又其十立方センチメートル(10 cm)ニ硫化水素ヲ飽和シテ充分沈降セシメ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス(五)

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量

〇・一グラム(0.1g)

一日ノ極量

〇・ニグラム(0.3g)

(註)

解

(一)酸性反應ハ醋酸鉛ノ加水分解ニ起因ス(二)質性反應(三)痕跡以上炭酸鉛ノ試験(四)類赤褐色ヲ呈スレハ銅、藍色

ヲ呈スレハ鐵ヲ夾類スル微五アルカリ又ハ亞鉛ノ試験

(醫治効用)

内服ニハ收斂、止血ノ目的ヲ以テ一日數回〇・〇二―〇・〇五ヲ散劑、丸劑、溶液等トナシ肺、腸膀胱出血、肺水腫、赤痢等ニ用フルコトアリ外用ニハ收斂、分泌抑制ノ目的ニ炭酸劑(0.1-0.3:30.0)、尿道注射劑(0.1-0.5:100.0)、點眼水(0.05-0.5:100.0)等トナス

Plumbum carbonicum.

炭酸鉛

炭酸鉛(一)ハ白色ノ重キ粉末ニシテ水並酒精ニ溶解セス

本品ハ強熱ニ逢ヘハ黄色ニ變シ木炭末ト共ニ熱灼スレハ金屬粒ヲ生ス又醋酸並稀硝酸ニ泡沸シテ溶解

ス(二)

本品ノ醋酸溶液(1:10)十立方センチメートル(10 cm)ニ硫化水素ヲ飽和シテ充分沈降セシメ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス(三)又少量ノ黄色血瀾鹽溶液ヲ和シテ生シタル沈澱ハ純白色ナラサルヘカラス(四)

本品ヲ熾灼スルニ百分ニ付キ八十五分以上ノ酸化鉛ヲ遺ササルヘカラス(五)

(註)

解 (一) $PbCO_3 \cdot Pb(OH)_2$ ナル集成ヲ有スルナラン(二)實性反應(三)アルカリ、アルカリ土類(殊ニ炭酸カルシウム又ハ炭酸バリウム)ノ試験(四)鐵ヲ夾雜スレハ藍色、銅ヲ夾雜スレハ赤褐色ヲ呈ス(五)正品質ノ特性

(醫治効用)

外用ニ乾燥劑トシテ撒布粉、軟膏、硬膏ヲ製スルニ用フ

Plumbum oxydatum. Lithaeryum.

酸化鉛

密陀僧

$PbO = 223.2$

酸化鉛ハ類黄色或ハ類赤黄色微細ノ重キ粉末ニシテ熱スレハ熔融シテ暗色ヲ呈ス水葺酒精ニ溶解セス稀硝酸ニ溶解ス

本品ノ稀硝酸溶液ハ硫化水素水ニ由テ黒澱又稀硫酸ニ由テ「ナトロン」液ニ溶解スヘキ白澱ヲ生ス(一)

本品一分ニ稀硝酸十分ヲ和スルニ全ク或ハ殆ト澄明ニ溶解シテ無色ノ液トナリ(二)其際瓦斯ヲ發スルコトアルモ僅微ニ止マルヘシ(三)此溶液ニ過剩ノ稀硫酸ヲ加ヘテ生シタル沈澱ヲ濾過シテ得タル液ニ「アム

モニア」水ヲ加ヘテ過飽スルニ類藍色ヲ呈スルニ過キス(四)又帶赤褐色ノ沈澱ヲ生スルコトアルモ僅微ニ過クヘカラス(五)

本品五グラム(0.05)ニ水五立方センチメートル(5 cm)ヲ加ヘテ振盪シ之ニ醋酸二十立方センチメートル(20

ccm)ヲ注キテ二三分時間煮沸スルニ殆ト全ク溶解シ或ハ不溶物質ヲ殘留スルコトアルモ0.05グラム(0.05 g)ニ過クヘカラス(六)

本品ヲ熾灼スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ一分ニ過クヘカラス(七)

注意シテ貯フヘシ

(註)

解 (一)實性反應(二) $PbO + 2HNO_3 = Pb(NO_3)_2 + H_2O$ 、砂、陶土、石膏、硫酸鉛等ヲ夾雜スレハ殘渣ヲ留ム(三)痕跡以上炭

酸鹽ノ試験(四)痕跡以上銅ノ試験(五)痕跡以上鐵ノ試験(六)金屬鉛、過酸化鉛、酸化鐵、砂等ノ不溶物1%以上ヲ夾雜スヘカラス

(七)此試験ニハ本品五グラムヲ取ルヘシ而シテ此試験タル炭酸及水ノ攝取ニ由リ生シタル鹽基性炭酸鉛ノ一定量ヲ宥忍スルニ

アリテ1%ノ減失量ハ約五%ノ鹽基性炭酸鉛夾雜量ニ該當ス

(應)

用) 單鉛硬膏ヲ製スルニ用フ

Pulpa Tamarindorum.

タマリンド

Tamarindus indica L.

タマリンド(一)ハ本植物ノ果肉ヲ採集セルモノナリ

本品ハ黒褐色稍粘靱性柔軟ノ塊ニシテ強キ純酸味ヲ有シ少量ノ種子、羊皮紙様ノ果房壁、脈管束、果殼ノ

碎片等ヲ夾雜ス

本品二十グラム(20 g)ニ水百九十グラム(190 g)ヲ注加シ振盪シ充分ニ浸出シ濾過シテ得タル液百グラム

ヲ蒸發乾燥スルニ少ナクモ五グラム(5 g)ノ殘留物ヲ遺ササルヘカラス(二)

(註)

解 (一)成分ハ酒石酸、重酒石酸カリウム、枸橼酸、林檎酸、砂糖等トス(二)越幾斯最少含量五十%ニ該當ス

(醫治効用)

緩下劑トシテ5.0—12.0 gヲ單味ニ又ハ他ノ瀉下劑ト配伍シテ用フ

Pulpa Tamarindorum depurata.

精製タマリンド

精製タマリンドハ「タマリンド」ニ熱湯ヲ加ヘ平等ニ軟化シ第四號ノ篩ヲ用ヒ壓ヲ加ヘテ瓷器中ニ篩過シ重湯煎上ニ蒸發シテ稠厚越幾斯ノ稠度トナシタル後其未タ冷却セサル果泥

ニ

五分(5)

白糖末

一分(1)

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ黒褐色ニシテ佳快ノ酸味ヲ有セサルヘカラス

本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ四十分ニ過クヘカラス(1)

本品ニグラム(10)ニ熱湯五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ加ヘ振盪シ冷後濾過シテ得タル液二十五立方センチメートル(25 ccm)ヲ中和スルニハ定規カリ液少ナクモ一・二立方センチメートル(1.2 ccm)ヲ費サ

サルヘカラス(11)

本品ニグラム(10)ヲ灰化シ其殘留物ヲ稀鹽酸五立方センチメートル(5 ccm)ニ温ヲ與ヘテ溶解シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(12)

(註)

解

(一)越幾斯分ノ最少含量六十%ニ該當ス(二)定規カリ液一立方センチメートルハ酒石酸〇・〇七五〇ニグラムヲ

(醫治効用)

中和シ從テ酒石酸トシテ九%ノ酸量ニ該當ス(三)鉛又ハ銅ノ試験

タマリンドニ同シ

Pulveres.

散劑

散劑ハ一種若クハ數種ノ藥物ヲ研磨シ均等ノ粉末トナシ製シタルモノナリ本劑ヲ製スルニハ通例藥物ヲ充分乾燥シ細末トナスヘシ揮發性或ハ變化シ易キ物質ヲ含有スル場合ニハ成ルヘク低温ニ於テ乾燥スヘシ

Pulvis aërophorus.

沸騰散

沸騰散ハ

重碳酸ナトリウム中末

二グラム (2g)

酒石酸中末

一・五グラム (1.5g)

ヲ取リ重碳酸ナトリウムヲ著色紙、酒石酸ヲ白紙ニ包ムヘシ

(醫治効用)

清涼性消化劑ニシテ一磅子盡ノ水ニ投シ用フ

Pulvis aromaticus.

芳香散

芳香散ハ

桂皮中末

小豆蔻中末

生薑中末

各等分

散劑

沸騰散

芳香散

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ
本品ハ灰褐色ノ粉末ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス

(醫治効用)

芳香性消化劑(一日數回〇・三—一〇)又ハ瘧味、瘧臭劑トシテ用フ

O Pulvis Doveri.

ドーフル散

ドーフル散ハ

阿片

吐根細末

硫酸カリウム細末

一分(一)
一分(二)
八分(三)

ヲ取り親密ニ混和シ製スヘシ

本品ハ淡褐色ノ粉末ニシテ強キ阿片ノ臭氣ヲ有ス

本品ハ十分中一分ノ阿片ヲ含有ス

壺中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量

一グラム(1g)

一日ノ極量

三グラム(3g)

(醫治効用)

阿片及吐根ノ兩作用ヲ有シ鎮痛、鎮靜、鎮痙、發汗劑トシテ常用シ一日數回又ハ夕ニ〇・二—一〇・五—一〇ヲ用フ

Pulvis gummosus.

ゴム散

ゴム散ハ

アラビアゴム細末

甘草細末

白糖中末

五分(5)
三分(3)
二分(2)

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

本品ハ黄白色ノ粉末ナリ

(應用)

散劑、丸劑ヲ製スルニ用フ

Pulvis infantum, Pulvis magnesia cum Rheo.

小兒散 苦土大黃散

小兒散ハ

炭酸マグネシウム細末

大黃細末

茴香油糖

十分(10)
三分(3)
七分(7)

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

本品ハ類白色ノ粉末ニシテ茴香ノ香氣ヲ有シ漸次類赤白色ニ變ス

壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用)

制酸性下劑ニシテ小兒ノ消化障害ニ一日數回〇・五—一〇ヲ用フ

複方甘草散 複方大黃散

四五二

Pulvis Liquiritiae compositus.

複方甘草散ハ

- 甘草細末 三分(3)
- センナ葉細末 三分(3)
- 茴香中末 二分(2)
- 精製硫黃 二分(2)
- 白糖中末 十分(10)

ヲ取リ善ク混和シ製スヘシ

本品ハ帶綠黄色ノ乾燥粉末ナリ

(醫治効用)

緩下劑ニシテ大人ニハ一茶匙、小兒ニハ四分一茶匙ヲ與フ又祛痰劑トシテ用フ

Pulvis Rhei compositus.
複方大黃散

複方大黃散ハ

- 大黃細末 二分(2)
- 煨製マグネシア 六分(6)
- 生薑細末 一分(1)

ヲ取リ善ク混和シ製スヘシ

本品ハ黄白色乃至帶赤白色ノ粉末ニシテ漸次類赤色ニ變ス

(醫治効用)

制酸性下劑ニシテ殊ニ小兒ニ適シ大人ニハ二〇―四〇、小兒ニハ〇・三―〇・七ヲ用フ

Pulvis salicylicus cum Talco.

サリチール滑石散

サリチール滑石散ハ

- サリチール酸細末 三分(3)
- 澱粉 十分(10)
- 滑石 八十七分(87)

ヲ取リ能ク混和シ製スヘシ

本品ハ白色若クハ微ニ類紅色ヲ帶フル粉末ナリ

(醫治効用)

足汗症及其他ノ多汗症ニ撒布劑トシテ用フ

Pulvis stomachicus.

健胃散

健胃散ハ

- 重碳酸ナトリウム末 五分(5)
- 龍膽末 二分(2)

ヲ取リ善ク混和シ製スヘシ

本品ハ淡黄褐色ノ粉末ナリ

(醫治効用)

健胃劑トス

サリチール滑石散

健胃散

四五三

Pulvis Zinci cum Amylo.
亞鉛華澱粉

亞鉛華澱粉ハ

酸化亞鉛

澱粉

各等分

ヲ取リ善ク研和シ製スヘシ

本品ハ乾燥セル白色ノ粉末ナリ

(醫治効用)

乾燥性收斂劑ニシテ糜爛、濕疹、痒疹等ニ撒布粉トシテ使用ス

Pyoktaninum coeruleum.

ヒオクタニン青

ヒオクタニン青(一)ハ藍色結晶性ノ粉末ニシテ水並酒精ニ紫色ヲ呈シテ溶解ス

本品ノ水溶液(1:1000)ニ鹽酸ヲ滴加スレハ漸次藍色、綠色ニ變移シ水ヲ加ヘテ稀釋スレハ復タ紫色トナル(二)

本品ノ水溶液(1:1000)ニ「ナトロン」滴液ヲ和スレハ赤紫色ノ沈澱ヲ生ス(三)

本品ノ水溶液(1:1000)ニ酒精製ナトロン滴液ヲ加ヘテ温ムレハ脫色ス(四)

本品ヲ酒精ニ溶解スルニ百分ニ付キ一分以上ノ不溶解物ヲ殘留スヘカラス(五)

本品一グラム(六)ヲ燃化スルニ0.0一グラム(七)以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(六)此ノ殘留物ヲ稀鹽酸ニ溶解シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(七)又アムモニア水ヲ加ヘテ「アルカリ

性トナシタルモノハ硫化アムモニウムニ由テ變化スヘカラス(八)

本品一グラム(一)ニ硝酸カリウム二グラム(二)及無水炭酸ナトリウム一・五グラム(三)ヲ混和シ燃化シテ得タル白色ノ熔塊ヲ冷後稀硫酸三十立方センチメートル(30 ccm)ニ溶解シ蒸發シテ硝酸ヲ驅除シタルモノヲ水十五立方センチメートル(15 ccm)ニ溶解シ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス(九)

注意シテ貯フヘシ

(註)

(一)鹽酸ヘンタメチールパラロザニオン $C_{10}H_7(OH)_2N_3$ HCl 及鹽酸ヘキサメチールパラロザニオン $C_{10}H_7(OH)_2N_3$ HClノ混合物ヨリ成ル(二)(三)及(四)實性反應(五)テッキストリン¹⁾ノ試驗(六)礦物性夾雜物ノ試驗(七)金屬ノ試驗(八)亞鉛ノ試驗(九)砒素ノ試驗

(醫治効用)

無害ナル防腐藥ニシテ創傷、潰瘍ニ撒布シ又ハ瘡子トナシ又結膜炎、鼻結膜炎、濕疹等ニ撒布料(0.1—1.2%)、軟膏(1—10%)又ハ溶液(0.1—0.5%)トナシ貼布ス

Pyrogallolum. Acidum pyrogallicum

ピロガロール

焦性沒食子酸

$C_6H_2O_3 = 126.08$

ピロガロール(一)ハ白色ノ光輝アル輕キ鱗屑狀或ハ鍼狀結晶ニシテ臭氣ナク苦味ヲ有シ一七分ノ水ニ溶解シテ無色透明中性ノ液ヲ生ス(二)此溶液ハ氣中ニ於テ漸次褐色ニ變シテ酸性ノ反應ヲ呈ス又本品ハ一五分ノ酒精並一五分ノ「エーテル」ニ溶解ス熱スレハ約百二十二度ニ於テ熔融シ尋テ分解セスシテ昇華ス

本品ヲ石灰水ト共ニ振盪スレハ初メ紫色ヲ呈シ尋テ混濁シ終ニ褐色乃至黑色ニ變ス又本品ノ新ニ製シタル水溶液ハ硫酸亞酸化鐵溶液ニ由テ藍色又過クロール鐵溶液ニ由テ褐色ヲ呈ス又本品ノ水溶液ニ硝酸

銀溶液ヲ和スレハ銀ヲ析出ス(三)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(四)
光ヲ遮リ貯フヘシ

(註) 解

(醫治効用)

(一) $\text{Ca}(\text{OH})_2$ 等ナル構造ヲ有ス(二) 沒食子酸ヲ夾雜スレハ酸性ヲ呈ス(三) 實性反應(四) 無機性夾雜物ノ試験
主トシテ外用ニ十―二十倍ノ軟膏トナシ皮膚病殊ニ皰癬、狼瘡、濕疹、梅毒性潰瘍等ニ塗敷ス

Radix Abelmoschi.

黃蜀葵根

Abelmoschus Manihot Medic.

黃蜀葵根(一)ハ本植物ノ主根ヲ採集シ枹層ヲ剝除シ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ一デシメートル(1 dm)ヲ超エ太サ〇・五乃至一センチメートル(0.5-1 cm)ニシテ類白色ヲ有シ
澱粉粒ニ富ミ横断面ハ類白色ヲ呈シ皮部ハ觸線列ニ排置セル纖維束ヲ有シ中心ニ細小ノ髓ヲ存ス
本品一分ニ水十分ヲ加フルニ類黄色ヲ帶フル粘漿ヲ生スヘシ其粘漿ハ味淡泊ニシテ酸性又ハ、アムモニ
ア性ノ臭氣ヲ有スヘカラス(二)

(註) 解

(醫治効用)

(一) 成分ハ、アルテア根ニ同シ(二) 變敗品ナラサル徵
アルテア根ニ同シ

Radix Althaeae.

アルテア根

Althaea officinalis L.

アルテア根(一)ハ本植物ノ枝根ヲ採集シ枹層ヲ剝除シ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ二デシメートル(2 dm)太サ一・五ミリメートル(1.5 mm)ヲ超エ類白色ヲ有シ疣贅狀ノ癩痕及細
微ノ纖維ヲ附著シ木部及皮部ハ澱粉粒ニ富ミ觸線列ニ排置セル纖維束其他糖酸鹽細胞及粘液細胞ヲ有シ
粘液ハ細胞膜ノ内面ニ層積ス

本品ノ横断面ハ淡類褐色ノ新生組織ヲ除クノ外類白色ヲ有セサルヘカラス

本品一分ニ水十分ヲ加フルニ類黄色ヲ帶フル粘漿ヲ生スヘシ其粘漿ハ味淡泊ニシテ酸性又ハ、アムモニ
ア性ノ臭氣ヲ有スヘカラス(二)

本品ノ汚白色ナルモノ竝木化セルモノハ供用スヘカラス

(註) 解

(醫治効用)

(一) 成分ハ粘液、澱粉其他少量ノ、アスパラギン等トス(二) 變敗品ナラサル徵
祛痰ノ目的ニ煎劑(5-10:100-300)、茶劑、散劑等トナシテ用フ

Radix Colombo.

コロムボ根

Tournefortia palmata Moers.

コロムボ根(一)ハ本植物ノ根ヲ採集シ横截シ乾燥セルモノナリ

本品ノ截片ハ黄色ニシテ廣サ約三乃至六センチメートル(3-6 cm)枹層ハ帶灰褐色ニシテ皺紋ヲ帶フ暗色
ナル新生組織ハ枹層ヨリ約五ミリメートル(5 mm)隔リテ存在ス

本品ノ組織ハ主トシテ澱粉粒ヲ包藏セル柔細胞ヨリ成リ其澱粉粒ハ偏心性ノ層ヲ現ハシ長サ〇・〇九ミリ
メートル(0.09 mm)ヲ超エス皮部ノ組織中ニハ木化セル厚膜細胞散在シ其厚膜細胞ノ一部ハ糖酸鹽結晶ヲ
包裹ス木部ノ横断面ニハ黄色短節性網紋脈管不整ナル半徑線列ヲナシテ排置シ其列間ニ柔組織存在ス
本品ハ味苦ク微ニ粘性ナリ

〔註 解〕

(1)成分(11.5%)「ギルマリン」 $C_{20}H_{17}NO_4 + 6H_2O$ ナル「アルカロイド」0.8%ノ「コルムピン」 $C_{21}H_{27}O_7$ ナル苦味質及コルムピ酸 $C_{21}H_{25}O_8$ ナス

〔醫治効用〕

結滑苦味劑ニシテ慢性下痢殊ニ腸結核、赤痢ニ一日一回0.5—2.0ヲ散劑トナシ又ハ浸劑、煎劑(10—15:150)トナシ用フ

Radix Gentianae.

ゲンチアナ根

Gentiana lutea L.

Gentiana pannonica Scop.

Gentiana purpurea L.

Gentiana punctata L.

ゲンチアナ根(1)ハ本諸種植物ノ根及根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
本品ハ類赤褐色乃至暗褐色ヲ有シ根莖ノ部位ハ輪節ヲ有シ根部ハ縦皺ヲ現ハス破折面ハ平坦ニシテ水ヲ以テ濡ホセハ柔靱トナル

本品ハ新生組織ノ附近ニ於テノミ略、放線狀ヲ呈シ全組織中ニハ厚膜細胞ヲ缺如ス脈管ハ通常單獨ニ存シ又ハ少數ノ群ヲナス篩管ハ皮部ノミナラス木部中ニモ存在ス柔細胞ハ極メテ細微ナル植酸鹽ノ結晶ヲ含有シ澱粉粒ハ甚タ稀ナリ柔細胞ノ皮膜ハ水ニ逢フトキハ膨脹ス

本品ハ味甚タ苦シ

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ六分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(2)

本品ハ龍膽ニ代用スルコトヲ得

〔註 解〕

(1)主成分ハ「ゲンチオピクリン」 $C_{21}H_{27}O_8$ ナル苦味質ニシテ其他ゲンチシン(ゲンチアナ酸)、糖類、脂肪油等ヲ含

有ス(2)夾雜物ノ試験

〔醫治効用〕

健胃劑ニシテ一日一回0.2—1.0ヲ散劑又ハ浸劑(10:150)トナシ用フ

ORadix Gentianae scabrae.

龍膽

Gentiana scabra Bge. var. Buengeri Maxim.

龍膽ハ本植物ノ副根ヲ根莖ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ根莖ハ長サ約一デシメートル(1dm)太サ五ミリメートル(5mm)ニ至リ暗灰褐色ニシテ不整ノ輪節ヲ有シ上端ニハ莖痕ヲ帶ヒ間、殘莖ヲ附著シ兩側及下端ニハ多數ノ副根ヲ簇生ス

本品ノ横断面ハ暗褐色ニシテ其木心中ニハ錯亂セル脈管束ヲ現ハス副根ハ帶褐黃色ニシテ約二デシメートル(2dm)太サ三ミリメートル(3mm)ニ至リ縦皺ヲ有シ横断面ハ褐色ヲ呈シ木部ハ暗色ヲ有シ其邊緣ニハ略、放線狀ニ排列セル脈管ヲ現ハス本品ハ厚膜細胞ヲ有セス又其柔細胞中ニハ多數ノ植酸鹽結晶ヲ包藏シ澱粉粒ヲ含有セス

本品ハ味甚タ苦シ

本品ハ「ゲンチアナ根」ニ代用スルコトヲ得

〔醫治効用〕

成分及効用ゲンチアナ根ニ同シ

ORadix Ipecacuanhae.

吐根

Tiaraoga Ipecacuanha Baill.

吐根(1)ハ本植物ノ肥厚ナル根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

龍膽 吐根

本品ハ太サ五ミリメートル(5 mm)ニ過キス外面ハ暗灰褐色ニシテ膨起セル輪節ヲ有ス皮部ノ横断面ハ類白色ヲ呈シ褐色ノ胞層ヲ被リ其組織ハ篩脈管ノ外柔細胞ノミヨリ成リ其細胞中ニハ多クハ複性澱粉粒ト束状ノ核酸鹽結晶トヲ含有ス

本品ノ木部ハ其質堅ク淡黄色ヲ有シ主軸ノ方向ニ延長セル厚壁性ノ木化補充纖維ト脈管及擬脈管トヨリ成リ其補充纖維ハ斜ニ排置セル裂孔形ノ胞孔ヲ有シ澱粉粒ヲ包藏ス脈管ハ補充纖維ニ類スレトモ暈輪狀ノ胞孔ヲ有シ多クハ兩端ノ邊緣ニ存スル圓孔ニ由テ互ニ聯結ス

本品中ニ含有スル最大ノ澱粉粒ハ其直徑〇・〇一ニミリメートル(0.012 mm)ヲ超ユヘカラス

本品ノ木心ヲ除去シ百度ニ乾燥シタル細末六グラム(6 g)ニ「エーテル」百二十立方センチメートル(120 cc)ヲ加ヘ十分時間度、振盪シ次ニ「アムモニア」水五立方センチメートル(5 cc)ヲ和シ屢、強ク振盪シツツ一時間放置シタル後澄明ノ「エーテル」液ヲ精製綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液百立方センチメートル(100 cc)ニ「エーテル」ヲ去リ残渣ニ五立方センチメートル(5 cc)ノ純アルコールヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ水十立方センチメートル(10 cc)「エーテル」三十立方センチメートル(30 cc)及三滴ノ「エーテル」溶液ヲ和シ輕ク搖動シツツ十分定規鹽酸ヲ滴加シ赤褐色ノ混液ヲ生スルニ至リ更ニ水三十立方センチメートル(30 cc)ヲ加ヘ屢、強ク振盪シツツ復タ十分定規鹽酸ヲ滴加シテ下層ノ水液黄色ヲ呈スルニハ少ナクモ其四ニ立方センチメートル(4 cc)ヲ費ササルヘカラス(III)

本品ハ木心ヲ除去シ用フヘシ
注意シテ貯フヘシ

(註)

解 (I)成分ハ「ヘメチン」Emetin $C_{21}H_{29}O_4$ 及「ナフマン」Cephaelin $C_{21}H_{29}NO_4$ ナル「アルカロイド」トス (II)本品五グラムニ相當ス(III)十分定規鹽酸一立方センチメートルハ吐根アルカロイド〇・〇二二六七グラムニ對應シ「アルカロイド」ノ最少含量約一%トス $5:0.099414=0.02367 \times 4.2=100:2.288$

(醫治効用)

催吐劑トシテ〇・二—一・〇ヲ散劑、液劑等トナシ毎十乃至十五分時ニ與ヘ嘔吐ヲ催スニ至ラシム祛痰劑トシテ氣管枝加答兒ニ一日數回〇・〇一—〇・〇五ヲ散劑トナシ又ハ液劑(0.5-1.0:100.0)小兒ニハ0.2-0.3:100.0トナシ用フ又赤痢ニ四・〇又ハ其以上ヲ液劑トナシ三四日持續服用セシメ阿片ヲ配伍シテ嘔吐ヲ防カシム

Oradix Iquiritiae.

甘草

Glycyrrhiza glabra L. var. glandulifera Regel et Herd.

甘草(一)ハ本植物ノ袍皮ヲ剝離シ乾燥セル根及走根ナリ

本品ハ帶黄色圓塊狀ヲナシ表面纖維性ヲ呈シ縦割シ易シ

本品ノ横断面ハ木部ニ於テ直線性放線狀ヲ呈シ皮部ニ於テハ各放射線ハ稍、屈曲セリ内皮部竝木部中ニ存在スル多數ノ纖維束ハ結晶房纖維ニ包圍セラレ篩管ハ概ネ壞敗シ脈管ハ巨大ニシテ黄色ヲ呈シ「ル」ベ」ヲ以テ容易ニ之ヲ認ムルコトヲ得柔組織ノ細胞ハ澱粉粒ヲ包藏ス
本品ハ特異ノ甘味ヲ有ス

(註)

解 (一)主成分ハ「グリチルリチン」グリチルリチン酸 $C_{21}H_{33}NO_9$ ノ酸性アムモニウム鹽トス
(醫治効用) 緩和ナル祛痰劑トシ又ハ賦形、矯味劑トス

Radix Polygalae.

遠志

Polygala tenuifolia Willd.

遠志ハ本植物ノ根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ淡灰褐色ノ圓塊狀ヲナシ屈曲シ頂部ニ於テ往々分岐シ副根ノ癢痕ヲ存シ太サ五ミリメートル(5

本品ハ至リ皮部ハ深キ横皺ヲ現ハシ多少結節狀ニ絞扼ス

本品ノ木部ヲ除去シタルモノハ管狀又ハ槌狀ヲナス

本品ノ横断面ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ胞層ハ善ク發育シ皮部ノ細胞ハ殆ト全ク柔細胞ヨリ成リ澱粉粒ヲ含

有セスシテ往々油滴並ニ脂肪酸鹽ノ簇品及單品ヲ含有ス木部ノ髓線ハ一乃至三細胞列ヨリ成リ往々壞裂セル

モノアリ

本品ハ臭氣ナク味苛烈ナリ

本品ハ殘莖ヲ附著スルモ僅少ニ過クヘカラス

(醫治効用) セネガ根ノ條ヲ參照スヘシ

Radix Sarsaparillae.

サルサ根

Smilax 屬ノ諸種

サルサ根(一)ハ中央アメリカニ産スル本屬諸種植物ノ根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ帶褐灰色ニシテ圓塊形ヲナシ太サ四ミリメートル(4mm)間、僅ニ縱溝ヲ有ス横断面ハ褐色ノ内鞘

ヲ現ハシ白色ノ皮部柔組織之ヲ圍繞ス

本品ノ柔組織中ニハ糊化セル澱粉ヲ包藏スヘカラス

本品ハ味粘滑ニシテ後苦辣ナリ

(註) 解 (一)成分ハ「バリルリン」ナル「グリコシド、澱粉、樹脂等」トス

(醫治効用) 一日1.0-5.0gヲ煎劑又ハ茶劑トナシ梅毒又ハ皮膚及腺病ニ用フルコトアリ

Radix Senegae.

セネガ根

Polygala Senega L.

セネガ根(一)ハ本植物ノ根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ帶灰黄色ヲ有シ其根頭ハ屢、塊狀ニ膨脹シ多數ノ殘莖及類赤色ノ苞ヲ帶フル萌芽ヲ附著ス主根ハ

太サ一・五センチメートル(1.5cm)ヲ超エス分岐シ振轉ス又其扁平ナル側面ニハ屢、隆起セル稜線ヲ有ス

本品ヲ横斷シテ檢視スルニ木部圓形ヲ呈シ又屢、中心ニ向テ扇形ニ缺裂シ柔組織ヨリ成ル部分アリ篩管

ハ常ニ正常ニ發育セル木部ノ外邊ニノミ存ス

本品ハ髓ヲ有セス又尿酸鹽結晶並澱粉粒ヲ含マス皮部ノ細胞中ニハ油滴ヲ含有ス

本品ハ味粘滑ニシテ後苦辣臭氣特異ニシテ微弱ナリ

(註) 解 (一)成分ハ「セネギン」及「ポリガラ酸」ナル二種ノ「グリコシド、脂肪油」トス

(醫治効用) 咳嗽刺激性痰劑ニシテ氣管枝加管兒、肺炎(殊ニ略痰集積時)ニ一日數回0.5-2.0gヲ散劑トナシ又ハ煎劑

浸劑(5-15:150)トナシ用フ但シ胃腸加管兒及肺癆患者ニ用フヘカラス

Radix Taraxaci cum Herba.

蒲公英

Taraxacum officinale Wigg. 及其變種

蒲公英ハ本諸種植物ノ全草ヲ春季開花前ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ葉ハ基立性ニシテ大鋸齒狀ニ缺裂シ根ハ長サ一乃至二デシメートル(1-2m)太サ0.5乃至二・五センチメートル(0.5-2.5cm)ヲシテ褐色ヲ有シ縱溝ヲ帶フ其横截面ハ放線狀ナラサル黄色ノ木心ヲ現ハス皮

部ハ厚クシテ同心性ニ竝列セル多數ノ乳脈管ヲ有ス

(註) 解

(醫治効用)

(一)成分ハ、イメリン、其他糖類、タラクサチン(苦味質)等トス
健胃緩下劑ニシテ煎劑(5:10:150)トナシ用フ

Resina Guajaci.

瘡瘡木脂

Guajacum officinale L.

Guajacum sanctum L.

瘡瘡木脂(一)ハ本兩種植物ヨリ得タル樹脂ナリ

本品ハ帶綠褐色或ハ帶赤褐色ノ塊ヲナシ破砕面ハ硝子様ニシテ小碎片ハ透映ナリ其粉末ハ氣中ニ於テ暗
綠色ニ變ス熱スレハ熔融シテ微ニ安息香ニ類スル香氣ヲ放ツ

本品ハ酒精竝カリ油液ニ溶解シテ僅微ノ夾雜物ヲ遺スニ過クヘカラス(二)又其酒精溶液ニ過クロール鐵
溶液ヲ加フレハ藍色ヲ呈セサルヘカラス(三)

本品ノ粉末ニグラム(0.5)ニ石油ベンチン十五立方センチメートル(15 cm)ヲ和シ屢、強ク振盪シツツ三十
分時間放置シ濾過シテ得タル無色ノ液十立方センチメートル(10 cm)ニ同容量ノ醋酸銅溶液ヲ加ヘ輕ク
搖動スルニ其上層液綠色ヲ呈スヘカラス(四)

(註) 解

(一)成分ハ、ゲアヤクハルツ酸 $C_{18}H_{30}O_4$ 、ゲアヤコン酸 $C_{24}H_{40}O_6$ 、ゲアヤチン酸 $C_{28}H_{46}O_8$ 、ゲアヤコール等トス(11)

(醫治効用)

木屑ノ如キモノノ試験(III)正品ノ特性(IV)コロフォニウム^レノ試験
頑固梅毒、痛風、痲瘋質新、頑固發疹等ニ一日數回〇・三—一・〇ヲ散劑、丸劑等トナシ用フルコトアリ

O Resina Jalapae.

ヤラッパ脂

ヤラッパ脂(一)ハ

ヤラッパ根粗末

ヲ取り之ニ

一分(一)

酒精

四分(二)

ヲ注キ屢、振盪シツツ二十四時間温浸シ壓漉シ其殘滓ニ

二分(三)

ヲ加ヘ上法ノ如ク温浸壓漉シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸餾シテ酒精ヲ去リ殘留セル樹脂ヲ温湯ニテ反覆洗滌
シ其洗液ノ無色トナルヲ度トシ重湯煎上ニ攪拌シツツ乾燥シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ塊ニシテ破砕シ易ク其破砕面ハ光澤ヲ帶ヒ邊緣ハ透映ナリ酒精ニ容易ニ溶解シ硫化炭素ニ
溶解セス

本品一分ヲ硝子壺中ニ取り之ニ「アムモニア」水十分ヲ加ヘ密栓シ温浸スルニ殆ト全ク溶解シ之ヲ蒸發シ
テ得タル殘渣ヲ水ニ溶解スルニ僅ニ不溶性樹脂ヲ遺スニ過キス又前ノ「アムモニア」性溶液ニ醋酸ヲ加ヘ
テ過飽スルニ微ニ濁濁ヲ起スニ過クヘカラス(二)

本品ノ粉末一グラム(1)ニ「コロフォールム」十グラム(10)ヲ加ヘテ温浸シ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スル
ニ〇・二グラム(0.2)以上ノ殘留物ヲ遺スヘカラス(三)

本品一分ヲ水十分ト共ニ研和シ濾過シテ得タル液ハ殆ト無色ナラサルヘカラス(四)
注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・五グラム(0.5g)

ヤラッパ脂

一日ノ極量 一五グラム(1.5g)

(註)

解 (一)主トシテ「コンゾオルグリン」 $C_{15}H_{26}O_6$ ヨリ成ル (二)強濁スレハ「ナラフ」ニ至ル。瘧疾木脂、コロフォニウムノ如キ他ノ樹脂ヲ夾雜スル微(三)十%ノ溶解成分量ニ該當シ之ヨリ以上ナルトキハ「セルラツ」、コロフォニウムノ如キ他ノ樹脂ヲ夾雜スル微(四)無色ナラサルトキハ水ニ可溶性ノ著色物質ヲ以テ製造シ又ハ製造ノ際洗滌不充分ナルノ微

(醫治効用)

峻下劑トシテ0.01—0.02—0.05ヲ丸劑、散劑トナシ用フ

Resina Pini.

松脂

Pinus 屬ノ諸種

松脂(一)ハ本屬諸種植物ノ幹ヨリ滲出セル「テレピンチーナ」ノ乾燥ニ由テ生シタル樹脂ナリ

本品ハ黄色或ハ帶褐黄色ノ塊ヲナシ微ニ「テレピンチーナ」ニ類スル香氣ヲ有シ多少透映ニシテ破碎ニ易ク破碎面ハ貝殻狀ヲ呈シ重湯煎上ニ熱スレハ熔融シ酒精並アルカリ鹼液ニ溶解ス

本品ヲ酒精ニ溶解スルニ僅ニ不溶性夾雜物ヲ遺スニ過クヘカラス(二)

(註) 解 (一)成分ハ「ピニン酸」・「ビニール酸」・「アビチン酸」其他揮發油トス(二)木屑ノ如キモノ、試験(應) 用

主トシテ刺激性硬膏又ハ軟膏ヲ製スルニ用フ

Resina Podophylli.

ポドフィルム脂

Podophyllum peltatum L.

ポドフィルム脂(一)ハ本植物ノ根ヨリ得タル樹脂ナリ

本品ハ黄色或ハ帶緑褐色ノ粉末若クハ類黄色或ハ帶褐灰色ノ塊ヲナシ味微ニ苦ク百度ニ熱スレハ暗色ヲ

呈シ熔融セス水ニ殆ト溶解セス「エーテル」ニ著シク溶解ス

本品ニ水ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ殆ト無色ニシテ(二)中性ノ反應ヲ微シ此液ニ過クロール鐵溶液ヲ和スレハ淡褐色ヲ呈シ又次醋酸鉛溶液ヲ和スレハ黄色ヲ呈シテ微ニ濁濁シ二三時間ヲ經レハ赤黄色絮狀ノ沈澱ヲ析出ス(三)

本品一分ハ十分ノ酒精並百分ノ「アムモニア」水ニ溶解ス其酒精溶液ニ水ヲ加フレハ褐色ノ沈澱ヲ生シ其アムモニア性溶液ニ酸類ヲ加ヘテ中和スルモ亦然リ(四)

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ一分以上ノ固性物ヲ殘留ス、ヘカラス(五) 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・一グラム(0.1g)

一日ノ極量 〇・ニグラム(0.2g)

(註)

解 (一)有效成分ハ「ポドフィルムロトキシニン」 $C_{15}H_{14}O_6$ ナルモノナリト云フ(二)黄色又ハ類褐色ヲ呈スレハ製造ノ際洗滌不充分ナル微(三)及(四)正品ノ特性(五)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用)

瀉下劑ニシテ頑固便秘、黃疸、胆石痛等ニ0.01—0.05ヲ散劑、丸劑等トナシ用フ但シ腹痛ヲ避ケル爲少量ノ「ヒヨス」・「越幾斯」ヲ配伍スヘシ

Resorcinum.

レゾルチン

$C_{12}H_{10}O_2 = 110.08$

レゾルチン(一)ハ無色或ハ微ニ紅色ヲ帶フル結晶ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ苛辣性ニシテ微ニ甘シ百十乃至百十一度ニ於テ熔融ス約一分ノ水、約一分ノ酒精ニ溶解シ又エーテル並グリセリン」ニ容易ニ溶解

ポドフィルム脂 レゾルチン

シ「クロロフォルム並硫化炭素ニ溶解シ難シ

本品ノ水溶液ハ次醋酸鉛溶液ニ由テ白堊ヲ生ス(二)

本品〇〇五グラム(0.5g)ヲ酒石酸〇・一グラム(0.1g)及硫酸十滴ト共ニ注意シテ温ムレハ暗猩紅色ノ液ヲ生ス(三)

本品ノ水溶液(1:20)ハ無色ニシテ藍色試験紙ヲ微ニ赤變スルニ過キス又温ムルモ石炭酸ノ臭氣ヲ發スヘカラス(四)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(五)
光ヲ遮リ貯フヘシ

(註) 解 (一) $C_{12}H_{15}O_5N$ ナル構造ヲ有ス (II) 質性反應ニシテ「アレンツカテセン」トノ區別(「アレンツカテセン」ハ中性醋酐

鉛液ニヨリテ沈澱ス $C_{12}H_{15}O_5N + 2Pb(C_2H_3O_2)_2 + Pb(OH)_2 = C_6H_5 \cdot O > Pb + 2Pb(C_2H_3O_2)_2 + 2H_2O$ (III) 質性反應(四) 溶液著色

スレハ焦性物質ヲ混有シ精製不充分ナル微、強酸性ヲ呈スルモノハ鹽酸又ハ「フエノール」樣物質ヲ夾雜スル微又温ムルニ石炭酸

臭ヲ發スレハ遊離「フエノール」ヲ夾雜スル微(五) 無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用) 防腐劑、制菌劑ニシテ腐敗性下痢、胃異常酸酵、頑固嘔吐、急性慢性腸胃加害兒等ニ一日數回〇・二—一〇チ、オ

「ブライト」ニ包ミ又ハ溶液トナシ用フ外用ニハ軟膏(一—二)ヲ種々ノ皮膚病(例之ハ瘡癤、濕疹、糠疹)ニ又一—二%溶液ヲ尿道、膀胱等ノ洗滌ニ用フ

Rhizoma Coptidis.

黄連

Coptis 屬ノ諸種

黄連(一)ハ本邦ニ産スル本屬諸種植物ノ根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ太サ約一乃至五ミリメートル(1—5mm)長サ四センチメートル(4cm)ニ至リ多クハ彎曲シ細小ナル

多數ノ副根ヲ著ケ處々ニ疣贅狀ノ隆起アリ上端ニハ屢、葉柄ノ殘餘ヲ帶フ外面ハ帶黃灰色ヲ有シ破折面ハ尖銳粗糙ニシテ横断面ニハ厚キ暗橙黃色ノ皮部ト淡黃色ノ木部トヲ現ハス木部ハ中ニ著大ノ髓心ヲ有シ或ハ髓心空洞ナルモノアリ
本品ハ臭氣ナク味極メテ苦シ

(註) 解 (一) 主成分ハ「ベルメリン」ナル「アルカロイド」トス
(醫治効用) コロムホ根ト同シ目的ニ其約三分一量ヲ用フ

Rhizoma Filicis.

綿馬根

Dryopteris Filix mas Schott.

Dryopteris crassirhizoma Yendo.

綿馬根(一)ハ秋季ニ於テ本植物ノ根莖ヲ長サ約三センチメートル(3cm)ノ葉基ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ成ルヘク根及鱗葉ヲ除去シ其皮ヲ剝離スヘカラス葉基ハ褐色ニシテ稜アリ太サ約一センチメートル(1cm)ニ至ル横断面ハ類綠色ニシテ六乃至十箇ノ脈管束ヲ現ハス

本品ハ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味微ニ甘ク少シク收斂性ニシテ稍、苛辣ナリ
注意シテ貯フヘシ

(註) 解 (一) 主成分ハ「フイリツクス酸」 $C_{12}H_{16}O_8$ ニシテ其他鞣酸、揮發油、脂肪油、樹脂等ヲ含有ス
(醫治効用) 蟻蟲驅除劑ニシテ二〇—二〇〇チ丸劑、紙劑、膠囊劑等トナシ朝三—四回ニ内服セシメ二時間ノ後下劑ヲ與フ

Rhizoma Hydrastis.
ヒドラスチス根

Hydrastis canadensis L.

ヒドラスチス根(一)ハ本植物ノ根莖ヲ根ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ
本品ハ暗褐色ニシテ太サ五乃至八ミリメートル(5-8 mm)長サ五センチメートル(5 cm)ニ至リ横折面ハ
帯緑黄色ヲ呈ス根莖ノ周圍ニハ太サ一ミリメートル(1 mm)ニ過キサル根ヲ帶フ根ノ横断面ハ黄色ヲ有ス
本品ヲ顯微鏡下ニ檢スレハ根莖ノ横断面ハ菲薄ナル胞層ヲ被リ主トシテ柔組織ヨリ成リ其細胞中ニハ太
サ0.003乃至0.011ミリメートル(0.003-0.02 mm)ノ澱粉粒ヲ包藏ス髓ハ巨大ニシテ其周圍ニ十乃至二
十箇多クハ十四箇ノ脈管束ヲ認ム

本品一分ニ水百分ヲ加ヘ冷浸シテ得タル液ハ黄色ニシテ苦味ヲ有シ其浸液ノ二立方センチメートル
(2 cc)ヲ硫酸一立方センチメートル(1 cc)中ニ注加シ冷後之ニクロール水ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接
界ニ於テ暗赤色ヲ呈ス(II)

本品ハ香氣微弱ニシテ味苦シ

本品ノ百度ニ於テ乾燥シタル細末六グラム(6 g)ニエーテル百二十立方センチメートル(120 cc)ヲ注加シ
十分時間屢振盪シ次ニ「アムモニア水五立方センチメートル(5 cc)ヲ和シ屢強ク振盪シツツ三十分時間
放置シ更ニ水十立方センチメートル(10 cc)ヲ加ヘ強ク振盪シ靜置シタル後澄明ノ「エーテル液ヲ精製綿
ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液百立方センチメートル(100 cc)ヲ蒸餾シテ約半容量トナシ冷後分液漏斗
ニ取り逐次三回稀鹽酸一分及水十九分ノ混液各二十立方センチメートル(20 cc)ヲ加ヘテ振盪シ酸液ヲ
合併シ濾過シ少量ノ水ヲ以テ濾紙ヲ洗滌シ濾液ニ「アムモニア水ヲ加ヘテ強アルカリ性トナシ初メ四十
立方センチメートル(40 cc)次ニ二十立方センチメートル(20 cc)最後ニ一回各十立方センチメートル

(10 cc)ノ「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ「エーテル液ヲ豫メ乾燥シ秤量セル硝子壺中ニ精製綿ヲ用ヒテ濾入
シ逐次三回各五立方センチメートル(5 cc)ノ「エーテル」ヲ以テ濾器ヲ洗滌シ「エーテル液ヲ蒸餾シ殘留物
ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量少ナクモ0.1グラム(0.1 g)ナラサルヘカラス(四)

(註)

解 (I)主成分ハ「ヒドラスチン」 $C_{17}H_{15}NO_6$ 及「ベルベリン」 $C_{15}H_{13}NO_4$ トス(II)質性反應(III)本品五グラム「ニ相當ス(四)

(醫治効用)

止血劑ニシテ主ニ子宮出血ニ用フ

Rhizoma Iridis.

イリス根

Iris germanica L.

Iris pallida Lam.

Iris florentina L.

イリス根(一)ハ本諸種植物ノ根莖ヲ採集シ其胞層ヲ除去シ乾燥セルモノナリ

本品ハ白色ニシテ太サ四センチメートル(4 cm)ニ至リ上面ハ稍扁平ニシテ葉ノ脈管束ニ基因スル横列細
微ナル斑點ヲ現ハシ下面ニハ類褐色ノ根癭ヲ存ス

本品ノ組織ハ澱粉粒ニ富ミ胞化セル尿酸鹽細胞ヲ有シ其細胞ハ單一ノ稜柱狀結晶ヲ包藏シ其結晶ハ長サ
0.25ミリメートル(0.25 mm)ニ至リ粘液ヨリ圍繞セラル本品ハ厚膜細胞ヲ缺如ス

本品ハ特異ノ香氣ヲ有シ味微ニ芳香性ニシテ少シク苛辣ナリ

(註)

解 (I)主成分ハ揮發油(0.1-0.2%)トス

(醫治効用)

矯味、矯臭劑トシテ丸劑、齒粉、撒布粉ニ添加ス

Rhizoma Rhei

Rheum tanguticum Yschark.

大黃

大黃(一)ハ本植物ノ根莖ヲ採集シ殆ト皮部ヲ去リ往々縱割シ乾燥セルモノナリ
 本品ハ種々ノ形狀ヲ有スル類黃色ノ塊片ニシテ往々孔穴ヲ有ス其質緻密ニシテ重ク破折面ハ顆粒ヲナシ
 白色ノ實質中ニ黃褐色ノ斑點或ハ線條ヲ交錯シ大理石様ノ紋理ヲ呈ス
 本品ノ横断面ハ新生組織ノ附近ニ於テノミ放線狀ヲ呈シ其内側ヨリ髓部ニ至ル迄多數ノ星狀ヲナセル褐色
 ノ放線圈ヲ現ハス放線圈ハ一箇ノ開放脈管束ニシテ圈輪狀ノ新生組織ヲ有シ内部ニ篩部ヲ、外部ニ脈
 管ヲ有ス本品ノ組織ヲ構成スルモノハ主トシテ柔細胞ニシテ澱粉粒、糖酸鹽簇品及黃色ノ物質ヲ包藏ス
 本品ノ粉末ハ深橙黃色ヲ有シ澱粉粒、柔細胞及網紋脈管ノ破片、糖酸鹽ノ巨大ナル簇品及其破片ノ外厚膜
 性組織ヲ夾雜スヘカラス澱粉粒ハ圓形ニシテ太サ〇・〇〇三乃至〇・〇一八ミリメートル(0.003-0.018 mm)又
 往々〇・〇三ミリメートル(0.03 mm)ニ至リ糖酸鹽簇品ハ太サ〇・一ミリメートル(0.1 mm)ヲ超ヘ
 本品ハナトロン滴液ニ由テ深赤黃色ヲ呈ス(三)
 本品ハ特異ノ香氣ヲ有シ之ヲ嚼メハ砂鳴ヲ發シ弱苦味ヲ有ス(四)
 本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ十三分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(四)

(註) 解

機性夾雜物ノ試験

(醫治効用)

散劑、丸劑、浸劑等トナシ苦味健胃劑トシテ一日數回〇・〇二一〇・五ヲ腸加答兒、消化不良慢性下痢等ニ又緩下劑
トシテ〇・五一二・〇ヲ便秘ニ用フ

Rhizoma Scopoliae

莨菪根

Scopolia japonica Maxim.

莨菪根(一)ハ本植物ノ根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
 本品ハ外面帶灰褐色ヲ有シ著シク皺縮シ長サ約一・五デシメートル(1.5 dm)太サ三センチメートル(3 cm)
 ニ至リ多少彎曲シ處々絞扼セラレテ輪狀ニ分節シ末端ニハ往々殘莖ヲ存シ各節ノ上面ニハ莖痕ヲ帶ヒ兩
 側及下面ニハ剪除セル副根ノ殘基アリ破折面ハ顆粒狀ニシテ横断面ハ類白色或ハ灰褐色ヲ呈シ間、鬆疎
 ニシテ海綿様ヲナシ皮部ハ其色稍、淡明ニシテ外邊ニ於テハ略、半經線ノ方向ニ排列セル脈管著大ノ髓心
 ヲ圍繞ス

本品ハ臭氣不快ニシテ味微ニ苦ク少シク苛辣ナリ

本品ノ百度ニ於テ乾燥シタル細末十二グラム(12 g)ニ「エーテル」百二十立方センチメートル(120 cm)ヲ加
 ヘ十分時間屢、振盪シ次ニ「アムモニア」水五立方センチメートル(5 cm)ヲ和シ屢、強ク振盪シツツ二十分
 間放置シ更ニ十立方センチメートル(10 cm)若クハ尙多量ノ水ヲ加ヘ強ク振盪シ靜置シタル後澄明ノ「エ
 ーテル」液ヲ精製綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液八立方センチメートル(80 cm)ヲ蒸餾シテ「エーテル」ヲ
 去リ殘渣ニ五立方センチメートル(5 cm)ノ純アルコホル」ヲ加ヘ微溫ヲ與ヘテ溶解セシメ水十立方セン
 チメートル(10 cm)「エーテル」三十立方センチメートル(30 cm)及「三滴ノ」ハマトキシラン」溶液ヲ和シ輕ク
 搖動シツツ百分定規鹽酸ヲ滴加シ赤褐色ノ混液ヲ生スルニ至リ更ニ水二十立方センチメートル(20 cm)
 ヲ加ヘ屢、強ク振盪シツツ復タ百分定規鹽酸ヲ滴加シテ下層ノ水液黃色ヲ呈スルニハ少ナクモ其九七立
 方センチメートル(97 cm)ヲ費サケルヘカラス(三)
 注意シテ貯フヘシ

(註 解) (一)成分ハ、ヒオスチアミン、アトロピン其他ヒオスチン、スコポレチントス(二)本品八グラムニ相當ス(三)百分定規鹽酸一立方センチメートルハ、ヒオスチアミン〇・〇〇二八九グラムニ對應シ「アルカロイド」ノ最少含量〇・三五%ニ該當ス
(醫治効用) 喘息、痰咳、胃痛、神經痛等ニ一日數回〇・〇二—〇・〇五ヲ散劑、丸劑又ハ浸劑トナシ用フ

Rhizoma Valerianae.
 纈草根

Valeriana officinalis L. var. *latifolia* Mq.

纈草根(一)ハ本植物ノ根莖ヲ根ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ
 本品ハ灰褐色ヲ有シ根莖ハ長サ約一・五センチメートル(1.5cm)太サ一センチメートル(1cm)ニ至リ上端ニハ萌芽或ハ殘莖ヲ存シ側面ニハ走根ノ分枝或ハ其殘基及多數ノ根ヲ帶フ根ハ太サ三ミリメートル(3mm)長サ二デシメートル(2dm)ニ至ル

根莖ノ断面ハ角質ヲ呈シ淡明ナル石核細胞簇ヨリ成ル班點ヲ有シ髓部ニ空洞ヲ有スルコトアリ走根ノ横断面ハ新生組織及之ニ近接セル暗色ノ線ニ由テ皮部及木部ノ顯著ナル境界ヲ現ハシ此線ニ沿ウテ數箇ノ脈管束散在ス髓ニハ特異ノ石核細胞簇アリ根ノ横断面ハ暗褐色ニシテ木部ハ皮部ニ比シ甚タ狭シ之ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ上皮細胞ハ往々延長シテ根毛トナリ下上皮細胞ハ揮發油ヲ含有ス木部ハ一層ノ内本鞘ニ由テ皮部ト分タレ皮部ノ柔細胞ハ直徑〇・〇二ミリメートル(0.02mm)ニ至ル澱粉粒ヲ充滿ス
 本品ハ氣味特異芳香性ニシテ微ニ苦シ

(註 解) (一)主成分ハ揮發油(纈草酸ヲ含ム)トス
(醫治効用) 内服ニハ鎮靜劑トシテ歇斯の里、癲癇、舞蹈病、神經衰弱性不安症等ニ一日數回〇・五—一・〇ヲ散劑、丸劑又ハ浸劑(〇.15:150)トナシ用ヒ外用ニハ浸劑ヲ洗腸劑トス

Rhizoma Zedoariae.

莪朮

Curcuma Zedoaria Rose.

莪朮(一)ハ本植物ノ球根狀ノ根莖ヲ採集シ多クハ横徑ニ或ハ縱徑ニ切斷シ乾燥セルモノナリ
 本品ハ直徑二・五乃至四センチメートル(2.5—4cm)ナリ外面ハ灰色ニシテ多數ノ根痕ヲ著ケ切斷面ハ灰色ニシテ厚サ約二乃至五ミリメートル(2—5mm)ノ皮ヲ帶ヒ圓板形ヲナセルモノハ概シテ陷窩セル脈管束筒ヲ現ハス

本品ノ柔組織中ニハ巨大扁平ニシテ偏心性ノ層紋ヲ呈スル澱粉粒ヲ包藏ス
 本品ハ氣味樟腦様ニシテ苦味ヲ帶フ

(註 解) (一)成分ハ水分、含窒素物、揮發油、脂肪、糖分、澱粉トス
(醫治効用) 健胃劑トシ又ハ瘡臭劑トシテ用フ

Rhizoma Zingiberis.

生薑

Zingiber officinale Rose.

生薑(一)ハ本植物ノ根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
 本品ハ扁平ニシテ不規則ニ分岐シ灰色ノ袍層ヲ被リ又間、一部ノ袍層ヲ剝除セルモノアリ破折面ハ類白色或ハ淡灰白色ニシテ顆粒狀ヲ呈シ澱粉粒ニ富ミ脈管束ヲ出タシ中央圓塊ハ甚タ太クシテ厚サ一ミリメートル(1mm)ニ過キササル皮部ヨリ圍繞セラレ分泌物貯藏器ハ全組織中ニ平等ニ散在ス
 本品ハ氣味特異芳香性ニシテ苛烈灼クカ如シ

(註) 解

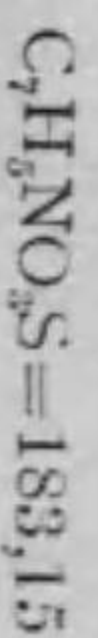
(一)成分ハ二—三%ノ揮發油トス

(醫治効用)

芳香劑ニシテ且唾液分泌及食慾ヲ増進セシムル効アリ一日數回〇・二—一・〇ヲ散劑、丸劑トナシ用フ

Saccharinum.

サツカリン



サツカリン(一)ハ白色無臭結晶性ノ粉末ニシテ味極メテ甘ク其一萬倍水溶液モ尙甘味ヲ有ス約四百分ノ水三十分ノ熱湯ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徵ス又三十二分ノ酒精ニ溶解シ「エーテル」ニ溶解シ難ク「ナトロン」液並炭酸ナトリウム溶液ニ容易ニ溶解ス熔融點二百十九乃至二百二十四度ナリ

本品ヲ苛性カリト共ニ注意シテ熔融シ其水溶液ニ鹽酸ヲ加ヘテ弱酸性トナシタル後稀過クロール鐵溶液ヲ滴加スレハ紫色ヲ呈ス(一)

本品ハ硫酸ニ由テ染色セス之ヲ重湯煎上ニ溫ムルモ微ニ黃色ヲ呈スルニ過クヘカラス(三)・

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・五分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(四)

(註) 解

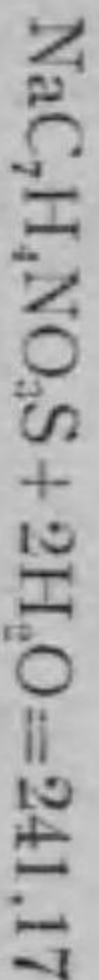
(一)眞性安息香酸スルフィニード $C_6H_5 \cdot CO_2 \cdot NH_2$ ニシテ眞性スルファミン安息香酸 $C_6H_5 \cdot CO_2 \cdot NH_2$ ノ無水物ナリ(二)眞性反應(三)砂糖類ノ試驗(四)無機性夾雜物ノ試驗

(醫治効用)

糖尿病患者ニ砂糖ニ代用シテ一盞ノ茶、カッフェー等ニ〇・〇三—〇・〇五ヲ用ヒ其他矯味劑トス

Saccharinum soluble.

溶性サツカリン



溶性サツカリン(一)ハ白色結晶性ノ粉末或ハ無色透映ノ結晶ニシテ氣中ニ於テ微ニ風化ス味極メテ甘ク其

一萬倍ノ水溶液モ尙甘味ヲ有シ水並稀酒精ニ容易ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵ス

本品ヲ苛性カリト共ニ注意シテ熔融シ其水溶液ニ鹽酸ヲ加ヘテ弱酸性トナシタル後稀過クロール鐵溶液ヲ滴加スレハ紫色ヲ呈ス又本品ヲ燒灼シテ得タル殘留物ヲ無色ノ火焰中ニ熱スレハ之ヲ黃色ニ染ム(二)

本品〇・五グラム(0.5g)ヲ水二十五立方センチメートル(25 ccm)ニ溶解シ稀鹽酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ二三時間放置シテ析出シタルモノヲ濾紙上ニ集メ水ヲ以テ洗滌シ百度ニ乾燥シタルモノハ二

百十九乃至二百二十四度ニ於テ熔融セサルヘカラス(三)

本品ノ水溶液(一)〇ハ赤色試驗紙ヲ藍變スルコトアルモ微弱ニ過クヘカラス(四)又之ニ硝酸ヲ和シテ生シタル沈澱ヲ濾過シテ得タル液ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス(五)硝酸銀溶液ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ

起スニ過クヘカラス(六)

本品〇・一グラム(0.1g)ヲ硫酸五立方センチメートル(5 ccm)ニ和シ重湯煎上ニ溫ムルニ微ニ褐色ヲ呈スルニ過クヘカラス(七)

本品〇・五グラム(0.5g)ヲ燒灼スルニ〇・一四乃至〇・一七グラム(0.14—0.17g)ノ殘留物ヲ遺シテ燃化スヘシ(八)

塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註) 解

(一) $K_2H_2O_8 \cdot 2H_2O$ 、 $Na_2H_2O_8$ 、 $Na_2H_2O_7$ ナル構造ヲ有ス(二)眞性反應(三)正品ノ特性(四)アルカリレン試験(五)硫酸ノ試験(六)痕跡以上クロールレン試験(七)砂糖類ノ試験(八)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用)

サツカリンニ同シ

Saccharum.

白糖



溶性サツカリン 白糖

白糖ハ無色透映ノ乾燥結晶或ハ純白色乾燥結晶性ノ塊片或ハ粉末ニシテ臭氣ナク味甚タ甘シ〇五分ノ水ニ溶解ス

本品十グラム(10g)ニ水五立方センチメートル(5ccm)ヲ和スルニ無色澄明ニ溶解スヘシ(一)此液ハ試験紙ヲ變化セズ(二)又酒精ヲ加フルニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和セサルヘカラス(三)

本品ノ水溶液(二)ハ硫化水素水ニ由テ變化セズ(四)又稀酸アムモニウム溶液、硝酸銀溶液又硝酸バリウム溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス(五)

本品ノ水溶液(二)〇六立方センチメートル(6ccm)ニフェーリング溶液五立方センチメートル(5ccm)ヲ和シ熱シテ煮沸スルニ至ルニ直チニ黄色或ハ類赤色ノ沈澱ヲ析出スヘカラス(六)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(七)

(註)

解 (一)ウルトラマリン、ペルロン藍ノ如キ色素其他不溶性鹽類ヲ夾雜セサル微(二)アルカリ性又ハ酸性物質ヲ夾雜セサル微(三)粘液質、デキストリン、硫酸カルチウム、ノ試験(四)鉛又ハ銅ノ試験(五)痕跡以上カルチウム鹽、グルコース化物又硫酸

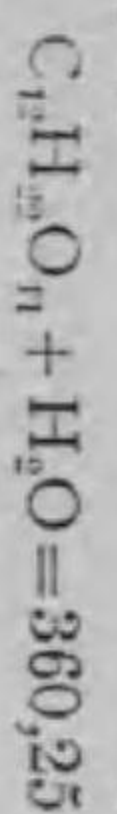
鹽ノ試験(六)インフェルト糖其他還元性糖類ノ試験(七)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用)

賦形、矯味劑トス

O Saccharum Lactis.

乳糖



乳糖ハ類白色ノ結晶塊或ハ白色ノ粉末ニシテ臭氣ナク微ニ甘味ヲ有シ一分ノ熱湯ニ溶解ス

本品ノ水溶液ニ炭酸ナトリウム溶液ヲ和シテ熱スレハ黄色ヲ呈シ之ニ次硝酸蒼鉛ヲ加ヘテ二三分時間煮沸スレハ黑色ヲ呈ス(一)

本品ノ熱水溶液(二)ハ無色ナルヘシ或ハ微ニ類黄色ヲ帶フルニ過クヘカラス(三)

本品ノ水溶液(二)〇ハ試験紙ヲ殆ト變色セズ(三)又硝酸銀溶液並硝酸バリウム溶液ニ由テ極メテ僅微ノ混濁ヲ生スルニ過クヘカラス(四)又硫酸五立方センチメートル(5ccm)ヲ淺皿ニ盛リ之ニ本品一グラム(1g)ヲ撒布シ十五度ヲ超エサル温ニ於テ一時間ヲ經ルモ微ニ染色スルニ止マルヘシ(五)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇二分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(六)

(註)

解 (一)實性反應(二)黄色ヲ呈スルハ有機性夾雜物ヲ混有シ粗製品タル微(三)乳糖ヲ含有スル變敗品タル微(四)痕跡以上グルコース化物並硫酸鹽ノ試験(五)蔗糖又ハデキストリンノ試験(六)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用) 賦形、矯味劑トシ其他緩下劑トシテ一〇〇—二〇〇—小兒ニハ一〇—二〇ヲ温牛乳ニ溶解シ又利尿劑トシテ心臟病ニ因スル水腫ニ三〇〇—一〇〇〇ヲ用フ

Osai Carolinum factium.

人工カルルス泉鹽

人工カルルス泉鹽ハ

乾燥硫酸ナトリウム

硫酸カリウム

クロールナトリウム

重碳酸ナトリウム

ヲ取リ中末トナシ混和シ製スヘシ

本品ハ白色ノ乾燥粉末ニシテ水ニ溶解シ酸類ヲ加フレハ劇シク泡沸ス

本品六グラム(6g)ヲ水一リートル(1l)ニ溶解スレハカルルス泉ニ類スル液ヲ得

二十二分 (13)

一分 (1)

九分 (9)

十八分 (18)

サンダラック サントニン

(醫治効用)

緩下劑トシテ五・〇—一五・〇チ一盞ノ水ニ溶解シテ用フ

四八〇

Sandaraca

サンダラック

Callitris quadrivalvis Yau.

サンダラック(一)ハ本植物ノ幹ヨリ得タル樹脂ナリ
本品ハ淡黄色透映ノ顆粒ニシテ味微ニ苦ク之ヲ熱スレハ佳快ノ香氣ヲ放チ熔融シテ終ニ燃化ス
本品ハ冷酒精ニ一部溶解シ熱酒精並テレビン油ニ全溶ス

(註)

解 (一)サンダラコロール酸 $C_{15}H_{15}O_2(OH)(OCH_2COOH)$ カルリトロール酸 $C_{15}H_{15}O_2(OH)(COOH)$ 其他苦味質、揮發油
ヲ含有スト云フ

(應)

用 膠質硬膏ヲ製スルニ用フ

Osantoninum.

サントニン

$C_{15}H_{15}O_2 = 246.22$

サントニンハ無色ノ光澤アル小葉狀結晶ニシテ光ニ觸ルレハ黄色トナリ五千分ノ水並四十四分ノ酒精
ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴シ又四分ノ「クロロフォルム」ニ溶解ス熔融點約百七十度ナリ

本品ヲ硫酸及水同容量ノ混液ニ煮沸シツツ溶解シ少許ノ過クロール鐵溶液ヲ和シハ紫色ヲ呈ス(一)

本品ニ硝酸或ハ零度ニ冷却シタル硫酸ヲ加ヘテ濕潤スルニ直チニ染色スヘカラス(二)

本品一分ヲ水百分及稀硫酸五分ト共ニ煮沸シ永ク放冷セル後濾過シテ得タル液ハ苦味ヲ呈セス之ニ重ク

ホーム酸カリウム溶液二三滴ヲ加フルニ沈澱ヲ生スヘカラス(三)

本品ノ粉末〇・〇一グラム(〇・〇一)ヲ硫酸及水各一立方センチメートル(1 cm)ノ冷混液ト共ニ振盪スルニ染
色スヘカラス(四)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(五)

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・一グラム(0.1g)

一日ノ極量 〇・三グラム(0.3g)

(註)

解

(一)實性反應(二)砂糖、サリチン類ノ試験(三)ストリキニーネ、アルチンノ試験(四)正品ノ特徴(五)無機性夾雜物ノ
試験

(醫治効用)

蛔蟲驅除劑ニシテ一日一二回〇・二五—〇・二八歳ノ小兒ニハ一回〇・〇一—〇・〇三、一日〇・〇六—〇・二
チ散劑、丸劑、錠劑トナシ甘味ニ配伍シ用フ

Sapo jalapinus.

ヤラッパ石鹼

ヤラッパ石鹼ハ

ヤラッパ脂細末

藥用石鹼

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ類黄灰色ノ粉末ナリ

(醫治効用)

峻下劑トシテ單味ニ又ハ他ノ下劑ニ配伍シ一日數回〇・二—一・〇チ丸劑トナシ用フ

各等分

サントニン

ヤラッパ石鹼

四八一

カリ石鹼
Sapo kalinus.

カリ石鹼ハ

亞麻仁油

ヲ瓷器ニ取り重湯煎上ニ温メ攪拌シツツ之ニ

カリ鹼液

酒精

ヲ混和シ温ヲ與ヘテ透明ノ石鹼膠トナルニ至リ其一部分ヲ酒精ニ溶解スルニ澄明ノ溶液ヲ生スルニ至ラハ更ニ蒸發シ若クハ温蒸餾水ヲ加ヘテ全量ヲ百分トナシ製スヘシ

本品ハ帶黃褐色透明全質均等粘滑ノ軟塊ヲナシ不快ナラサル微臭ヲ帶ヒ(一)二分ノ水並酒精ニ澄明ニ溶解ス(二)

本品十グラム(10g)ニ酒精三十立方センチメートル(30cc)ヲ加ヘテ溶解シタルモノハ定規鹽酸〇.五立方センチメートル(0.5cc)ニ由テ濁濁セス(三)更ニ「フェノール」フタレイン溶液一滴ヲ加フルニ紅色ヲ呈スヘカラス(四)

本品五グラム(5g)ヲ硝子壺ニ取り熱湯百立方センチメートル(100cc)ニ溶解シ稀硫酸十五立方センチメートル(15cc)ヲ和シ重湯煎上ニ温メ水液上ニ澄明油狀ノ液浮游スルニ至リ冷後之ニ石油ベンチン五十立方センチメートル(50cc)ヲ注キ栓塞シテ搖動シ其二十五立方センチメートル(25cc)ヲ硝子器ニ取り微温ヲ與ヘテ石油ベンチン「」ヲ揮散セシメ殘留物ヲ七十五度ヲ超エサル温ニ於テ乾燥スルニ其重量少ナクモ一グラム(1g)ナラサルヘカラス(五)

(註) 解 (一)著シク不快臭ヲ有スルモノハ他ノ脂肪又ハ脂肪油(例之ハ魚油)ヲ原料ニ使用シタル微(二)水又ハ酒精ニ溶解セ

サルトキハ鹼化セサル脂肪油又ハ炭酸アルカリ其他夾雜物ヲ混有スル微(三)濁濁スレハ樹脂夾雜スル微(四)化合セサル水酸化カリウム〇.二八%以上夾雜セサル微(五)脂肪酸ノ最少含量約四十%ニ對應ス $C_{18}H_{35}O_2K + H_2SO_4 = C_{18}H_{33}O_2K + H_2O$ $C_{18}H_{35}O_2K + H_2SO_4 = C_{18}H_{33}O_2K + H_2O$ $C_{18}H_{35}O_2K + H_2SO_4 = C_{18}H_{33}O_2K + H_2O$ $C_{18}H_{35}O_2K + H_2SO_4 = C_{18}H_{33}O_2K + H_2O$

(醫治効用)

消毒、軟化作用ヲ有シ主ニ外用ニ慢性皮膚病(濕疹、痒疹等)ニ塗擦シ其他腺ノ腫脹、腺病性疾患又疥癬ニ用フ

Sapo medicatus.
藥用石鹼

藥用石鹼ハ

ナトロン鹼液(比重一.二七)

ヲ取り重湯煎上ニ温メ攪拌シツツ漸々ニ

豚脂

オレーフ油

ノ熔和物ヲ加ヘテ三十分時間温メタル後

酒精

ヲ混和シ攪拌シテ全質均等トナルニ至リ徐々ニ

蒸餾水

ヲ和シテ熱ヲ與ヘ尙必要ナルトキハ少量ノ「ナトロン」鹼液ヲ加ヘテ透明ノ石鹼膠トナルニ至リ其一部分ヲ熱湯ニ溶解スルニ澄明ノ液トナルヲ度トシ

食鹽

炭酸ナトリウム

蒸餾水

ノ濾過セル溶液ヲ石鹼膠ニ加ヘ攪拌シツツ尙熱シテ石鹼ノ全ク析出スルニ至リ冷後其母液ヲ去リ少量ノ

百二十分 (120)

五十分 (50)

五十分 (50)

十二分 (12)

二十分 (20)

二十五分 (25)

三分 (3)

八十分 (80)

蒸餾水ヲ以テ頻々洗滌シ強ク壓搾シ截テ小片トナシ温處ニ乾燥シ粉末トナシ製スヘシ
本品ハ白色ノ粉末ニシテ敗油臭ヲ有セス水並酒精ニ溶解ス(一)
本品一グラム(一〇)ニ酒精五立方センチメートル(五ccm)ヲ加ヘ温ヲ與ヘテ溶解シタルモノハ「フェノール」
タレイン溶液一滴ニ由テ紅色ヲ呈スヘカラス(二)又硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(三)
壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註)

解 (一)溶解セサルトキハ化合セサル脂肪、カルチウム又ハ「マグネシウム」石鹼、炭酸ナトリウム、クロールナトリウム
ノ如キ鹽類若クハ珪酸ヲ夾雜スル微(二)遊離アルカリ「試験(三)金屬殊ニ銅」試験

(醫治効用)

瀉下及膽汁分泌増進作用ヲ有ス主トシテ丸劑ノ賦形藥又ハ酸中毒ニ中和劑トナシ外用ニハ洗滌劑、坐劑等トナス

Sapo viridis.

綠石鹼

綠石鹼(一)ハ類綠色或ハ黃褐色透明粘滑ノ軟塊ニシテ二分ノ水ニ全ク或ハ殆ト證明ニ溶解ス(二)
本品五グラム(五g)ヲ熱湯十立方センチメートル(10ccm)ニ溶解シ冷後之ニ同容量ノ酒精ヲ和スルニ其液
混濁セス(三)之ニ鹽酸二滴ヲ加フルモ絮狀ノ沈澱ヲ生スヘカラス(四)
本品五グラム(5g)ヲ硝子壘ニ取り熱湯百立方センチメートル(100ccm)ニ溶解シ稀硫酸十五立方センチメ
ートル(15ccm)ヲ和シ重湯煎上ニ温メ水液上ニ澄明油狀ノ液浮游スルニ至リ冷後之ニ石油ベンチン五十
立方センチメートル(50ccm)ヲ注キ栓塞シテ搖動シ其二十五立方センチメートル(25ccm)ヲ硝子器ニ取り
微温ヲ與ヘテ石油ベンチンヲ揮散セシメ殘留物ヲ七十五度ヲ超エサル温ニ於テ乾燥スルニ其重量少ナ
クモ一グラム(1g)ナラサルヘカラス(五)
(註) 解 (一)脂肪酸類ノ「カリウム鹽類」外少量ノ遊離アルカリ、グリセリン、水分等ヲ含有ス(二)水溶液混濁スレハ鹼化セ

(醫治効用)

カリ石鹼ニ同シ但シ貧民療法ニ用フ

Saturations.

飽和劑

飽和劑ハ酸ノ溶液ニ炭酸アルカリヲ加ヘ調製シタル炭酸含有ノ合劑ナリ
處方中藥物及分量ヲ記載セサルトキハ左記ニ據リ調製スヘシ

枸橼酸

四分 (4)

炭酸ナトリウム

九分 (9)

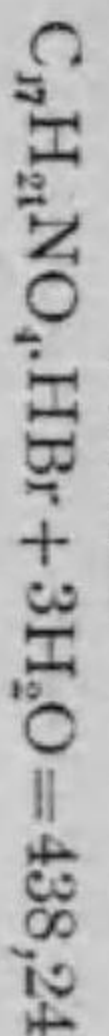
水

百九十分 (190)

用ニ臨テ製スヘシ

Scopolaminum hydrobromicum.

ブローム水素酸スコポラミン



ブローム水素酸スコポラミン「ハ無色稜柱狀ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ臭氣ナク味苦ク且苛辣
ナリ水並酒精ニ容易ニ溶解シテ無色弱酸性ノ液ヲ生シ「エーテル」並ク「ロフォルム」ニ僅微ニ溶解ス又本品
ノ百十度ニ於テ乾燥セルモノハ約百九十度ニ於テ熔融ス
本品ノ水溶液(1:20)ハ硝酸銀溶液ニ由テ類黃色ノ沈澱ヲ生シ「ナトロン」鹼液ニ由テ類白色ノ混濁ヲ生シ暫

飽和劑 ブローム水素酸スコポラミン

時ニシテ消失ス又アムモニア水ニ由テ變化セス(一)
 本品約〇・〇一グラム(0.01g)ヲ瓷皿ニ取り發烟硝酸五滴ヲ和シ重湯煎上ニ蒸發シテ得タル殘留物ハ極メテ
 微ニ類黄色ヲ有シ冷後之ニ酒精製カリ滴液ヲ滴加スレハ紫色ヲ呈ス(二)
 本品〇・〇五グラム(0.05g)ヲ水五立方センチメートル(5cm)ニ溶解シタルモノニ過マンガン酸カリウム溶
 液一滴ヲ和スルニ五分時間以内ニ其紅色消失スヘカラス(三)
 本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ約十二分ニ過クヘカラス(四)
 本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(五)
 最モ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・〇〇〇五グラム(0.0005g)

一日ノ極量 〇・〇〇一五グラム(0.0015g)

(註) 解 (一)實性反應ニシテ「マラドニン」其他鹽基ノ存在スルトキハ「アムモニア水ニ由テ潤濁ス」(二)スコホラミンノ實
 性反應(三)アポトロセンノ試験(四)水分ノ試験(五)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用) 内服ニハ鎮靜、鎮痙劑トシテ精神病與奮状態、震頭及震戦麻痺等ニ一日數回〇・〇〇〇一—〇・〇〇〇五ヲ丸劑又ハ
 溶液トナシ用ヒ外用ニハ瞳孔散大劑トシテ溶液(0.01—0.02:10.0)ヲ用フ

Sebum bovinum.

牛脂

Bos Taurus L.

牛脂(一)ハ本動物ノ脂肪組織ニ水ヲ和シ熱ヲ加ヘテ熔出シ水ヲ以テ洗滌シタル後水分ヲ除去シテ得タル
 脂肪ナリ

本品ハ白色或ハ類黄白色全質柔軟均等ノ塊ヲナシ臭氣ハ微弱特異ニシテ敗油性ナラス(二)四十五乃至五
 十度ニ於テ熔融シ澄明ノ液トナル「ヨード數三十三乃至五十三、鹼化數百九十三乃至二百、酸度二以下ナリ
 (註) 解 (一)硬脂酸、軟脂酸及油酸グリセリンエステルヨリ成ル(二)酸敗セル不純品ナラサル徵
 (應) 用) 軟膏殊ニ水銀軟膏ヲ製スルニ用フ

Secale cornutum.

麥角

Claviceps purpurea Tul.

麥角(一)ハ Secale cereale L.ニ發生セル本植物ノ保菌菌體ヲ採集シ微温ヲ施シテ乾燥セルモノナリ
 本品ハ通常鈍キ三稜ヲ有シ多クハ稍、彎曲シ長サ十乃至三十ミリメートル(10—30mm)太サ二・五乃至五ミ
 リメートル(2.5—5mm)兩端少シク狭細トナリ多クハ縱溝及横裂ヲ有シ外面ハ暗紫色乃至黑色ニシテ破折
 面ハ紫黑色ノ皮層ト灰白色或ハ淡紫紅色ノ内層ヲ現ハシ顯微鏡下ニ檢スレハ菌絲ハ柔組織様ニ結合シ油
 滴ヲ含有スルヲ見ル
 本品ハ味淡泊ニシテ其一分二十分ノ熱湯ヲ注加スレハ特異ノ臭氣ヲ發シ「アムモニア様又ハ敗油性ノ臭
 氣ヲ發スヘカラス(二)
 本品ハ粉末トナシテ貯フヘカラス
 除濕器内ニ於テ乾燥シ器中ニ密閉シ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 一グラム(1g)

一日ノ極量 五グラム(5g)

(註) 解 (一)コーペルト氏ノ説ニ由レハ有効成分ハ「コルヌチン」無効ナル「エルゴチニン」ノ分解成續體其他ス「ファチエリン

酸ナリト云フ(二)陳舊變敗品ノ試験
(醫治効用) 産科ニ於テ止血劑及陣痛促進劑トシテ常用シ内服ニハ一日數回〇・三—一・〇ヲ散劑、丸劑又ハ浸劑(1:100)トシ
シ其他肺、胃、腸出血、膀胱衰弱症、血管痙攣性偏頭痛等ニ用フ

Semen Colchici.

コルヒクム子

Colchicum autumnale L.

コルヒクム子(一)ハ本植物ノ種子ナリ

本品ハ殆ト球圓形ヲナシ直徑三ミリメートル(3mm)ニ至リ新鮮ナルモノハ糖分ノ分泌ニ由テ粘著性ヲ有
ス外面ハ褐色ニシテ窩點ヲ現ハシ或ハ細微ノ皺紋ヲ帶ヒ一方ニ稍隆起セル臍點ヲ著ク子殻ハ菲薄褐色
ニシテ頽敗セル細胞ヨリ成リ胚乳及長サ〇・五ミリメートル(0.5mm)ニ過キササル芽胎ヲ包藏シ其胚乳ヲ構
成スル細胞ハ灰色厚壁性ニシテ圈輪狀ノ胞孔ヲ具ヘ脂肪ヲ含有ス
本品ハ味甚タ苦シ

注意シテ貯フヘシ

(註) 解 (一)主成分ハ「コルコチン」(C₂₁H₂₅NO₆)ナル「アルカロイド」トス
(醫治効用) 痛風、使麻質斯等ニ一日數回〇・〇五—二・〇ヲ丸劑又ハ散劑トナシ用フ

Semen Linii.

亞麻仁

Linum usitatissimum L.

亞麻仁(一)ハ本植物ノ種子ナリ

本品ハ扁平卵圓形ヲナシ長サ四乃至六ミリメートル(4-6mm)類黃色乃至褐色ヲ有シ光澤ヲ帶フ子殻ノ上
皮ハ粘液細胞ヨリ成リ菲薄ナル胚乳並芽胎ハ脂肪ヲ含有シ澱粉粒ヲ缺如ス
本品ハ味緩和油樣粘滑ニシテ敗油性ナラス

(註) 解 (一)成分ハ「粘液」脂肪油、プロテイン質等トス
(醫治効用) 内服ニハ緩和劑トシテ呼吸器、尿道等ノ加答兒ニ煎劑(10:100)トナシ用ヒ外用ニハ粉末ヲ熱湯ト共ニ粥狀ニ混攪シ
布トシ又煎劑ヲ緩和包攝的ノ含嗽、浣腸、注射劑トス

Semen Myristicae.

肉豆蔻

Myristica fragrans Houtt.

肉豆蔻(一)ハ本植物ノ種子ニシテ子殻ヲ除去シ乾燥セルモノナリ

本品ハ鈍卵圓形或ハ短卵圓形ヲナシ長サ約三センチメートル(3cm)幅一センチメートル(1cm)ニ至リ外面
ハ褐色ニシテ白色ノ石灰粉ヲ被リ縱徑ニ通走セル廣キ淺溝ト緻密ノ網紋ヲナセル狹溝トヲ現ハス横斷面
ニハ脂肪及澱粉粒ヲ包裹セル内胚乳中ニ芳香性ノ分泌物ヲ含有スル褐色ノ外胚乳線條トナリテ侵入セル
ヲ認ム

本品ハ氣味芳香性ニシテ辛苦ナリ

(註) 解 (一)成分ハ揮發油、脂肪等トス
(醫治効用) 健胃驅風ノ目的ヲ以テ消化不良、風氣、腸加答兒等ニ一日數回〇・五—一・〇ヲ散劑、丸劑トナシ又ハ糖味劑トシテ用
フ

Semen Physostigmatis. *Faba Calabaria.*
カラバル豆

Physostigma venenosum Balfour.

カラバル豆(一)ハ本植物ノ種子ナリ

本品ハ長扁圓形ヲナシ稍腎臟形ニ彎曲シ長サ約三十ミリメートル(30 mm)廣サ十五ミリメートル(15 mm)厚サ十ミリメートル(10 mm)ニ至リ隆起セル邊緣ニハ全長徑ニ亘リテ臍溝ヲ有シ其質堅ク子殻ハ褐色ニシテ光澤ヲ帯ヒ類白色ノ子葉二箇ヲ包裹ス
注意シテ貯フヘシ

(註) 解 (一)主成分ハ「フィソスタグミン」(又エセリン) $C_{41}H_{74}N_2O_8$ ナル「アルカロイド」トス
(應) 用 主トシテ「カラバル豆」越幾斯ヲ製スルニ用フ

Semen Pruni armeniaca.

杏仁

Prunus armeniaca L.

杏仁(二)ハ本植物ノ種子ナリ

本品ハ略心臓形ヲナシ壓扁セラレ長サ約十五ミリメートル(15 mm)幅十二ミリメートル(12 mm)厚サ七ミリメートル(7 mm)ニ至リ一端ハ尖銳ニシテ他端ハ圓形ヲナシ此部位ニ電點ヲ具ヘ子殻ハ褐色ニシテ外面ハ脱落シ易キ厚壁性ノ上皮細胞ニ由テ粉末狀ヲ呈シ内部ニハ電點ヨリ出ツル多數ノ脈管束通走ス
本品ヲ熱湯中ニ投シ軟化セシムレハ子殻ハ薄キ胚乳ト共ニ容易ニ剝離シ純白ノ子葉ヲ露出ス
本品ハ苦味ヲ有シ敗油性ナラス又水ヲ注キテ搗碎スレハ揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ放ツ

(註) 解 (一)成分ハ概シテ苦扁桃ニ同シ其他苦扁桃ヲ參照スヘシ
(應) 用 杏仁水ヲ製スルニ用フ

Semen Sinapis.

芥子

Sinapis cernea Thunb.

Brassica nigra Koch.

芥子(一)ハ本兩種植物ノ種子ナリ

本品ハ略球圓形ヲナシ太サ一・五ミリメートル(1.5 mm)ニ至リ帶黃褐色或ハ暗褐色ヲ有シ「ルーベ」ヲ以テ檢スレハ極メテ細小ノ凹窩ヲ現ハス子葉ハ帶綠黃色ニシテ鞍狀ニ重疊ス
本品ノ粉末ハ之ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ「尿酸鹽結晶」及「澱粉粒」ヲ認ムヘカラス
本品ノ粉末五グラム(5 g)ヲ硝子壺ニ取り二十乃至二十五度ノ水百立方センチメートル(100 cc)ヲ注キ栓塞シ反覆搖動シツツ二時間放置シタル後酒精二十立方センチメートル(20 cc)及オレーフ油二立方センチメートル(2 cc)ヲ加ヘ善ク冷却シツツ蒸餾シ初縮液四十乃至五十立方センチメートル(40-50 cc)ヲ豫メ「アムモニア」水十立方センチメートル(10 cc)ヲ盛リタル内容百立方センチメートル(100 cc)ノ測容硝子壺中ニ縮取シ之ニ十分定規硝酸銀液二十立方センチメートル(20 cc)ヲ注加シ尋テ水ヲ加ヘテ百立方センチメートル(100 cc)トナシ栓塞シ屢振盪シツツ二十四時間放置シ濾過シ其澄明液五十立方センチメートル(50 cc)ニ硝酸六立方センチメートル(6 cc)及硫酸酸化鐵アムモニウム溶液一立方センチメートル(1 cc)ヲ和シタル後十分定規硫チアンアムモニウム液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニハ該液ヲ費スコト七・二立方センチメートル(7.2 cc)ニ過クヘカラス(II)

(註)

解

(一)成分ハ脂肪油、ミロシン(醗酵素)、ジニグリン又ミロン酸カリウム(グリコシド)等トス(二)硫チアンアルリール即チ「アルリール」芥子油ノ最少含量〇・五五五%ニ該當ス抑、芥子ノ主成分タル「ミロン酸カリウム」ハ「ミロシン」ナル醗酵素ニ由リ水ノ存在スル場合ニ次ノ如ク分解ス $(C_{10}H_{16}KN_2O_6 = C_8N_2G_4H_8 + C_2H_4O_2 + K_2HPO_4)$ 而シテ酒精ヲ加フルハ醗酵ヲ中止「オレフ」油ヲ加フルハ蒸餾ノ際泡沸ヲ防ク目的トス 其他ハ芥子油ヲ参照スヘシ而シテ十分定規醗酵液一立方センチメートルハ硫チアンアルリール〇・〇〇四九五七グラムニ對應シ從テ最初用ヒタル銀液量ヲ二分シ之ヨリ還測ニ消費セル硫チアンアムモニウム液量ヲ減シタルモノ即チ二・八立方センチメートルニ〇・〇〇四九五七ヲ乘スレハ本品二・五グラム中芥子油ノ量〇・〇二三八八グラムヲ得從テ本品ハ少クトモ芥子油〇・五五五%ヲ含有スヘキモノトス

(醫治効用)

少量ヲ内服スレハ食慾、消化ヲ増進セシムルノ効アリ主ニ外用ニ供シ等分ノ微温湯ヲ加ヘテ攪拌シ芥子泥トナシ誘導刺激劑トシテ乾性肋膜炎、筋痛、失神等ニ皮膚ニ貼用ス

Semen Strophanthi.

ストロファンツス子

Strophanthus Kombe (Wieg.)

ストロファンツス子(一)ハ芒ヲ除去セル本植物ノ種子ナリ

本品ハ鍍鉞形ヲナシ壓扁セラレ一端ニ尖嘴ヲ有ス長サ九乃至十五ミリメートル(9-15 mm)稀ニ二十二ミリメートル(22 mm)ニ達スルモノアリ幅五ミリメートル(5 mm)厚サ三ミリメートル(3 mm)ニ至リ密ニ毛茸ヲ帯ヒ灰綠色或ハ灰色ヲ呈ス種縫ハ尖端ノ直下ニ在ル臍點ヨリ發シ扁平ナル面ノ中央ヲ縱走シテ殆ど底部ニ達ス

本品ヲ水中ニ軟化シテ分割スレハ胚乳ハ子殻ニ附著シテ剝離シ扁平ナル二枚ノ子葉及短少ナル幼根ヲ具フル芽胎ヲ露出ス

本品ノ子殻ハ菲薄ニシテ上皮ハ巨大ナル細胞ヨリ成リ其各細胞ハ中央部延長シテ種子ノ尖端ニ向テ偃伏

スル毛茸トナル胚乳ノ細胞ハ油滴及蛋白質顆粒ヲ包藏シ又屢太サ〇・〇〇八ミリメートル(0.008 mm)ヲ超エサル澱粉粒ヲ有ス子葉及幼根ノ細胞中ニ在ル蛋白質顆粒ハ更ニ小ニシテ稀ニ澱粉粒ヲ見ル
本品ノ横断面ニ硫酸一滴ヲ點スレハ胚乳或ハ少ナクモ子葉ノ外側ハ藍綠色或ハ綠色ヲ呈シ漸次紅色ニ變遷ス(二)

本品ハ味苦シ

注意シテ貯フヘシ

(註)

解

(醫治効用)

(一)主成分ハ「ストロファンチン」($C_{21}H_{33}O_{10}$ ナル「グリコシド」ナリトス)(二)ストロファンチンノ存在ニ因スル實性反應
ヤギタリス「ノ」代用品トス此目的ニハ主ニ「ストロファンツス」丁幾ヲ用フ

Semen Strychni

番木鱈 馬錢子

Strychnos Nux-vomica L.

番木鱈(一)ハ本植物ノ種子ナリ

本品ハ圓板形ヲナシ多クハ彎曲シ直徑二十乃至二十五ミリメートル(20-25 mm)厚サ三乃至五ミリメートル(3-5 mm)ニシテ帶灰黃色ヲ有シ兩面ニハ中央ヨリ周邊ニ向テ偃伏セル絹絲様ノ光澤アル毛茸密生ス胚乳ハ其質堅ク角質様ニシテ長サ約七ミリメートル(7 mm)ノ芽胎ヲ包藏ス芽胎ハ種子ノ邊緣ニ向テ縱直ノ子根ヲ出タシ其部位少シク隆起ス子殻ノ外層ヲ形成セル一層ノ細胞ハ厚キ有孔性ノ皮膜ヲ有シ中央ヨリ屈曲シテ毛茸トナル胚乳ノ細胞ハ皮壁厚ク「ヨード」溶液ニ浸漬スレハ連絡孔道ヲ現ハシ澱粉粒ヲ含有セス又胚乳ノ切片ハ發烟硝酸ニ由テ橙黃色ヲ呈ス(二)

本品ハ味甚タ苦シ

本品ノ百度ニ於テ乾燥セル細末五グラム(5)ニ稀鹽酸五立方センチメートル(5 cc)及水十五立方センチメートル(15 cc)ヲ和シ十分時間重湯煎上ニ温メ冷後クロロフォルム三十五立方センチメートル(35 cc)及エーテル九十立方センチメートル(90 cc)ヲ加ヘ善ク振盪シ次ニ「ナトロン」液八立方センチメートル(8 cc)ヲ和シ十分時間強ク振盪シ更ニ「トラガント」末三グラム(3)ヲ加ヘ復タ劇シク振盪シテ粉末ヲ集團セシメ五分時間靜置シタル後澄明ノ「クロロフォルム」液ヲ精製綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液百立方センチメートル(100 cc)ヲ蒸餾シテ「クロロフォルム」ヲ去リ殘渣ニ五立方センチメートル(5 cc)ノ純アルコールヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ之ニ水十立方センチメートル(10 cc)エーテル三十立方センチメートル(30 cc)及三滴ノ「ヘマトキシリン」溶液ヲ和シ輕ク搖動シツツ十分定規鹽酸ヲ滴加シ赤褐色ノ混液ヲ生スルニ至リ更ニ水三十立方センチメートル(30 cc)ヲ加ヘ屢、強ク振盪シツツ復タ十分定規鹽酸ヲ滴加シテ下層ノ水液黄色ヲ呈スルニハ少ナクモ其二・八立方センチメートル(2.8 cc)ヲ費ササガヘカラス(四)

注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 〇・一グラム(0.1 g)
- 一日ノ極量 〇・ニグラム(0.2 g)

(註)

(一)主成分ハ「ストリキニーネ」 $C_{17}H_{27}NO_6$ 及「アルチン」 $C_{15}H_{25}NO_4$ ナル「アルカロイド」トス(II)「アルチン」ノ反應(III)本品四グラムニ相當ス(四)本品中ストリキニーネ及アルチン各等分ニ存在スルトキハ其平均分子量ハ三百六十四ニシテ十分定規酸液一立方センチメートル「アルカロイド」〇・三六四三グラムニ對應シ其最少要求含量ハ二・五%トス(4:0.102004 (=0.03643×28)=100:x;x=2.55)

(醫治効用)

稀ニ番木鱉鹼斯ト同一ノ目的ニ一日數回〇・二〇〇五ヲ散劑、丸劑トナシ用フルコトアリ

Oserum antidiphthericum.

ヂフテリア血清

ヂフテリア血清ハ「ヂフテリア」毒素ヲ以テ免疫シタル馬ノ血清ニシテ政府ノ檢定ヲ經、硝子壺ニ容レ封緘ヲ施シ製造所名、一立方センチメートル(1 cc)ニ若クハ一グラム(1 g)中ノ免疫單位數、一壺中ノ容量若クハ重量及免疫單位數、血清番號ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包裝シタルモノナリ

(甲) 液體ヂフテリア血清

Serum antidiphthericum liquidum.

本品ハ類黄色澄明或ハ微ニ濁濁セル液ニシテ貯藏ノ目的ニ添加セル防腐劑ノ臭氣ヲ有ス

本品一立方センチメートル(1 cc)中ニハ五百免疫單位以上ヲ有セサルヘカラス但免疫單位ノ計算ハ「エールリヒ」法ニ據ル

本品ヲ寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌ナラサルヘカラス

本品〇・五立方センチメートル(0.5 cc)ヲ體重十五グラム(15 g)以上ノ南京鼠ノ皮下ニ、及其十立方センチメートル(10 cc)ヲ約二百五十グラム(250 g)ノ體重ヲ有スル「モルモット」(Cavia colaya Schreb., Cavia porcellus L.)ノ皮下ニ注射スルニ之ヲ致死セシムヘカラス

本品ノ蛋白質含有量ハ「キールダール」法ニ據リ百分中十分以下ナラサルヘカラス

本品ノ著シク濁濁シ又ハ多量ノ涎滓ヲ含ムモノハ使用スヘカラス

冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ但一年以上ニ過クヘカラス

(乙) 乾燥ヂフテリア血清

Serum antidiphthericum siccum.

本品ハ乾燥シタル「ヂフテリア」血清ニシテ黄色透映ノ小葉片或ハ帶黃白色ノ粉末ナリ

ヂフテリヤ血清

本品一グラム(1g)ハ少ナクモ五千免疫單位ヲ有シ防腐劑其他ノ添加物ヲ含有スヘカラス
 本品一分ヲ十分ノ水ニ溶解シタルモノハ液體デフテリヤ血清ト同一ノ外觀ヲ呈スヘシ
 本品一分ヲ十分ノ石炭酸水(1:200)ニ溶解シタルモノノ試験ハ液體デフテリヤ血清ノ條ニ掲クル所ニ準據
 スヘシ

本品ハ用ニ臨テ石炭酸水(1:200)又ハ滅菌水ニ溶解スヘシ
 冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ

ヤフテリヤ血清ハ「ヤフテリヤ毒素」ニ對シ免疫シタル馬ノ血清ニシテ之ヲ製スルニハ先ツ理化學的作用ヲ施シテ毒力ヲ減弱シタル又
 ハ少量ノ「ヤフテリヤ菌培養液」(ヤフテリヤ毒素ヲ含ム)ヲ馬ニ注射シ輕微ノ病狀ヲ呈スルニ至ルヘシ然ルトキハ其血液ニ毒素
 ヲ中和シテ之ヲ無害タラシムヘキ「抗毒素」ヲ生シ馬ハ前ヨリモ強度ノ又ハ多量ノ毒素ニ堪ヘキヲ以テ更ニ較ニ強度ノ又ハ多量ノ
 培養液ヲ注射シテ抗毒素ノ增量ヲ來タサシメ斯クノ如ク注意シテ數回前法ヲ反覆シテ終ニ強度ノ抗毒性ヲ呈スルトキハ頭靜脈ヲ穿
 刺シ進出スル血液一定量ヲ採取シ冷處ニ靜置シ茲ニ分離セル澄明ナル血清ニ〇・五%石炭酸又ハ〇・二%トリクレゾールヲ加ヘテ
 防腐シ光ヲ避ケ冷處ニ貯フヘシ抑、生體力傳染病毒ノ侵襲ヲ蒙ルモノニ感受セサル性ヲ免疫性ト云フ而シテ「ヤフテリヤ」ハ「ヤフ
 テ」ノ菌カ身體ノ局部ニ寄生發育シ其結果トシテ產出セル毒素ニ由テ發スル疾病ナレトモ前上ノ如ク動物體ニ毒素ヲ注射スルトキハ
 漸次ニ免疫性ヲ増シ之ニ對スル致死量ノ數千倍毒素ヲ注射スルモ敢ヘテ發病セサルニ至ル是レ其血液ニ抗毒素ヲ蓄積シ此物ハ毒
 素ト化合シ無害成績體ヲ生スルニ由ル故ニ斯クノ如ク人工ヲ以テ高度ノ免疫ニ達セシメタル動物ノ血清中ニハ抗毒素ヲ含有スルヲ
 以テ之ヲ病者ニ注入スレハ其抗毒素ハ毒素ヲ無害物タラシメ終ニ健康體ニ復セシム
 血清注射量ハ其免疫單位數ニ應ジテ加減スルモノニシテ當初ベリソング氏ノ定ムル所ニ據レバ免疫單位トハ二千五百グラムノ「モ
 ルモット」(體重二百五十グラム)ノモノ十頭)ニ對シ其致死量ノ十倍ニ當ル「ヤフテリヤ」毒素ヲ無力トナシ得ヘキ所ノ血清量ヲ云ヒ其
 一立方センチメートルニ一ノ免疫單位ヲ含有スルモノヲ標準血清ト云フ

免疫單位ノ計算ハ「ベトリソング」及「エトルリヒ」氏ノ方法ニ據ルモノニシテ其所定ニ從ヒ免疫單位數ヲ精確ニ檢定シタル「固形血清」標
 準血清トナシ之ヲ以テ豫メ製シタル「ヤフテリヤ」毒素ヲ試驗シ其毒素ヲ以テ更ニ試驗スヘキ血清ノ免疫單位數ヲ定ムルモノナリ標
 準固形血清ハ冷暗處ニ於テ濕氣ニ觸レサル様眞空管内ニ貯ヘ之ヲ溶解スルニハ〇・五%ノ石炭酸水ヲ用フヘシ又之ニ用フル「ヤフテ
 リヤ」毒素ハ「ヤフテリヤ」菌ノ「ブイオン」培養ヨリ製シタル固形毒素ノ十%溶液ニ「トルオール」ヲ加ヘタルモノニシテ此溶液ハ約一箇
 月ノ使用ニ堪ユ今標準血清ノ一免疫單位ト此毒素ノ若干量トヲ混和シ「モルモット」ノ皮下ニ注射シ約四日ノ後ニ致死セシムル毒素
 量ヲ定メ置キ次ニ其所定毒素量ト試驗スヘキ血清ノ若干量トヲ混和シ「モルモット」ノ皮下ニ注射シ四日以上生存スル量ヲ定ム若シ
 其血清量五百分ノ一立方センチメートルナルトキハ五百免疫單位ヲ含ムモノトス以下之ニ倣フ
 「ヤフテリヤ」血清ハ「ヤフテリヤ」ニ六百乃至千免疫單位若クハ其以上ヲ又其豫防ニハ二百免疫單位若クハ其以上ヲ皮下ニ注射ス

Serum antitetanicum.

破傷風血清

破傷風血清ハ破傷風毒素ヲ以テ免疫シタル馬ノ血清ニシテ政府ノ檢定ヲ經、硝子壺ニ容レ封緘ヲ施シ製
 造所名、一立方センチメートル(1ccm)若クハ一グラム(1g)中ノ免疫單位數、一壺中ノ容量若クハ重量及免
 疫單位數、血清番號ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包裝シタルモノナリ

(甲) 液體破傷風血清

Serum antitetanicum liquidum.

本品ハ類黃色澄明或ハ微ニ濁濁セル液ニシテ貯藏ノ目的ニ添加セル防腐劑ノ臭氣ヲ有ス
 本品一立方センチメートル(1ccm)中ニハ五免疫單位以上ヲ有セサルヘカラス但免疫單位ノ計算ハ「ベ
 リ

リング法ニ據ル

本品ヲ寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌ナラサルヘカラス

本品〇五立方センチメートル(0.5cm)ヲ體重十五グラム(15g)以上ノ南京鼠ノ皮下ニ注射スルニ之ヲ致死セシムヘカラス

本品ノ蛋白質含有量ハ「キールダール法」ニ據リ百分中十分以下ナラサルヘカラス

本品ノ著シク濁濁シ又ハ多量ノ涎滓ヲ含ムモノハ供用スヘカラス

冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ但一年以上ニ過クヘカラス

(乙) 乾燥破傷風血清

Serum antitetanicum siccum.

本品ハ乾燥シタル破傷風血清ニシテ透映ノ小葉片或ハ帶黃白色ノ粉末ナリ

本品一グラム(1g)ハ少ナクモ五十免疫單位ヲ有シ防腐劑及其他ノ添加物ヲ含有スヘカラス

本品一分ヲ十分ノ水ニ溶解シタルモノハ液體破傷風血清ト同一ノ外觀ヲ呈スヘシ

本品一分ヲ十分ノ石炭酸水(1:300)ニ溶解シタルモノノ試験ハ液體破傷風血清ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品ハ用ニ臨テ石炭酸水(1:300)又ハ滅菌水ニ溶解スヘシ

冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ

破傷風血清ノ製法、理論ハ「ガフテリア血清」ノ條ヲ参照スヘシ

免疫單位ノ計算ハ「メーリング」及「グノル」氏ノ方法ニ據ルモノニシテ其所定ニ從ヒ免疫單位數ヲ精確ニ檢定シタル固形血清ヲ標準血清トナシ之ヲ以テ豫メ製シタル破傷風毒素ヲ試験シ其毒素ヲ以テ更ニ試験スヘキ血清ノ免疫單位數ヲ定ムルモノナリ標準固形血清ノ貯藏法及溶解法ハ「ガフテリア標準血清」同シ而シテ破傷風毒素ハ善ク注意シテ貯ヘタル固形毒素ヲ十%ニ溶解シ「トルオール」

チ加ヘタルモノヲ用フヘシ其溶液ハ一ヶ月以上保存スヘカラス今標準血清ノ千分の一免疫單位ト毒素ノ若干量トヲ混和シ南京鼠ノ皮下ニ注射シ破傷風症狀ノ痕跡ヲ現ハス量ヲ定メ其毒量ト試験スヘキ血清ノ若干量トヲ混和シ南京鼠ニ注射シ破傷風症狀ヲ起ササル血清量ヲ定ムヘシ此血清量ノ千分の一立方センチメートルナルトキハ其血清一立方センチメートル中ニ一ノ免疫單位ヲ含ムモノトス以下ニ之ニ倣フ

破傷風血清ハ破傷風ニ五百免疫單位ヲ又其豫防ニハ一乃至二十五免疫單位ヲ皮下ニ注射ス

Sirupi.

舍利別劑

舍利別劑ハ白糖ヲ水ニ溶解シ又ハ藥物ノ水製、酒精製若クハ葡萄酒製浸出液ニ白糖或ハ單舍利別ヲ溶和シテ製シタルモノナリ

本劑ヲ製スルニハ特別ニ記載スルモノノ外各適當ノ比例ニ於テ所用ノ藥液ニ白糖又ハ單舍利別ヲ溶和シ

一回煮沸シ温ニ乗シ濾過スヘシ

本劑ハ善ク乾燥セル器中ニ全滿シ冷處ニ貯フヘシ涎滓ヲ有スルモノ又ハ酸酵セルモノハ供用スヘカラス

Sirupus Abelmosehi.

黃蜀葵舍利別

黃蜀葵舍利別ハ

粗剉截黃蜀葵根

舍利別劑

二〇

(20)

ヲ取り蒸留水ヲ以テ洗滌シ

酒精

蒸留水

ヲ注キ三時間攪拌セスシテ冷浸シ絨布ヲ以テ漉過シ

其漉液

ニ

白糖

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ微黄色粘滑ノ舍利別ナリ

(醫治効用)

氣管枝加答兒ニ一茶匙宛ヲ用ヒ又ハ他ノ祛痰藥ニ配伍ス

一分 (1)

五十分 (30)

三十七分 (37)

六十三分 (63)

Sirupus Althaeae.

アルテア舍利別

アルテア舍利別ハ

粗割截アルテア根

ヲ取り蒸留水ヲ以テ洗滌シ

酒精

蒸留水

二分 (2)

一分 (1)

五十分 (50)

ヲ注キ三時間攪拌セスシテ冷浸シ絨布ヲ以テ漉過シ
其漉液

ニ

白糖

ヲ溶解スヘシ

本品ハ微黄色粘滑ノ舍利別ナリ

(醫治効用)

氣管枝加答兒ニ一茶匙宛ヲ用ヒ又ハ他ノ祛痰劑ニ配伍ス

三十七分 (37)

六十三分 (63)

Sirupus Aurantii Corticis.

橙皮舍利別

橙皮舍利別ハ

橙皮丁幾

單舍利別

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ帶黄褐色ニシテ芳香ヲ有スル舍利別ナリ

(醫治効用)

芳香健胃性矯味劑ニシテ苦味性合劑ニ配伍ス

十五分 (15)

八十五分 (85)

Sirupus Cinnamomi.
桂皮舍利別

桂皮舍利別ハ

桂皮粗末

ヲ取リ

桂皮水

ヲ注キ二日間屢、振盪シツツ冷浸シ濾過シ

其濾液

ニ

白糖

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ類赤褐色ノ舍利別ナリ

(醫治効用) 芳香健胃性矯味劑トス

一分(一)

五分(二)

四分(三)

六分(四)

OSirupus Ferri Jodati.

ヨード鐵舍利別

ヨード鐵舍利別ハ

鐵分

蒸餾水

十二分(一)

五十分(二)

ヲ取リ絶ヘス攪拌シツツ之ニ

ヨード

單舍利別

中ニ濾入シ更ニ

蒸餾水

ヲ注キテ濾器ヲ洗滌シ全量ヲ千分トナシ製スヘシ

本品ハ殆ト無色、微綠色或ハ微黃色澄明ノ舍利別ニシテ百分中五分ノ純ヨード鐵(Fe₂O₃ 309.68)ヲ含有

ス

本品一グラム(一)ヲ取リ水約五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ以テ稀釋シ稀硝酸ヲ以テ酸性トナシ稍、

過剰ノ硝酸銀溶液ヲ加ヘテ生シタル沈澱ヲ注意シテ洗滌シ之ニ「アムモニア」水五立方センチメートル

(5 ccm)ヲ注キテ濾過シ此濾液ニ硝酸ヲ加ヘテ過飽和ニ類白色ノ微濁ヲ起スニ過クヘカラス(一)

本品二グラム(二)ニ水五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ之ニ十分定規硝酸銀

液二十立方センチメートル(20 ccm)硝酸及硫酸酸化鐵アムモニウム溶液各一立方センチメートル(1 ccm)

ヲ注加シタル後十分定規硫チアンアムモニウム液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト十

三・六立方センチメートル(3.6 ccm)ニ過クヘカラス(二)

無色硝子塚ニ入レ鐵線ヲ投シ密栓シ明處ニ貯フヘシ

(註) 解

(一)クロール水素酸及プロム水素酸ノ試驗(二)四・九五%ノ「ヨード鐵」ヲ微ス(含糖ヨード鐵ノ條ヲ參照スヘシ)

(醫治効用) 腺病、腺病性貧血、梅毒ニ一日數回大人ニハ一・〇―五・〇ヲ、五歳以下ノ小兒ニハ二―十滴ヲ用フ

吐根舍利別 マンナ舍利別

五〇四

Sirupus Ipecacuanhae.

吐根舍利別

吐根丁幾
單舍利別

一分(1)
九分(9)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ類黄色ノ舍利別ナリ

(醫治効用) 催吐、祛痰劑ニシテ一茶匙宛ヲ用ヒ又ハ他ノ催吐及祛痰性合劑ニ配伍ス

Sirupus Mannae.

マンナ舍利別

マンナ舍利別ハ

マンナ

ヲ取リ

酒精

蒸餾水

ニ溶解シ濾過シ

其濾液

ニ

白糖

十分(10)

二分(2)

三十三分(33)

四十五分(45)

五十五分(55)

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ類黄色ノ舍利別ナリ

(醫治効用) 小兒ノ緩下劑トシ一茶匙宛ヲ用ヒ他ノ下劑ニ配伍ス

Sirupus Menthae.

薄荷舍利別

薄荷舍利別ハ

薄荷葉粗末

ヲ取リ

酒精

ヲ以テ濡ホシ

蒸餾水

ヲ注キ屢攪拌シツツ二十四時間冷浸シ壓搾シ濾過シ

其濾液

ニ

白糖

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ類緑褐色ノ舍利別ナリ

(醫治効用) 矯味劑トス

二分(2)

一分(1)

十分(10)

七分(7)

十三分(13)

薄荷舍利別

五〇五

Sirupus Polygalae.

遠志舍利別

遠志舍利別ハ

中割截遠志

ヲ取リ

蒸餾水

酒精

ヲ注キ二日間冷浸シ壓搾シ濾過シ

其濾液

ニ

白糖

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ類黄色ノ舍利別ナリ

(醫治効用)

祛痰劑トシテ一茶匙宛ナ用ヒ又ハ他ノ祛痰性合劑ニ配伍ス

一分 (1)

九分 (9)

一分 (1)

八分 (8)

十二分 (12)

大黃舍利別ハ

粗割截大黃

炭酸カリウム

Sirupus Rhei.

大黃舍利別

大黃舍利別ハ

粗割截大黃

炭酸カリウム

十分 (10)

一分 (1)

硼砂

ヲ取リ

蒸餾水

ヲ加ヘテ十二時間冷浸シ濾過シ濾液ヲ煮沸シ濾過シ

其濾液

ニ

桂皮水

ヲ混和シ之ニ

白糖

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ褐赤色ノ舍利別ナリ

(醫治効用)

緩下劑ニシテ小兒ニ一茶匙宛ナ用ヒ又他ノ瀉下性合劑ニ配伍ス

一分 (1)

八十分 (80)

六十分 (60)

二十分 (20)

百二十分 (120)

Sirupus Rubi.

覆盆子舍利別

覆盆子舍利別ハ Rubus Idaeus L. 又ハ Rubus Tokura Sieb. (1)ノ新鮮ナル聚果ヲ取リ搗碎シ蓋覆シ屢

攪拌シツツ約二十度ノ温ニ於テ放置シ其一部分ヲ取リ濾過シ其濾液ニ半容量ノ酒精ヲ加フルニ濁濁ヲ呈

セサルニ至リ壓搾シ濾過シ

其濾液

ニ

七分 (7)

白糖

十三分(13)

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ赤色ノ舍利別ナリ

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ水十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シ重硫酸カリウム溶液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ和シ之ニ脱脂セル毛絲二三條ヲ投シ十分時間煮沸シタル後其毛絲ヲ取リ善ク洗滌スルニ紅染スヘカラス(1)

(註) 解

(一)オランダイチゴ又トツクリイチゴ(二)テール色素ノ試験

(醫治効用)

矯味劑又ハ清涼性飲料トス

Sirupus Senegae.

セネガ舍利別

セネガ舍利別ハ

中割截セネガ根

ヲ取リ

一分(1)

蒸餾水

九分(9)

酒精

一分(1)

ヲ注キ二日間冷浸シ壓搾シ濾過シ

其濾液

八分(8)

白糖

十二分(12)

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ類黄色ノ舍利別ニシテ過クロール鐵溶液ニ由テ帶褐綠色ヲ呈ス

(醫治効用)

祛痰劑トシテ一茶匙宛ヲ用ヒ又ハ他ノ祛痰性合劑ニ配伍ス

Sirupus Sennae.

センナ舍利別

センナ舍利別ハ

中割截センナ葉

搗碎セル茴香

ヲ取リ

十分(10)

一分(1)

酒精

五分(5)

ヲ注キテ濡ホシ

蒸餾水

六十分(60)

ヲ注キ十二時間冷浸シ壓ヲ加ヘスシテ濾過シ濾液ヲ煮沸シ濾過シ冷後

其濾液

三十五分(35)

白糖

六十五分(65)

ヲ溶解シ製スヘシ

本品ハ褐色ノ舍利別ナリ

(醫治効用)

小兒ノ瀉下劑トシテ一茶匙宛ヲ用ヒ又ハ他ノ瀉下性合劑ニ配伍ス

單舍利別 生薑舍利別

*O*Sirupus simplex.

單舍利別

單舍利別ハ
白糖

六十五分 (65)

ヲ取リ

熱蒸餾水

三十五分 (35)

ニ溶解シ製スヘシ

本品ハ無色無臭澄明ノ舍利別ニシテ比重一・三二ナリ

(醫治効用)

矯味劑トス

Sirupus Zingiberis.

生薑舍利別

生薑舍利別ハ

生薑丁幾

一分 (1)

單舍利別

九分 (9)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ微黄色微濁ノ舍利別ナリ

(醫治効用)

健胃劑トシテ一茶匙宛ヲ用ヒ又ハ矯味劑トス

Species.

茶劑

茶劑ハ對截シ若クハ對截セサル植物性藥物數種ヲ混和シ或ハ之ニ他ノ藥物ヲ加ヘ稀ニハ他ノ藥物ノ溶液ヲ以テ濡ホシ後乾燥シ製シタルモノナリ

浸劑又ハ煎劑ニ用フル茶劑ニ在テハ植物性藥物ハ粗對截又ハ中對截トナシ振出ニ用フルモノニ在テハ細對截、卷法ニ用フルモノニ在テハ粗末トナスヘシ

Spirituosa medicata.

酒精劑

酒精劑ハ酒精ニ藥物ヲ溶解シ又ハ混和シ若クハ其混和物ヲ蒸餾シテ製シタルモノナリ

*O*Spiritus.

酒精

酒精ハ無色透明揮發性ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ微シ特異重透性ノ香氣ヲ有シ味灼クカ如ク點火スレハ淡藍色ノ火焰ヲ放テ燃燒ス比重〇・八三〇乃至〇・八三四ナリ

本品ハ百容量中九十一・二九乃至九十九〇九容量或ハ百分中八十七・三五乃至八十五・八〇分ノ純エチールアルコホル (C_2H_5O) ヲ含有ス

本品ハ異臭ヲ有セス又水ニ溷濁セスシテ混和スヘシ (一) 又本品十立方センチメートル (10 ccm) ニ同容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノニ硝酸銀溶液一立方センチメートル (1 ccm) ヲ和シ其混液ニ「アムモニア」水ヲ加ヘテ初メ生シタル沈澱ヲ溶解スルニ至リ暗處ニ放置スルニ五分時間以内ニ染色或ハ溷濁スヘカラス (二)

茶劑 酒精劑 酒精

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ「カリ鹼液〇・二立方センチメートル(0.2 ccm)ヲ加ヘ蒸散セシメテ約一立方センチメートル(1 ccm)トナルニ至リ稀硫酸ヲ以テ過飽スルニ「フーゼル油ノ臭氣ヲ發スヘカラス(三)本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ豫メ硫酸五立方センチメートル(5 ccm)ヲ容レタル試験管中ニ注意シテ注キ二液層トナシ永ク放置スルニ其接界ニ於テ蓄積紅色ノ輪帶ヲ生スヘカラス(四)本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ過マンガン酸カリウム溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘタルモノハ二十分時間以内ニ黄色ニ變スヘカラス(五)本品百立方センチメートル(100 ccm)ヲ一分時間ニ十滴以内溜出スル速度ヲ以テ徐々ニ蒸餾シテ得タル初縮液十立方センチメートル(100 ccm)中ヨリ其〇・一立方センチメートル(0.1 ccm)ヲ試験管ニ取り之ニ過マンガン酸カリウム溶液(1:100)五立方センチメートル(5 ccm)及硫酸〇・二立方センチメートル(0.2 ccm)ヲ加ヘ二乃至三分時間ノ後稀酸溶液(1:12)一立方センチメートル(1 ccm)ヲ以テ脱色シ試験管内ノ混液黄色ヲ呈スルニ至ラハ更ニ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘテ振盪シ全ク脱色シタル後之ニ「フクシン亞硫酸溶液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ加ヘ試験管ヲ栓塞シ輕ク搖動シタル後放置スルニ一時間以内ニ呈色セス或ハ呈色スルコトアルモ微ニ藍色ヲ帶フルニ過クヘカラス又前上初縮液殘餘ノ全部ヲ取り之ニ過マンガン酸カリウム溶液(1:100)二百五十立方センチメートル(250 ccm)及硫酸十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘテ振盪シ二乃至三分時間ノ後稀酸溶液(1:12)ヲ以テ脱色シ蒸餾スヘシ蒸餾中ハ時々縮液約五立方センチメートル(5 ccm)ヲ取り之ニ鹽酸フェニールヒドドラチン約〇・〇三グラム(0.03 g)ニトロボルシッドナトリウム溶液(1:40)四滴及ナトロン鹼液(1:10)一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加フルニ暗赤色ヲ呈セサルニ至ラハ受器ヲ換ヘ縮液ヲ採集シ之ニ炭酸カルチウム三グラム(3 g)ヲ加ヘテ更ニ蒸餾シ其縮液ニ過剩ノ「アムモニア水ヲ注キ八十度ヲ超エサル温ニ於テ蒸發シ濃厚トナシ其二滴ヲ物體硝子上ニ取り之ニ昇汞溶液一滴ヲ加ヘ顯微鏡下ニ檢スルニ三放線又ハ多放線狀ノ星狀結晶ヲ認ムヘカラス(六)

本品ハ硫化水素水(七)並アムモニア水(八)ニ由テ染色スヘカラス
本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ重湯煎上ニ揮散セシムルニ秤定シ得ヘキ殘留物ヲ遺スヘカラス(九)壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註解)

(一)臭氣ヲ有シ又ハ水ト混濁シテ混和スルトキハ「フーゼル油ヲ夾雜シ又ハ化學工業ノ目的ニ一度使用セラレ副産物トシテ得タル不純酒精ナル微(二)溜瀝スレハ已ニ「クロール交換體」製造ニ使用セラレタル不純品ナル微、染色スレハ「アルデヒド」又ハ「蟻酸」ヲ夾雜スル微 $\text{CH}_3\text{CHO} + 2\text{AgNO}_3 + 2\text{NH}_3 + \text{H}_2\text{O} = \text{Ag} + \text{CH}_3\text{COONH}_4 + 2\text{NH}_4\text{NO}_3$ (四)「蜂蜜」コリ製シタル不純品ナラサル微(五)「アルデヒド」又ハ「木精」ノ試験 $\text{C}_6\text{H}_5\text{CHO} + \text{H}_2\text{O}_2 + \text{KOH} = \text{C}_6\text{H}_5\text{OH} + \text{CaH}_2\text{O}_2$ (六)「メチールアルコール」ノ試験(七)金屬殊ニ銅、鉛ノ試験(八)「醱酸」其他「過錳酸質」ノ試験(九)不揮發性夾雜物ノ試験
(醫治効用) 内服ニハ興奮劑トシテ諸種ノ衰弱症、失神、虚脱等ニ用フ又解熱劑、催眠劑等トシテ用フルコトアリ外用ニハ挫傷、痲瘋、痲瘋、神經痛等ニ刺激性塗擦劑トス其他諸製劑ヲ製スルニ用フ

Spiritus aethereus. Tiquor Hoffmanni.

エーテル精 ホフマン液

エーテル精ハ

エーテル

酒精

一分(1)
三分(3)

ヲ取り混和シ製スヘシ
本品ハ無色澄明揮發性ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ微シ比重約〇・八〇五乃至〇・八〇九ナリ
本品一容量ニ醋酸カリウム溶液一容量ヲ和シテ振盪スルニ半容量ノ「エーテル液」ヲ分離スヘシ(一)

酒精 エーテル精

本品ヲ濾紙上ニ點滴シテ揮散セシムルニ異臭ヲ遺スヘカラス(二)
罇中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

(註) 解 (一)此試驗法タル酒精ハ醋酸カリウム溶液ト混和スルモ「エーテル」ハ然ラサルニ基ク而シテ本品ハ本試驗ニ於テ
半容量ノ「エーテル」液ヲ分離ス(二)本品ノ調製ニ「フェーセル」油ヲ含マサル酒精及純「エーテル」ヲ使用シタルヤ否ヤノ試驗
(醫治効用) エーテル」ニ同シク内服ニハ十一三十滴ヲ用ヒ外用ニハ吸入劑等トス

Spiritus Aetheris nitrosi.
亞硝酸エチール精 甘硝石精

亞硝酸エチール精ハ 三分(3)
硝酸 五分(5)

酒精 五分(5)
ヲ取り二液層トナシ二日間靜置ノ後重湯煎上ニ於テ蒸餾シ其餾液ヲ豫メ

ヲ盛リタル受器中ニ捕集スヘシ此際黃色蒸氣ヲ認ムルコトアラハ直チニ蒸餾ヲ停止スヘシ茲ニ得タル餾
液ニ煨製マグネシア「ヲ加ヘテ中和シ二十四時間ノ後更ニ重湯煎上ニ於テ最初ハ極メテ微温ヲ以テ蒸餾
シ其餾液ヲ 二分(2)
酒精 二分(2)

ヲ盛リタル受器中ニ捕集シ餾液ノ全量ヲ八分トナシ製スヘシ
本品ハ無色乃至微黃色澄明揮發性ノ液ニシテ佳快エーテル様ノ香氣ヲ有シ味微甘ニシテ灼クカ如ク水ニ
隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和シ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ徵ス比重〇・八四乃至〇・八五ナリ

本品ハ重湯煎ノ温ニ由テ全ク揮散シ固性物ヲ殘留スヘカラス(一)
本品五立方センチメートル(5 cm)ヲ直徑約二センチメートル(2 cm)ノ試験管ニ取り硫酸亞酸化鐵溶液十
五立方センチメートル(15 cm)ヲ和シ次ニ稀硫酸五立方センチメートル(5 cm)ヲ加ヘ密栓シテ振盪スル
ニ黒褐色ヲ呈セサルヘカラス(二)
本品十立方センチメートル(10 cm)ニ定規カリ液〇・二立方センチメートル(0.2 cm)ヲ加フルニ酸性ノ反
應ヲ徵スヘカラス(三)
罇中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註) 解 (一)不揮發性夾雜物ノ試験(二)亞硝酸エチールエステルノ實性反應ニシテ其量二%以上タルコトヲ示ス $2C_2H_5NO_2$
 $+ 2FeSO_4 + 2H_2SO_4 = Fe_2(SO_4)_3 + (C_2H_5)_2SO_4 + 2NO$ 茲ニ生シタル酸化窒素ハ過剩ノ硫酸亞酸化鐵ニ逢フテ黑色ノ化合物ヲ生ス
(三)僅微以上遊離酸類(硝酸、亞硝酸、醋酸)ヲ夾雜セサル微
(醫治効用) 興奮劑、利尿劑ニシテ一日數回十一三十滴ヲ砂精ニ混シ用ヒ又ハ合劑ニ配伍ス其他矯味劑トシテ用フ

Spiritus Ammoniae aromaticus.
芳香アムモニア精

芳香アムモニア精ハ 四十分 (40)
炭酸アムモニウム 百分 (100)
アムモニア水 八分 (8)
枸橼油 一分 (1)
丁香油 一分 (1)
ラベンデル油 一分 (1)

亞硝酸エチール精 芳香アムモニア精

酒精

蒸餾水

六百五十分 (650)
二百分 (200)

ヲ取リ先ツ蒸餾水ニ「アムモニア水ヲ和シ之ニ炭酸アムモニウム」ヲ溶解シ別ニ揮發油類ヲ酒精ニ溶解シ此兩液ヲ混和シ濾過シ製スヘシ
本品ハ微黄色或ハ黄色澄明ノ液ニシテ百分中約二分ノ純アムモニア(NH₃ || 17.03)ヲ含有シ芳香及アムモニア臭ヲ有ス

壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

(醫治効用)

驅風、興奮、祛痰ノ目的ニ一回十五—二十滴ヲ用ヒ又ハ刺激性誘導劑トシテ痲痺質斯性疼痛ニ塗布ス

Spiritus Ammoniae foeniculatus.

アムモニア茴香精

アムモニア茴香精ハ

茴香油

三分 (3)

ヲ取リ

酒精

八十分 (80)

ニ溶解シ之ニ

アムモニア水

十七分 (17)

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ微黄色或ハ黄色澄明ノ液ニシテ百分中約一七分ノ純アムモニア(NH₃ || 17.03)ヲ含有ス壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

(醫治効用)

祛痰劑ニ配伍ス

興奮、祛痰劑ニシテ濕潤略痰アル氣管枝加答兒(小兒ニハ二—五滴)ヲ用ヒ又ハ他ノ

Spiritus aromaticus.

芳香精

芳香精ハ

丁香

十五分 (15)

桂皮

十五分 (15)

肉豆蔻

三十分 (30)

小豆蔻

三十分 (30)

ヲ取リ搗碎シ蒸餾器中ニ容レ之ニ

酒精

八百分 (800)

枸橼油

一分 (1)

薄荷油

二分 (2)

常水

千二百分 (1200)

ヲ注キ約千分ヲ縮取シ製スヘシ

本品ハ澄明ノ液ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用)

祛痰劑トス

Spiritus camphoratus.
樟腦精 カムフル丁幾

樟腦精ハ
精製樟腦

一分(一)

ヲ取リ

七分(二)

ニ溶解シ

蒸餾水

二分(三)

ヲ加ヘ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ニシテ比重〇・八八五乃至〇・八八九ナリ

本品十グラム(10g)ニ常温ニ於テ漸次ニ水ヲ加ヘ復タ溶解セサル樟腦ヲ析出スルニ至ルニハ其四六乃至五三立方センチメートル(4.6-5.3ccm)ヲ費ササルヘカラス(一)

壇中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(註) 解 (一)樟腦及酒精量正當ナル微即チ水ノ消費量四・六ヨリ少クシテハ酒精少ク五・三ヨリ多クシテハ樟腦量少シ
(醫治効用) 内服ニハ興奮劑トシテ十一二十滴ヲ用ヒ外用ニハ麻痺、痲痺、痲質斯性疼痛、神經痛、凍瘡等ニ塗擦ス

Spiritus Chloroformii.

クロロフォルム精

クロロフォルム精ハ
クロロフォルム

一分(一)

十九分(19)

酒精

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ニシテ比重約〇・八五七ナリ

壇中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用)

鎮痲劑トシテ一回三十一四十滴(反覆投與スルトキハ五―二十滴)ヲ用フ其他局處麻酔性塗擦劑トナス

Spiritus Cinnamomi.

桂皮精

桂皮精ハ

桂皮油

一分(一)

四十九分(49)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明ノ液ナリ

壇中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用)

矯味劑トス

Spiritus Citri.

枸櫞精

枸櫞精ハ

枸櫞油

一分(一)

クロロフォルム精

桂皮精

枸櫞精

枸橼精 稀酒精

九分(9)

五二〇

酒精

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ナリ

罨中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用) 芳香性矯味、矯臭劑トス

Spiritus dilutus.
稀酒精

稀酒精ハ

酒精

・蒸餾水

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ニシテ百分中六十乃至六十一分ノ純アルコホル($C_2H_5O = 46.06$)ヲ含有ス比重〇・八九六乃至〇・八九三ナリ

本品ノ試験ハ酒精ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ
罨中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用) 酒精ノ條ヲ參照スヘシ

七分(7)
三分(3)

Spiritus Foeniculi.

茴香精

茴香精ハ

酒精

ヲ取り混和シテ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ナリ

罨中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用) 矯味劑トス

一分(1)
十九分(19)

Spiritus Lavandulae.

ラヘンデル精

ラヘンデル精ハ

ラヘンデル油

酒精

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ナリ

罨中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用) 主トシテ芳香性刺激塗擦劑、洗滌劑ニ供ス

三分(3)
九十七分(97)

茴香精 二五二〇

五二〇

薄荷精 迷迭香精

五二二

Spiritus Menthae.

薄荷精

薄荷精ハ

薄荷油

酒精

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ナリ

罇中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用)

興奮、驅風ノ目的ニ一日數回〇・五—一・五(十一—三十滴)ヲ單味ニ又ハ他藥ニ配伍シテ用フ

一分(1)

九分(9)

Spiritus Rosmarini.

迷迭香精

迷迭香精ハ

迷迭香油

酒精

ヲ取り混和シ製スヘシ

本品ハ殆ト無色ノ澄明液ニシテ比重〇・八三八乃至〇・八四〇ナリ

罇中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

(醫治効用)

芳香性塗擦劑、洗滌劑トス

一分(1)

九分(9)

Spiritus saponatus.

石鹼精

石鹼精ハ

オレーフ油

カリ鹼液

酒精

ヲ取り硝子罇ニ容レ栓塞シ屢、振盪シ透明ノ石鹼膠トナルニ至リ其一部分ニ水或ハ酒精ヲ和スルニ澄明

ノ液ヲ得ルヲ度トシ之ニ

酒精

蒸餾水

ヲ和シ濾過シ製スヘシ

本品ハ黄色澄明ノ液ニシテ「アルカリ性」ノ反應ヲ徵ス比重〇・九二五乃至〇・九三五ナリ

本品ニ水ヲ和シテ振盪スルニ甚シク泡沫ヲ生スヘシ

(醫治効用)

皮膚刺激劑トシテ皮膚疾患例之ハ鱗癬ニ塗擦シ又洗滌劑トス

二十二分(22)

十七分(17)

Spiritus Sinapis.

芥子精

芥子精ハ

揮發芥子油

酒精

一分(1)

四十九分(49)

石鹼精 芥子精

五二三

ヲ取り混和シ製スヘシ
 本品ハ無色澄明揮發芥子油ノ臭氣ヲ有スル液ニシテ比重〇・八三三乃至〇・八三七ナリ
 本品五立方センチメートル(5 cc)ヲ内容百立方センチメートル(100 cc)ノ測容硝子壺ニ取り之ニ十分定規硝酸銀液三十立方センチメートル(30 cc)及アマモニア水五立方センチメートル(5 cc)ヲ注加シ還流冷却器ヲ附シテ重湯煎中ニ一時間熱シ放冷シタル後水ヲ加ヘテ百立方センチメートル(100 cc)トナシ濾過シテ得タル澄明液五十立方センチメートル(50 cc)ニ硝酸六立方センチメートル(6 cc)及硫酸酸化鐵アマモニウム溶液一立方センチメートル(1 cc)ヲ和シ十分定規硫チアンアマモニウム液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト七・三立方センチメートル(7.3 cc)ニ過クヘカラス(一)

〔註〕

(一)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三
 (二)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三
 (三)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三
 (四)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三
 (五)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三

〔醫治効用〕

皮膚引赤ノ目的ヲ以テ塗擦劑トナス

Stibio-Kalium tartaricum.

吐酒石



吐酒石ハ細小透映ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ氣中ニ於テ漸次ニ風化シ十七分ノ水並三分ノ熱湯ニ溶解シ弱酸性ノ反應ヲ徴シ酒精ニ殆ト溶解セス
 本品ハ百分中九十九七分以上ノ純吐酒石ヲ含有ス

本品ヲ熾灼スレハ砂糖ヲ燒クカ如キ臭氣ヲ放チ終ニ「アルカリ性」ノ物質ヲ殘留ス又本品ノ水溶液ハ石灰水ニ由テ醋酸ニ容易ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生シ又鹽酸ヲ以テ酸性トナシタル後硫化水素水ニ由テ橙赤色ノ沈澱ヲ生ス(一)
 本品ノ粉末一グラム(1 g)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 cc)ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス(二)
 本品ノ水溶液(1:100)ニ少量ノ酒石酸ヲ和シタルモノハ硝酸バリウム溶液、硝酸銀溶液又植酸アマモニウム溶液ニ由テ濁濁セス(三)又黄色血濁鹽溶液ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス(四)

本品及酒石酸各〇・二グラム(0.2 g)ヲ水百立方センチメートル(100 cc)ニ溶解シ之ニ重碳酸ナトリウム二グラム(2 g)及一二滴ノ澱粉溶液ヲ和シテ後十分定規ヨード液ヲ滴加シテ藍色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト十二立方センチメートル(12 cc)ナラサルヘカラス(五)

注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 〇・一グラム(0.1 g)
- 一日ノ極量 〇・三グラム(0.3 g)

〔註〕

(一)質性反應 $2[C_2H_3O_6(SbO)K] + Ca(OH)_2 = [C_2H_3O_6(SbO)_2Ca + 2KOH] + 2H_2S = 2H_2S + 2K_2SbCl_7 \cdot H_2O + H_2O = 664.72$
 (二)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三
 (三)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三
 (四)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三
 (五)本定量ニヨレハ本品二・五立方センチメートル中硫チアンアルリール即チ「アルリール芥子油」ノ含量ハ〇・〇三

〔醫治効用〕

強壯者ニ吐劑トシテ毎十乃至十五分時〇・〇二〇〇五ヲ溶液又ハ散劑トナシ奏効アル迄持續連用ス氣管枝加管兒、肺炎等ニ祛痰劑トシテ一日數回〇・〇〇五―〇・〇一ヲ用ヒ其他發汗劑トス外用ニハ誘導劑トシテ用フ

金硫黃

$Sb_2S_5 = 400.7$

金硫黃ハ赤褐色細緻ノ粉末ニシテ殆ト臭味ナク水並酒精ニ殆ト溶解セス
本品ヲ硝子管中ニ熱スレハ硫黃ヲ昇華シテ黑色ノ物質ヲ殘留ス(一)

本品〇・一グラム(0.1g)ニ「アムモニア水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ和シテ温ムレハ殆ト全ク溶解スヘシ(二)

本品〇・一グラム(0.1g)ニ強硝酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘテ蒸發乾涸シタルモノハ之ニ鹽酸四立方センチメートル(4 ccm)ヲ加ヘテ濾過シタル後二倍容量ノ亞クロール錫溶液ニ由テ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス(三)

本品一グラム(1g)ニ水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ中性ニシテ(四)硝酸銀溶液ニ由テ褐色ニ變セス(五)微ニ蛋白濁ヲ起スニ過キス(六)又硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ濁濁スヘカラス(七)

本品一グラム(1g)ニ酒石酸溶液(二〇)十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ハ之ニ鹽酸ヲ和シ硫化水素ヲ通スルニ微ニ濁濁スルニ過クヘカラス(八)
光ヲ遮リ貯フヘシ

(註)

解

(一)實性反應(二)硫黃、煉瓦石粉、酸化鐵等ノ試驗(三)硫化砒素ノ試驗(四)酸性ヲ呈スレハ分解ニヨリ亞硫酸、硫酸ヲ混有スル微(五)褐色ヲ呈スレハ硫化アルカリ又ハ次亞硫酸ヲ夾雜スル微(六)痕跡以上ヲコロル化物ノ試驗(七)痕跡以上硫酸又ハ硫酸鹽ノ試驗(八)酸化アンチモンノ試驗 $Sb_2O_3 + 3Cl_2H_2(SbO_3)_2 + H_2O$

(醫治効用)

内服ニハ呼吸器加答兒ニ祛痰劑トシテ一日數回〇・〇一—〇・一ヲ散劑、丸劑、錠劑トシテ用フ。

欠

欠

「エーテル、硫化炭素又ベンツォール」ニ僅ニ絮狀ノ物質ヲ遺シテ溶解ス
本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ十分以上ノ重量ヲ減失スヘカラス(一)
(註) 解 (一)一定量以上水分ノ試験
(醫治効用) 流動蘇合香ニ同シ

Succus Liquiritiae.

甘草羔

甘草羔ハ甘草ニ水ヲ和シテ煮沸シ壓漉シ其煎汁ヲ蒸發シテ得タル越幾斯ナリ
本品ハ光澤ヲ帶フル黑色ノ塊ニシテ破折面ハ貝殻様ヲナシ味甚タ甘シ
本品ヲ水ニ溶解スルニ百分ニ付キ四十分以上ノ殘滓ヲ遺スヘカラス(一)又顯微鏡ヲ以テ檢スルニ澱粉粒
ヲ見ルヘカラス(二)

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ八分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(三)

(註) 解 (一)礦物質、澱粉等ヲ夾雜セサル(二)澱粉ノ試験(三)灰分ノ試験
(醫治効用) 氣管枝加答兒、咳嗽等ニ緩和祛痰劑トシテ用フルコトアルモ多クハ賦形、矯味劑トナシ用フ

Sulfonalum.

スルフオナール

$C_7H_7O_2S_2 = 228.28$

スルフオナール(一)ハ無色稜柱狀ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ臭味ナク五百分ノ水、十五分ノ熱湯

甘草羔 スルフオナール

八十分ノ酒精、二分ノ熱酒精又百三十五分ノ「エーテル」ニ溶解シ中性ノ反應ヲ微シ百二十五乃至百二十六度ニ於テ熔融ス

本品ヲ木炭末ト共ニ試験管内ニ熱スレハ「メルカプタン」ノ臭氣ヲ放ツ(一)

本品一分ヲ熱湯五十分ニ溶解スルニ毫モ臭氣ヲ發スヘカラス(三)冷後濾過シテ得タル液ハ硝酸バリウム溶液並硝酸銀溶液ニ由テ變化スヘカラス(四)又此水溶液十立方センチメートル(10 ccm)ニ過マンガン酸カリウム溶液一滴ヲ和スルニ直チニ之ヲ脱色スヘカラス(五)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(六)

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 一グラム(1g)

一日ノ極量 三グラム(3g)

(註) 解 (I) $(\text{CH}_3)_2\text{CSO}_2 \cdot \text{C}_2\text{H}_5$ ナル構造ヲ有ス (II) 質性反應 $\text{C}_2\text{H}_5\text{O}_2\text{S} + \text{H}_2\text{O} + \text{C} = 2\text{C}_2\text{H}_5\text{SH} + \text{CH}_3\text{CO}_2\text{C}_2\text{H}_5$ (III) メルカプタン又ハ「メルカプトール」ノ試験(四) 硫酸並クロール化物ノ試験(五) メルカプトール其他有機性夾雜物ノ試験 $(\text{CH}_3)_2\text{CSO}_2 \cdot \text{C}_2\text{H}_5 + \text{H}_2\text{O} = (\text{CH}_3)_2\text{CSO}_2 \cdot \text{C}_2\text{H}_5 + \text{H}_2\text{O}$ (六) 無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用) 腦過勞ニ因スル神經性不眠症、熱性患者ノ夜中不安症等ニ對スル催眠劑トシテ常用セラレ一回〇・五—一〇・ナ散劑トナシ就寝前一時分間頓服セシメ一盞ノ湯又ハ温茶ヲ後飲セシム汗汗ニ〇・二五—一〇・五ヲ用フルコトアリ

Sulfur depuratum.

精製硫黄

S = 32.06

精製硫黄ハ

昇華硫黄

ヲ取リ之ニ

蒸餾水

アムモニア水

ノ混液ヲ加ヘテ研和シ屢、攪拌シテ二十四時間放置シ更ニ

蒸餾水

ヲ加ヘテ濾過シ尙蒸餾水ヲ以テ充分ニ洗滌シ三十度ヲ超エサル温ヲ與ヘテ乾燥シ篩過シ製スヘシ

本品ハ黄色乾燥微細ノ粉末ニシテ臭味ナク熱スレハ熔融シ燃燒スレハ藍色ノ火焰ヲ放チ亞硫酸ノ臭氣ヲ發ス(一)

本品ハ十分ノ「ナトロン」液ト共ニ煮沸スルニ殆ト全ク溶解スヘシ(二)又水ヲ以テ濡ホシタルモノハ試験紙ヲ變色スヘカラス(三)

本品一分ニ「アムモニア」水二十分ヲ加ヘ反覆振盪シツツ三十五乃至四十度ニ於テ一時間放置シ濾過シテ得タル液ハ鹽酸ヲ以テ酸性トナスニ黄色ヲ呈スヘカラス(四)之ニ硫化水素ヲ和スルモ亦然リ(五)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・二五分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(六)

(註) 解 (一) 質性反應(二) 陶土、砂石、硫酸カルチウム等ヲ夾雜スレハ全溶セス $5 + 6\text{NaOH} = 2\text{Na}_2\text{S} + \text{Na}_2\text{SO}_3 + 3\text{H}_2\text{O}$ (III) 酸ノ如キ遊離酸ノ試験(四) 硫化砒素ノ試験 $\text{As}_2\text{S}_3 + 6\text{NH}_3 + 3\text{H}_2\text{O} = (\text{NH}_4)_3\text{AsS}_3 + (\text{NH}_4)_3\text{AsO}_3$; $(\text{NH}_4)_3\text{AsS}_3 + (\text{NH}_4)_3\text{AsO}_3 + 6\text{HCl} = \text{As}_2\text{S}_3 + 6\text{NH}_4\text{Cl} + 6\text{H}_2\text{O}$ (五) 亞砒酸ノ試験 $2(\text{NH}_4)_3\text{AsO}_3 + 3\text{H}_2\text{S} + 6\text{HCl} = \text{As}_2\text{S}_3 + 6\text{NH}_4\text{Cl} + 6\text{H}_2\text{O}$ (六) 陶土、砂石、硫酸カルチウムノ如キ耐火性物質ノ試験

(醫治効用) 常習便秘及痔疾ニ緩下劑トシテ一日一回一〇—一五・〇ヲ散劑トナシ又萎黃病、鉛及水銀中毒ニ用フ外用ニハ「ワキ」軟膏(一五・五)トナシ疥癬、酒渣鼻、膿瘡等ニ用フ

精製硫黄

五三一

Sulfur praecipitatum.
沈降硫黃

S = 32.06

沈降硫黃ハ帶黃白色無晶形ノ極メテ微細ナル粉末ニシテ熱スレハ熔融シ燃燒スレハ藍色ノ火焰ヲ放チ亞硫酸ノ臭氣ヲ發ス水並酒精ニ溶解セス硫化炭素ニ容易ニ溶解シ又熱ナトロン瀉液ニ溶解ス本品一グラム(一〇)ニ四十乃至五十度ノ水十立方センチメートル(100 cm)ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ハ醋酸鉛溶液ニ由テ變化セス(一)又硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過スヘカラス(二)本品ノ水ヲ以テ濡ホシタルモノハ試験紙ヲ變色スヘカラス(三)又本品一分ニ二十分ノ「アムモニア水ヲ加ヘ反覆振盪シツツ三十五乃至四十度ノ温ニ於テ一時間放置シ濾過シテ得タル液ハ鹽酸ヲ以テ酸性トナスニ黄色ヲ呈スヘカラス(四)之ニ硫化水素水ヲ和スルモ亦然リ(五)本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・五分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(六)

(註) 解

(一) 硫化水素ノ試験 $Pb(CH_3COO)_2 + H_2S = PbS + 2CH_3CO_2H$ (二) 鹽酸ノ試験 (三) 硫酸ノ試験 (四) 硫化炭素ノ試験 (五) 亞硫酸ノ試験 (六) 陶土、砂石、硫酸カルチウム^{試料}ノ如キモノナ夾雜スレハ全溶セス (二) 陶土、砂石、硫酸カルチウム^{試料}ノ如キ耐火性^{試料}

(醫治効用)

緩下劑トシテハ精製硫黃ニ比スレハ其力較、強ク一〇—二〇ヲ用フ

Sulfur sublimatum.

昇華硫黃

昇華硫黃ハ黄色微細ノ粉末ニシテ熱スレハ熔融シ燃燒スレハ藍色ノ火焰ヲ放チ亞硫酸ノ臭氣ヲ發ス本品ハ「ナトロン瀉液」ト其ニ煮沸スルニ殆ト全ク溶解スヘシ(一)本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・二五分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(二)

(註) 解

質ノ試験

(醫治効用)

主トシテ外用ニ軟膏(T:3:10)トナシ皮膚病ニ用フ

Suppositoria.
坐劑

坐劑ハ通例圓柱形、圓錐形或ハ球圓形ノ製劑ナリ本劑ヲ製スルニハ藥物ヲ其儘或ハ溶液トナシ又ハ適宜ノ液體ニ研和シテ基礎藥ニ混和スヘシ基礎藥ハ特別ニ記載スルモノノ外カカオ脂ヲ用フヘシ毒藥劇藥或ハ固體ノ藥品ハ處方中之ヲ明記セザルトキハ其儘空筒坐劑ニ填充スヘカラス肛門坐劑ハ通例其長サ三乃至四センチメートル(3—4 cm)ニシテ二乃至三グラム(2—3 g)ノ重量ヲ有シ又肛門坐劑ハ通例四乃至六グラム(4—6 g)ノ重量ヲ有ス

Suppositoria Glycerini.

グリセリン坐劑

グリセリン坐劑ハ

グリセリン

炭酸ナトリウム

ステアリン酸

ヲ取リ先ツ炭酸ナトリウムヲ「グリセリン」ニ溶解シ「ステアリン酸」ヲ和シ注意シツツ熱シテ熔融セシメ炭

六十分 (60)

三分 (3)

五分 (5)

坐劑 グリセリン坐劑

五三三

酸ノ發生熄ムニ至リ製スヘシ
本品ハ一箇中約三グラム(3g)ノ「グリセリン」ヲ含有ス
(醫治効用) 便秘ニ用ヒ其他墮胎又早産誘致ノ目的ニ用フ

Suppositoria Opii.
阿片坐劑

阿片坐劑ハ
阿片
カカオ脂
ヲ取り先ツ阿片ヲ「カカオ脂」ノ一部分ト親密ニ研和シ之ニ自餘ノ「カカオ脂」ヲ熔融シテ混和シ製スヘシ
本品ハ一箇中約〇・〇三グラム(0.03g)ノ阿片ヲ含有ス
(醫治効用) 阿片ノ條ヲ參照スヘシ
適宜量
〇・二分(0.2)

Suppositoria Scopoliae.
莨菪坐劑

莨菪坐劑ハ
莨菪越幾斯
カカオ脂
ヲ取り阿片坐劑ノ條ニ掲ケタル方法ニ據リ製スヘシ
本品ハ一箇中約〇・〇五グラム(0.05g)ノ莨菪越幾斯ヲ含有ス
(醫治効用) 莨菪越幾斯ノ條ヲ參照スヘシ
〇・五分(0.5)
適宜量

Talcum.

滑石

滑石ハ細微ニ粉碎セル珪酸マグネシウム(一)ニシテ白色或ハ類白色ノ粉末ヲナシ之ヲ指間ニ磨スレハ脂
肪様ノ感覺ヲ有シ水並酒精ニ溶解セス(二)
(註) 解 (1) $3MgSiO_3 + H_2SiO_3$ ナル集成ヲ有ス(二)可溶性夾雜物ノ試験
(醫治効用) 濕爛、火傷、足汗症ニ撒布粉トナシ用フ

Talcum depuratum.

精製滑石

精製滑石ハ
滑石
熱湯
鹽酸
ヲ混和シ屢、攪拌シツツ十五分時間煮沸シタル後靜置スルコト十五分時間ニシテ其上清液ヲ傾瀉シ更ニ
常水
鹽酸
ヲ混和シ屢、攪拌シツツ十五分時間放置シタル後其上清液ヲ傾瀉シ次ニ蒸餾水ヲ以テ洗滌シ其濾液硝酸
銀溶液ニ由テ變化セサルニ至リ乾燥シ製スヘシ
本品ハ白色或ハ殆ト白色細微ノ粉末ニシテ臭味ナシ

本品五グラム(5g)ニ水五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ和シ五分時間煮沸シ濾過シテ得タル液ハ中性

ノ反應ヲ徴シ(一)其十立方センチメートル(10 ccm)ヲ蒸發シ百度ニ於テ乾燥スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス(二)又其十立方センチメートル(10 ccm)ハ鹽酸ヲ以テ酸性トナシタル後黃色血滴鹽溶液〇・五立方センチメートル(0.5 ccm)ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス(三)

本品ヲ熱灼スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ五分ニ過クヘカラス(四)

(註 解) (一)遊離酸ノ試験(二)可溶性物質ノ試験(三)鐵ノ試験(四)水分ノ試験

(醫治効用) 滑石ニ同シ又錠劑ノ調製ニ用フ

Tanninum acetylicum.

アセチールタンニン

アセチールタンニン(一)ハ類黃白色或ハ灰白色ノ粉末ニシテ殆ト臭味ナク水竝ニエーテルニ溶解シ難ク酒精、炭酸ナトリウム溶液又硼砂溶液ニ容易ニ溶解ス

本品ニ「アムモニア水ヲ和シ五分時間煮沸シ水ヲ以テ稀釋シタルモノハ過クロール鐵溶液ニ由テ藍黑色ノ沈澱ヲ生ス又本品ニ酒精及硫酸ヲ和シ温ムレハ醋酸エーテル」ノ香氣ヲ發ス(二)

本品〇・五グラム(0.5 g)ニ水五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル澄明ノ液ハ過クロール鐵溶液一滴ニ由テ微ニ類綠色ヲ呈スルモ藍色ヲ呈スヘカラス(三)

本品一分ヲ硝酸性ノ水二十分ト共ニ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硝酸銀溶液、硝酸バリウム溶液又硫化水素水ニ由テ變化スヘカラス(四)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・二分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(五)

(註 解) (一)別名タンニゲムニシテ「アセチール及トリアセチールタンニン」 $C_{14}H_{10}O_6$ 、 CO_2CH_3 及 $C_{14}H_{10}O_6$ 、 CO_2CH_3 ノ混

合物トス(二)實性反應(三)遊離タンニンノ試験(四)ロール、硫酸又金屬ノ試験(五)無機性夾雜物ノ試験
(醫治効用) 次硝酸普鉛ト同目的殊ニ小兒夏日下痢、慢性下痢ニ一日三回〇・二—〇・五ヲ散劑トナシ用フ

Tela Acidi borici.

硼酸ガーゼ

硼酸ガーゼハ

硼酸

グリセリン

ヲ取リ

熱蒸餾水

ニ溶解シ之ニ

精製ガーゼ

ヲ浸シ厭搾シ乾燥シ製スヘシ

本品ハ百分中約十分ノ硼酸ヲ含有ス

密閉シ貯フヘシ

(醫治効用)

外科的手術及創傷療法ニ用フ

十二分 (12)

六分 (6)

百十六分 (116)

百分 (100)

Tela depurata.

精製ガーゼ

精製ガーゼハ精良ノ綿絲ヲ以テ織成シタル白色純潔ノ紗布ナリ

硼酸ガーゼ 精製ガーゼ

本品ハ通例幅約三十センチメートル(30 cm)ニシテ其九百十八平方センチメートル(918 qcm)(1)ハ少ナクモ重量三グラム(3 g)ヲ有シ又其一平方センチメートル(1 qcm)ハ少ナクモ二十四條ヲ有セサルヘカラス
本品ニ「ヨード」溶液ヲ滴下スルニ藍色ヲ呈スヘカラス(11)
本品ノ其他ノ試験ハ精製綿ノ條ニ掲クル所ニ同シ

(註 解) (一)九百十八平方センチメートルハ一平方尺ニ該當ス(二)精製不十分ナルモノハ澱粉ノ反應ヲ呈ス
(醫治効用) 繃帯材料ニ供ス

Tela Hydrargyri bichlorati.

昇汞ガーゼ

昇汞ガーゼ^レハ

昇汞

クロールカリウム

二分 (2)
二分 (2)

ヲ取リ

千二百分 (1200)

蒸餾水

ニ溶解シ「スカレット」又ハ「フクシン」Sヲ以テ微ニ著色シ之ニ

千分 (1000)

精製ガーゼ

ヲ浸シ壓搾シ常溫ニ於テ乾燥シ製スヘシ
本品ハ百分中約〇・二分ノ昇汞ヲ含有ス
密閉シ光ヲ遮リ貯フヘシ

(醫治効用) 外科的手術及創傷療法ニ用フ

Tela jodoformata.

ヨードフォルムガーゼ

ヨードフォルムガーゼ^レハ

ヨードフォルム

五十五分 (55)

ヲ取リ

流動パラフィン

三分 (3)

酒精

四百分 (400)

エーテル

千分 (1000)

ニ溶解シ之ニ

精製ガーゼ

千分 (1000)

ヲ浸シ全質均等ノ黄色ヲ呈スルニ至リ常溫ニ於テ暗處ニ乾燥シ製スヘシ
本品ハ百分中約五分ノ「ヨードフォルム」ヲ含有ス
密閉シ光ヲ遮リ貯フヘシ

(醫治効用) 外科的手術及創傷療法ニ用フ

Tela salicylata.

サリチール酸ガーゼ

サリチール酸ガーゼ^レハ

サリチール酸

五十八分 (58)

ヲ取リ

ヨードフォルムガーゼ サリチール酸ガーゼ

サリチール酸ガーゼ

五四〇

グリセリン

百分 (100)

酒精

五百五十分 (550)

蒸餾水

五百五十分 (550)

ニ溶解シ之ニ

百分 (1000)

精製ガーゼ

ヲ浸シ壓搾シ常温ニ於テ乾燥シ製スヘシ

本品ハ百分中約五分ノ「サリチール酸」ヲ含有ス

密閉シ貯フヘシ

(醫治効用)

外科的手術及創傷療法ニ用フ

Terebinthina.

テレピンチーナ

Pinus 屬ノ諸種

テレピンチーナ(一)ハ本屬諸種植物ヨリ得タル「バルサム」ナリ

本品ハ類黄色或ハ淡褐色濃稠ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味苦ク百分中樹脂七十乃至八十五分及テレピン油十五乃至三十分ヲ含有ス

本品ハ通例結晶性ノ沈滓ヲ含有シ重湯煎上ニ熱スレハ溶解シテ帶黄褐色殆ト澄明ノ液トナリ冷却スレハ復タ濁濁ス(二)

(註)

解 (一)固形成分ハ「アピチン酸」又ハ「ヒマール酸」ニシテ流動成分ハ「テレピン油」トス(二)「アピチン酸」又ハ「ヒマール

本品一分ニ酒精五分ヲ和スレハ澄明ノ液ヲ生シ其液ハ水ヲ以テ濡ホセル藍色試験紙ヲ赤變ス(三)

酸ノ析出ニ由ル(三)遊離ハルツ酸類ノ存在ニ由ル

(醫治効用)

刺激作用ヲ有シ軟膏又ハ硬膏ニ添加ス

Terpinum hydratum.

抱水テルピン



抱水テルピンハ無色ノ光輝アル稜柱狀結晶ニシテ殆ト臭氣ナク味ハ微ニ芳香性ニシテ稍苦ク熱スレハ昇華シテ細鍼狀ノ結晶トナル百十六乃至百十七度ニ於テ熔融シ尋テ結晶水ヲ失ヒ其無水物ハ百二乃至百五度ニ於テ再ヒ熔融ス氣中ニ於テ熱スレハ光輝アル火焰ヲ放テ燃燒ス約二百五十分ノ水、三十二分ノ熱湯、十分ノ酒精、二分ノ熱酒精、百分ノ「エーテル」、二分ノ「クロロフォルム」又一分ノ熱水醋酸ニ溶解ス本品ハ硫酸ニ溶解シテ橙黄色ヲ呈ス又本品ノ熱湯溶液ニ二三滴ノ硫酸ヲ點加スレハ濁濁シ強キ芳香ヲ發ス(一)

本品ハ殆ト「テレピンチーナ」様ノ臭氣ヲ有スヘカラス(二)又其熱湯溶液ハ試験紙ヲ變色スヘカラス(三)

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ〇・二分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(四)

(註)

解 (一)實性反應(二)本品ノ「テレピンチーナ」様臭氣ヲ有スルモノハ其精製ニ「テレピン油」ヲ以テ變性シタル酒精ヲ用ヒタル微(三)變色スレハ遊離酸ヲ夾雜シ精製不充分ナル微(四)無機性夾雜物ノ試験

(醫治効用)

利尿劑トシテ慢性腎臟炎又ハ心臟瓣膜病ニ因スル水腫病ニ一日數回〇・一―〇・四ヲ丸劑、散劑、膠囊劑等トシテ用フ又祛痰劑トシテ氣管枝加答兒ニ〇・一ヲ、其他神經痛、百日咳ニ用フ

Theobromino-Natrium salicylicum.

サリチール酸ナトリウムテオブロミン

サリチール酸ナトリウムテオブロミン(一)ハ

テオブロミン

四十七三分(47.3)

サリチール酸ナトリウム

四十二一分(42.1)

苛性ナトロン

十六分(10.6)

ヲ取り之ヲ

蒸餾水

適宜量

ニ溶解シ蒸發乾燥シ製スヘシ

本品ハ白色無臭ノ粉末ニシテ甘鹹且稍。濃汁様ノ味ヲ有シ等分ノ水ニ溶解シ「アルカリ性」ノ反應ヲ徴ス

本品ノ水溶液(二)ハ殆ト無色ニシテ醋酸ヲ以テ酸性トナシタル後過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈シ

又鹽酸ヲ和スレバ「サリチール酸」並暫時ノ後テオブロミンノ白堊ヲ析出ス此沈澱ハ「ナトロン」濃液ニ溶

解シ「アムモニア」水ニ全溶セス(三)

本品一グラム(四)ヲ「ナトロン」濃液十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シテ得タル澄明ノ液ニ同容量ノ

「クロロフォルム」ヲ加ヘテ振盪シ其クロロフォルム液ヲ分取シ重湯煎上ニ蒸發シ百度ニ於テ乾燥スルニ其

殘留物ハ〇〇〇五グラム(0.005 g)ヲ超ユヘカラス(五)

本品〇・一グラム(0.1 g)ヲ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ニ溶解スルニ泡沸セス其溶液ハ全ク或ハ殆ト

染色スヘカラス(四)

本品ノ水溶液(一)ニ稀硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシ濾過シテ得タル澄明ノ液ハ硝酸バリウム溶液並硝酸銀

溶液ニ由テ僅微ノ濁濁ヲ起スニ過クヘカラス(五)

本品二グラム(2 g)ヲ盜皿ニ取り水十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解シ之ニ五立方
センチメートル(5 ccm)或ハ必要量ノ定規鹽酸ヲ加ヘテ藍色試験紙ヲ微ニ赤變スルニ至リ十倍ノ水ヲ以テ
稀釋シタル「アムモニア」水一滴ヲ和シテ得タル極メテ弱キ「アルカリ性」ノ混液ヲ善ク攪拌シツツ十五乃至
二十度ニ於テ三時間放置シ茲ニ生シタル沈澱ヲ豫メ百度ニ於テ乾燥シ秤量セル直徑約八センチメートル
(8 cm)ノ濾紙上ニ集メ二回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ水ヲ以テ洗滌シ百度ニ於テ乾燥スルニ其
重量少ナクモ〇・八グラム(0.8 g)ナラサルヘカラス(六)此沈澱〇・一グラム(0.1 g)ヲ「クロール」水十立方センチ
メートル(10 ccm)ニ溶解シ重湯煎上ニ速ニ蒸發シテ得タル殘留物ハ帶黃赤色ヲ有シ之ニ少量ノ「アムモニ
ア」水ヲ和スルニ美麗ナル紫赤色ヲ呈セサルヘカラス(七)

本品ヲ百度ニ於テ一時間乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ十分ニ過クヘカラス(八)

壺中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 一グラム(1 g)

一日ノ極量 三グラム(3 g)

(註)

解 (一)別名チウレチン「ニテ」テオブロミンナトリウム「ト」サリチール酸ナトリウム「ト」ノ複鹽 $C_7H_5Na_2O_2C_6H_4$

$(OH)COONa$ ヨリ成ル (II)實性反應 $C_7H_5N_2Na_2O_2C_6H_4(OH)COONa + 2HCl = C_7H_5N_2O_2 + C_6H_4(OH)COOH + 2NaCl$; $C_7H_5N_2O$

$+ C_6H_4(OH)COOH + 2NaOH = C_7H_5N_2Na_2O_2 + C_6H_4(OH)COONa + 2H_2O$ (III) カフエイン「ト」テオブロミン「ヨリ」モ「クロロ」フォルム

ニ溶解シ易キヲ以テ若シ殘留物〇・〇〇五ヨリ多キハ「カフエイン」ヲ夾雜スル微(四)炭酸ナトリウム並有機性夾雜物ヲ試

驗(五)痕跡以上硫酸並鹽酸ノ試験(六)テオブロミン「ノ」最少含量四十六・五%ニ該當ス而シテ鹽酸ヲ微酸性マテ加フレハ先ヅ「サリ

チール」酸ヲ再溶スルニ「ア」 $C_7H_5N_2Na_2O_2C_6H_4(OH)COONa + HCl = C_7H_5N_2O_2 + C_6H_4(OH)COONa + NaCl$; $C_6H_4(OH)COOH +$

$NH_3 = C_6H_4(OH)COONH_4$ 本試験ニ於テ「テオブロミン」ノ少量ヲ溶解シ其量約〇・一三グラム「ト」ス故ニ $0.8 + 0.13 = 0.93$ 從テ

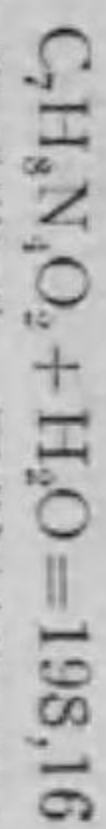
95%「ト」ス(七)テオブロミン「ノ」實性反應即チ「ムレキシード」反應(八)水分ノ試験

(醫治効用)

最も良好ナル利尿劑ニシテ一日數回〇・五—一・〇ヲ用フ

Theophyllinum.

テオフィルリン



テオフィルリン (I)ハ無色無臭ノ細鍼狀結晶ニシテ水並酒精ニ僅微ニ、熱湯並熱酒精ニ容易ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵ス熔融點二百六十四乃至二百六十五度ナリ

本品ハ「アムモニア水一分及水九分ノ混液ニ染色セスシテ容易ニ溶解シ其溶液ハ硝酸銀溶液ニ由テ凝膠狀ノ沈澱ヲ生シ之ニ過剩ノ硝酸ヲ追加スレハ復タ溶解ス(II)

本品〇・一グラム(0.1g)ヲ「クロール水十立方センチメートル(10cm)ニ溶解シ重湯煎上ニ蒸發シテ得タル殘留物ハ黃赤色ヲ有シ之ニ少量ノ「アムモニア水ヲ和スレハ紫紅色ヲ呈ス(III)

本品ノ冷飽和水溶液ハ「ブローム水並ヨード溶液ニ由テ變化セス「タンニン酸溶液ニ由テ沈澱ヲ生シ其過剩ニ復タ溶解スヘシ(IV)

本品〇・一グラム(0.1g)ハ硫酸一立方センチメートル(1cm)並硝酸一立方センチメートル(1cm)ニ染色セスシテ溶解スヘシ(V)

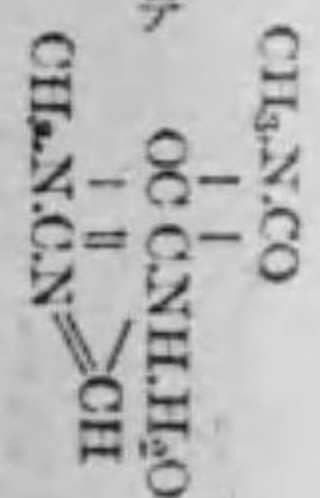
本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ九・一分ニ過クヘカラス之ヲ熱灼スルニ炭化セスシテ燃化シ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(六)

注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 〇・五グラム(0.5g)
- 一日ノ極量 一・五グラム(1.5g)

(註) 解

(I)「ナメチールキサンチン」ニシテ



ナル構造ヲ有ス(II) (III)及(IV)實性反應(五)アルカロイド

ノ試驗(六)水分及無機性夾雜物ノ試驗

(醫治効用)

利尿劑ニシテ用量ハ一回〇・一—一・〇ハ以内トス

Thymolum.

チモール



チモール (I)ハ無色透明著大ノ結晶ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味微ニ灼クカ如シ五十乃至五十一度ニ於テ熔融シ重湯煎上ニ於テ全ク揮散ス水中ニ投スレハ沈降シ之ヲ熱スレハ熔融シテ無色澄明油狀ノ液トナリ水面ニ浮游ス水ニ僅微ニ、酒精、エーテル、クロロフォルム又二分ノ「ナトロン液」ニ容易ニ溶解シ等分ノ樟腦、薄荷腦或ハ抱水クロール「ト研和スレハ液化ス

本品一分ヲ硫酸四分ニ溶解シ微温ヲ與フレハ血赤色ヲ呈シ又本品ノ結晶一碎片ヲ取リ氷醋酸一立方センチメートル(1cm)ニ溶解シ硫酸六滴ヲ和シ更ニ硝酸一滴ヲ點加スレハ藍綠色ヲ呈ス(II)

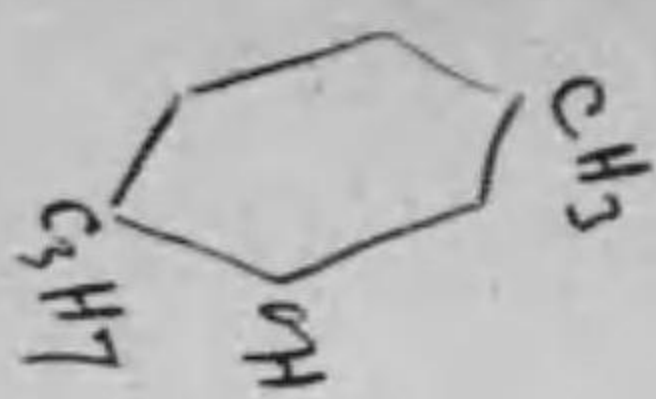
本品ノ飽和水溶液ハ中性ノ反應ヲ徵シ之ニ「ブローム水ヲ和スレハ乳狀ノ混濁ヲ生スルニ止マリ結晶性ノ沈澱ヲ生セス又過クローレル鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈スヘカラス(III)

本品一グラム(1g)ニ「ナトロン液五立方センチメートル(5cm)ヲ加ヘテ溶解スルニ無色澄明ノ液トナリ著色スルコトアルモ僅微ニ過クヘカラス(IV)

本品ヲ重湯煎上ニ熱スルニ百分ニ付キ〇・一分以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス(V)

(註) 解

(I) $C_{10}H_{16}O$ ナル構造ヲ有ス(II) 實性反應(III) 石炭酸ノ試驗(IV) 本品ノ特徵ニシテ不明ノ夾雜物ノ



(醫治効用)

試験(五)無機性夾雜物又ハ有機性夾雜物(結晶砂糖、パラフィン、蠟燭ノ類)ノ試験
腐敗、醗酵ヲ制止スル作用ヲ有シ内服ニハ胃異常醗酵ニ一日數回〇・〇五―〇・一ヲ丸劑、散劑等トナシ又十二指腸
蟲、蟻蟲ニ二・〇―四・〇(オプアトールニ包ミ)ヲ用フ外用ニハ水溶液(1:100)ヲ腐敗性潰瘍ノ防腐防臭劑トシ又痒疹、濕疹等ニ塗
布シ其他含嗽水、膀胱注射、洗滌劑等トナス

Tincturae.

丁幾劑

丁幾劑ハ通例藥物ヲ酒精、稀酒精若クハ水ヲ以テ浸出シ製シタルモノナリ
本劑ヲ製スルニハ特別ニ記載スルモノノ外粗末若クハ細剉截ノ藥物ヲ適當ノ器中ニ容レ浸出藥ヲ注キ密
閉シ陰處ニ於テ屢、振盪シツツ七日間冷浸シ濾過シ必要アラハ壓漉シ漉液ヲ陰處ニ靜置シ滲漉ノ沈底ス
ルヲ俟テ浸出液ノ蒸散ヲ防キ濾過シ製スヘシ
本劑ハ冷陰處ニ貯フヘシ

Tinctura Aconiti Napelli.

アコニット丁幾

アコニット丁幾ハ

アコニット根粗末

稀酒精

ヲ取リ製スヘシ

一分(1)
十分(10)

本品ハ黃褐色ノ液ニシテ味初メ微ニ苦ク後辛辣ニシテ灼クカ如シ

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量

〇・五グラム(0.5g)

一日ノ極量

一・五グラム(1.5g)

(醫治効用)

鎮痛劑ニシテ内服ニハ神經痛、痲痺質斯等ニ一日數回二十滴ヲ用ヒ外用ニハ塗擦劑ニ供ス

Tinctura Aloës composita.

複方蘆薈丁幾

複方蘆薈丁幾ハ

蘆薈粗末

大黃粗末

龍膽粗末

菝葜粗末

サフラン

稀酒精

ヲ取リ製スヘシ

本品ハ赤褐色芳香性ノ液ニシテ味甚タ苦シ

本品一立方センチメートル(1 cm)ハ水五百立方センチメートル(500 cm)ヲ著明ニ黃染ス

(醫治効用)

健胃劑トシテ一日二三回半乃至一茶匙ヲ用フ

六分(6)
一分(1)
一分(1)
一分(1)
一分(1)
一分(1)
二分(200)

苦味丁幾 芳香丁幾

*O*Tinctura amara.

苦味丁幾

- 苦味丁幾ハ
- 橙皮粗末 五分(5)
- 龍膽粗末 五分(5)
- 小豆蔻粗末 二分(2)
- 稀酒精 百分(100)

ヲ取リ製スヘシ

本品ハ黄褐色芳香性ノ液ニシテ味苦シ

(醫治効用)

苦味健胃劑ニシテ一日數回十一六十滴ヲ用フ

*T*inctura aromatica.

芳香丁幾

- 芳香丁幾ハ
- 丁香粗末 二分(2)
- 桂皮粗末 十分(10)
- 小豆蔻粗末 二分(2)
- 生薑粗末 五分(5)
- 稀酒精 百分(100)

ヲ取リ七日間冷浸シ壓搾シ濾過シ其濾液ニ

枸櫞精

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ赤褐色ノ液ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス

(醫治効用)

芳香性健胃劑ニシテ一日數回二十—六十滴ヲ用フ

五分(5)

*T*inctura aromatica acida.

酸性芳香丁幾

芳香硫酸

- 酸性芳香丁幾ハ
- 稀酒精 十八分(18)
- ヲ取リ攪拌シツツ徐々ニ
- 硫酸 二分(2)
- ヲ注加シ之ニ
- 桂皮粗末 一分(1)
- 生薑粗末 一分(1)
- ヲ和シ製スヘシ

本品ハ褐赤色芳香性ノ液ニシテ強キ酸味ヲ有ス
壇中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

(醫治効用)

健胃矯味劑トス

芳香丁幾 酸性芳香丁幾

阿魏丁幾 橙皮丁幾

五五〇

Tinctura Asae foetidae.

阿魏丁幾

阿魏粗末

酒精

ヲ取り製スヘシ

一分(1)
五分(5)

本品ハ帶赤黃色乃至帶黃褐色ノ液ナリ

(醫治効用)

歇斯的里ニ一日數回二十—六十滴ヲ用フ

Tinctura Aurantii Corticis.

橙皮丁幾

橙皮粗末

稀酒精

ヲ取り製スヘシ

一分(1)
五分(5)

本品ハ類褐色ノ液ナリ

(醫治効用)

健胃劑ニシテ一日數回二十—六十滴ヲ用フ

Tinctura Benzoes.

安息香丁幾

安息香粗末

酒精

ヲ取り製スヘシ

一分(1)
五分(5)

本品ハ帶黃赤褐色ノ液ニシテ之ニ水ヲ和スレハ乳濁シ酸性ノ反應ヲ徴ス

(醫治効用)

軟膏類ノ矯臭劑トス

Tinctura Cannabis indicae.

印度大麻丁幾

印度大麻丁幾ハ

印度大麻越幾斯

酒精

ヲ取り溶解シ濾過シ製スヘシ

一分(1)
二十分(20)

本品ハ暗綠色ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ味稍苦シ

(醫治効用)

催眠、鎮靜劑トシテ一日數回五十—十滴ヲ用フ

安息香丁幾 印度大麻丁幾

五五〇

カンタリス丁幾 蕃椒丁幾

五五二

Tinctura Cantharidum.

カンタリス丁幾

カンタリス粗末

酒精

ヲ取り製スヘシ

本品ハ黄褐色ノ液ニシテ之ニ同容量ノ水ヲ和スレハ乳濁ス

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量

一日ノ極量

〇・ニグラム(0.2g)

〇・六グラム(0.6g)

(醫治効用)

内服ニハ膀胱痙攣、勃起不能等ニ一日數回二十―五十滴ヲ用フルコトアルモ主ニ外用ニ皮膚刺激性塗擦劑ニ供ス

一分(1)

十分(10)

Tinctura Capsici.

蕃椒丁幾

中剉截蕃椒

酒精

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶赤黄色ノ液ニシテ味灼クカ如ク辛烈ナリ

(醫治効用)

主トシテ痲方クローフォルムモルヒネ丁幾ヲ製スルニ用フ

一分(1)

十分(10)

Tinctura Cascariillae.

カスカリラ丁幾

カスカリラ皮粗末

稀酒精

ヲ取り製スヘシ

本品ハ赤褐色ノ液ニシテ味甚々苦シ

(醫治効用)

健胃劑トシテ一日數回二十―六十滴ヲ用フ

一分(1)

五分(5)

Tinctura Catsehu.

阿仙藥丁幾

阿仙藥粗末

稀酒精

ヲ取り製スヘシ

本品ハ暗褐色ノ液ニシテ味收斂性ナリ

本品五滴ヲ水十立方センチメートル(10ccm)ニ和シ之ニ過クロール鐵溶液五滴ヲ加フレハ綠黑色ヲ呈ス

(醫治効用)

内服ニハ慢性下痢ニ一日數回二十―六十滴ヲ用ヒ外用ニハ收斂性塗布劑又ハ含嗽劑ニ供ス

一分(1)

五分(5)

カスカリラ丁幾 阿仙藥丁幾

五五三

Tinctura Chinae.

キナ丁幾

- キナ丁幾ハ 一分(一)
- キナ皮粗末 五分(二)
- 稀酒精

ヲ取リ十日間冷浸シ壓搾シ製スヘシ

本品ハ赤褐色ノ液ニシテ強苦味ヲ有ス

本品五十グラム(50g)ヲ取リ蒸發シテ約十五立方センチメートル(15cc)トナシ之ニ酒精三立方センチメートル(3cc)及稀鹽酸一立方センチメートル(1cc)ヲ和シ「エーテル八十立方センチメートル(80cc)」及クロロフォルム二十立方センチメートル(20cc)ヲ加ヘテ振盪シ次ニ「ナトロン溶液二立方センチメートル(2cc)」ヲ和シ十分時間屢強ク振盪シ更ニ「トラガント末三グラム(3g)」ヲ加ヘ復タ劇シク振盪シ五分時間靜置シタル後澄明ノ「クロロフォルムエーテル液ヲ精製綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液八十立方センチメートル(80cc)」ヲ蒸餾シテ「クロロフォルム」ヲ去リ殘渣二十立方センチメートル(20cc)ノ純アルコホルヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ水十立方センチメートル(10cc)及三滴ノ「ヘマトキシリン溶液ヲ和シ搖動シツツ十分定規鹽酸ヲ滴加シ赤褐色ノ混液ヲ生スルニ至リ更ニ水五十立方センチメートル(50cc)ヲ加ヘ復タ十分定規鹽酸ヲ滴加シテ下層ノ水液黄色ヲ呈スルニハ少ナクモ其十一立方センチメートル(11cc)ヲ費ササルヘカラス(II)又此中和液二立方センチメートル(2cc)ニ水八立方センチメートル(8cc)及クロール水一立方センチメートル(1cc)ヲ和シ之ニ「アムモニア水ヲ加フルニ美麗ナル綠色ヲ呈セサルヘカラス(III)」

(註) 解 (一)本品四十グラム(40g)ニ相當ス(二)十分定規鹽酸一立方センチメートル(1cc)ハ「キナアルカロイド」〇・〇三〇九三グラ

本品中キナアルカロイドノ最少含量〇・八五〇ニ該當ス(キナ酸幾斯參照(二)ニアルライオセン反應)

健胃強壯劑トシテ一日數回二十滴乃至一食匙ヲ用フ

醫治効用

Tinctura Chinae composita.

複方キナ丁幾

- 複方キナ丁幾ハ 六分(6)
- キナ皮粗末 二分(2)
- 橙皮粗末 二分(2)
- 龍膽粗末 一分(1)
- 桂皮粗末 一分(1)
- 稀酒精 五十分(50)

ヲ取リ製スヘシ

本品ハ赤褐色ノ液ニシテ芳香ヲ有シ味甚タ苦シ

醫治効用

キナ丁幾ニ同シ

Tinctura Chloroformii et Morphini composita.

複方クロロフォルムモルヒネ丁幾

- 複方クロロフォルムモルヒネ丁幾ハ 十分(10)
- 鹽酸モルヒネ

ヲ取リ

複方キナ丁幾 複方クロロフォルムモルヒネ丁幾

複方クロロフォルムモルヒネ丁幾 桂皮丁幾

五五六

稀青酸 五十分 (30)
 ニ溶解シ之ニ
 クロロフォルム 百十二分 (120)
 印度大麻丁幾 八十四分 (84)
 蕃椒丁幾 十五分 (10.5)
 薄荷油 一・四分 (1.4)
 グリセリン 三百一十分 (311)
 酒精 四百二十五分 (425)

混和シ製スヘシ
 本品ハ帶綠黃褐色ノ液ナリ
 注意シテ貯フヘシ

(醫治効用)

内服ニハ「モルヒネ」ト同一ノ場合ニ五―十五滴ヲ用ヒ外用ニハ痲瘋實斯性神經性疼痛局部ニ塗布ス

Tinctura Cinnamomi.

桂皮丁幾

桂皮丁幾ハ 一分(1)
 桂皮粗末 五分(5)
 稀酒精
 ヲ取り製スヘシ
 本品ハ赤褐色ノ液ナリ

(醫治効用)

健胃劑又ハ止血劑(子宮出血ニ)トシテ一日數回二十―六十滴ヲ用フ

Tinctura Colchici.

コルヒクム丁幾

コルヒクム丁幾ハ 一分(1)
 コルヒクム子粗末 十分(10)
 稀酒精

ヲ取り十日間冷浸シ壓搾シ濾過シ製スヘシ
 本品ハ黄色ノ液ナリ
 本品二十滴ヲ蒸發シテ得タル残渣ニ硫酸五滴ヲ和シ尋テ硝酸カリウム一小片ヲ投シテ攪拌スレハ直チニ消失スヘキ藍紫色ヲ呈ス(1)

注意シテ貯フヘシ
 一回ノ極量 ニグラム(2g)
 一日ノ極量 六グラム(6g)
 (註) 解 (1)コルヒチン「ノ實性反應
 (醫治効用) 痛風、痲瘋實斯、神經痛等ニ一日數回十―四十滴ヲ用フ

Tinctura Colocyntididis.

コロシント丁幾

コロシント丁幾ハ
 コルヒクム丁幾 コロシント丁幾

五五七

コロシント丁幾 コロムボ丁幾

種子ヲ除キタル中割截コロシント實
酒精

一分(1)
十分(10)

五五八

ヲ取り製スヘシ

本品ハ黄色ノ液ニシテ甚シキ苦味ヲ有ス

本品五滴ヲ蒸發シテ得タル殘渣ニ二二滴ノ硫酸ヲ加フレハ橙赤色ヲ呈ス
注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 一グラム(1g)
一日ノ極量 三グラム(3g)

(醫治効用)

利尿劑、峻下劑ニシテ一日二三回五—二十滴ヲ用フ

Tinctura Colombo.

コロムボ丁幾

コロムボ丁幾ハ

コロムボ根粗末

稀酒精

一分(1)
十分(10)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ黄褐色ノ液ニシテ味苦シ

(醫治効用)

慢性下痢ニ一日四回二十—四十滴ヨリ一茶匙ヲ用フ

Tinctura Croci.

サフラン丁幾

サフラン丁幾ハ

中割截サフラン

稀酒精

一分(1)
十分(10)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ暗橙黄色ノ液ナリ

本品一立方センチメートル(1ccm)ニ水二十立方センチメートル(20ccm)ヲ加ヘテ稀釋シタル液一立方センチメートル(1ccm)ヲ水十立方センチメートル(1000ccm)ニ混和スルニ尙著シク黄色ヲ呈セサルヘカラ

ス(1)

(註) 解

(1) 本品ノ特徴

サフラン丁幾ト同一ノ目的ニ一日數回二十—三十滴ヲ用フ

Tinctura Digitalis.

ヂギタリス丁幾

ヂギタリス丁幾ハ

ヂギタリス葉粗末

稀酒精

一分(1)
十分(10)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ綠色乃至帶褐綠色ノ液ニシテ「ヂギタリス葉ノ臭氣ヲ有シ味苦シ

サフラン丁幾 ヂギタリス丁幾

五五九

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ同容量ノ水ヲ混和シ重湯煎上ニ蒸發シテ約十立方センチメートル(10 ccm)トナルニ至リ之ニ次醋酸鉛溶液ヲ加ヘテ充分ニ沈澱セシメタル後液ヲ分液漏斗中ニ濾入シ之ニ「クロロフォルム」十立方センチメートル(10 ccm)ヲ注キ振盪シ静置シ澄明ノ「クロロフォルム」液ヲ分取シ蒸發シテ得タル殘留物ヲ三立方センチメートル(3 ccm)ノ水醋酸ニ溶解シ之ニ一滴ノ稀過クロール鐵溶液ヲ添加シ硫酸ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ褐赤色ノ輪帶ヲ生シ其上部ニ藍綠色ノ層ヲ現ハササルヘカラス(一)

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 一・五グラム(1.5 g)

一日ノ極量 五グラム (5 g)

(註) 解 (一)本品ノ特徴ニシテ「ナギトキシ」ノ存在ニ基因ス
(醫治効用) ナギタリス葉ト同一ノ目的ニ一日數回五—二十滴ヲ用フ

Tinctura Ferri aetherea.

エーテル性鐵丁幾

エーテル性鐵丁幾ハ

過クロール鐵液

エーテル

酒精

ヲ取リ混和シ無色硝子壺ニ容レ密栓シ日光ニ曝シ其褐黄色ノ全ク消失スルニ至リ陰處ニ移シ時々開栓シ鮮黄色ヲ呈スルヲ度トシ製スヘシ

一分(一)
二分(二)
七分(三)

本品ハ鮮黄色ノ液ニシテ比重〇・八五乃至〇・八六ナリ

本品ハ百分中一分ノ純鐵(Fe=55.84)ヲ含有ス

本品ニ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ黄色血滲鹽溶液並赤色血滲鹽溶液ニ由テ藍色、アムモニア水ニ由テ汚綠色乃至褐色又硝酸銀溶液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス(一)

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ醋酸カリウム溶液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ混和シ振盪シ靜置スルニ三乃至四立方センチメートル(3—4 ccm)ノ「エーテル」液ヲ析出スヘシ(二)

(註) 解 (一)實性反應(二)エーテル「」正當量ヲ含有スルコトヲ證スル試驗ニシテ醋酸カリウム溶液ニ由テ酒精含有ノ「エー

テル」液ヲ析出ス

(醫治効用) 萎黃病、貧血症ニ一日數回十—四十滴ヲ用フ

Tinctura Ferri pomati.

林檎鐵丁幾

林檎鐵丁幾ハ

林檎鐵越幾斯

ヲ取リ

酒精

桂皮水

一分(一)

二分(二)

七分(三)

ノ混液ニ溶解シ濾過シ製スヘシ

本品ハ暗褐黑色ノ液ニシテ桂皮ノ香氣及緩和ナル鐵味ヲ有ス
(醫治効用) 緩和ナル鐵劑ニシテ一日數回二十—三十滴ヲ用フ

五倍子丁幾 複方ゲンチアナ丁幾

Tinctura Gallarum.

五倍子丁幾

五倍子粗末
稀酒精

一分(一)
五分(五)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶黃褐色ノ液ニシテ水ニ澄明ニ混和シ之ニ過クロール鐵溶液ヲ滴加スレハ藍黑色ノ沈澱ヲ生ス
(醫治効用) 其ノマ、又ハ稀釋シテ齒齦腫、口内炎、扁桃腺炎ニ塗布シ又ハ等分ノ「ヨード丁幾」ニ和シ凍傷ニ用フ

Tinctura Gentianae composita.

複方ゲンチアナ丁幾

複方ゲンチアナ丁幾ハ
ゲンチアナ根粗末
橙皮粗末
小豆蔻粗末
酒精
蒸餾水

十分(十)
四分(十)
一分(一)
四十分(四十)
五十分(五十)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶赤黃褐色ノ液ナリ氣味芳香性ニシテ苦シ
(醫治効用) ゲンチアナ丁幾ニ同シ

Tinctura Gentianae scabrae.

龍膽丁幾

龍膽粗末
稀酒精

一分(一)
五分(五)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶赤黃褐色ノ液ニシテ強苦味ヲ有ス
(醫治効用) 苦味健胃劑トシテ一日數回二十ト六十滴ヲ用フ

Tinctura Guajac.

癒瘡木丁幾

癒瘡木粗末
酒精

一分(一)
五分(五)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ暗赤褐色ノ液ニシテ芳香ヲ有ス
(醫治効用) 梅毒、痛風、痲瘋質等ニ一日數回二十ト三十滴ヲ用フ

龍膽丁幾 癒瘡木丁幾

Otinctura Ipecacuanhae.
吐根丁幾

吐根丁幾ハ

吐根粗末

稀酒精

一分(1)
十分(10)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶赤褐色ノ液ナリ

本品二十五グラム(25g)ニ稀鹽酸一立方センチメートル(1ccm)ヲ和シ重湯煎上ニ蒸發シテ約八立方センチメートル(8ccm)トナシ冷後水十立方センチメートル(10ccm)ヲ加ヘ濾過シ洗滌シ其濾液及洗液ヲ合シ之ニ「エーテル五十立方センチメートル(50ccm)ヲ加ヘ善ク振盪シ次ニ「アムモニア水二立方センチメートル(2ccm)ヲ和シ五分時間屢強ク振盪シ更ニ十五分時間靜置シタル後澄明ノ「エーテル液ヲ精製綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液四十立方センチメートル(40ccm)ヲ蒸餾シテ「エーテル」ヲ去リ殘渣ニ五立方センチメートル(5ccm)ノ純アルコホル」ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ水十立方センチメートル(10ccm)「エーテル三十立方センチメートル(30ccm)及三滴ノ「ヘマトキシリン溶液ヲ和シ輕ク搖動シツツ十分定規鹽酸ヲ滴加シ赤褐色ノ混液ヲ生スルニ至リ更ニ水三十立方センチメートル(30ccm)ヲ加ヘ屢強ク振盪シツツ復タ十分定規鹽酸ヲ滴加シテ下層ノ水液黄色ヲ呈スルニハ少ナクモ其一・七立方センチメートル(1.7ccm)ヲ費ササルヘカラス(11)
注意シテ貯フヘシ

(註) 解

(一)本品二十グラムニ相當ス(二十分定規鹽酸一立方センチメートルハ吐根アルカロイド〇・〇二三六七グラムニ對應シ其最少含量約〇・二%ヲ徵ス(吐根參照)

(醫治効用)

主トシテ祛痰ノ目的ニ一日數回十〜三十滴ヲ用フ

Otinctura Jodi.

ヨード丁幾

ヨード丁幾ハ

ヨード

ヨードカリウム

ヲ取り

蒸餾水

ニ溶解シ之ニ

酒精

ヲ混和シ製スヘシ

十分(10)
七分(7)
十分(1)
百分(100)

本品ハ暗赤褐色ノ液ニシテ「ヨード」ノ臭氣ヲ有ス
本品十グラム(10g)ヲ瓷皿ニ取り重湯煎上ニ蒸發シ其殘留物ニ水ヲ加ヘテ濡ホシ蒸發シ數回此操作ヲ反覆シ全ク白色トナルニ至ルニ其重量約〇・五五グラム(0.55g)ナラサルヘカラス(1)
本品二グラム(2g)ニ水二十五立方センチメートル(25ccm)ヲ混和セルモノヲ脱色スルニハ十分定規次亞硫酸ナトリウム液十一・四乃至十二・四立方センチメートル(11.4〜12.4ccm)ヲ費ササルヘカラス(標示藥液粉溶液)(11)

壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 〇・ニグラム(0.2g)
一日ノ極量 〇・六グラム(0.6g)

(註) 解

〇〇一二六九ニグラムニ對應シ純ヨードノ含量七・三二七・八七%ニ該當ス

(醫治効用)

シノ類ニ和シ慢性炎症、癩疽及肋膜炎等吸收目的ニ、慢性癩癧質新、畸形性關節炎、諸種ノ寄生生物性、腺病性及梅毒性皮膚病等ニ塗布シ又ハ瘻口其他病的腔ノ癒著性炎衝ヲ誘致スル爲ニ注射シ若クハ肥大性淋巴腺、攝護腺、甲狀腺等ヲ縮小スル爲ニ實質内注射ス

Tinctura Jodi diluta.
稀ヨード丁幾

稀ヨード丁幾ハ

ヨード丁幾

ヲ取リ

蒸餾水

酒精

ノ混液ヲ加ヘ振盪シ製スヘシ

本品ハ赤褐色ノ液ニシテ「ヨード」ノ臭氣ヲ有ス

本品ノ試験ハ「ヨード丁幾」ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品六グラム(6g)ニ水二十五立方センチメートル(25cc)ヲ混和セルモノヲ脱色スルニハ十分定規次亞硫酸ナトリウム液十一・四乃至十二・四立方センチメートル(11.4-12.4cc)ヲ費ササルヘカラス(標示藥澱粉溶液)(1)

壘中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

〔註〕 解 (一)十分定規次亞硫酸ナトリウム液一立方センチメートルハヨード〇〇一二六九ニグラムニ對應シ純ヨード

十一分(11)

二分(2)

二十分(20)

ノ含量二・四乃至二・六%ヲ該當ス
(醫治効用) ヨード丁幾ノ條ヲ參照スヘシ

Tinctura Lobeliae.

ロベリア丁幾

ロベリア丁幾ハ

ロベリア草粗末

稀酒精

ヲ取リ製スヘシ

本品ハ帶褐綠色ノ液ナリ

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量

一日ノ極量

(醫治効用)

喘息、呼吸困難ニ一日數回十一二十滴ヲ用フ

Tinctura Myrrhae.
ミルラ丁幾

ミルラ丁幾ハ

ミルラ細末

酒精

ロベリア丁幾

ミルラ丁幾

一分(1)

十分(10)

一分(1)
五分(5)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶褐赤黄色ノ液ナリ氣味芳香性ニシテ苦シ

(醫治効用)

主トシテ外用ニ供シ弛緩腐敗性ノ潰瘍及創傷、齒齦疾患等ニ塗布シ又ハ含嗽水ニ添加ス

Tinctura Opii.

阿片丁幾

阿片丁幾ハ

阿片

稀酒精

蒸餾水

ヲ取り製スヘシ

本品ハ赤褐色ノ液ニシテ味苦シ

本品十分中ニハ阿片一分中ノ可溶成分ヲ含有ス

本品五十グラム(50g)ヲ重湯煎上ニ蒸發シテ殆ト乾燥スルニ至リ其殘留物ヲ阿片ノ條ニ掲クル方法ニ據

テ試験スルニ十分定規カリ液ノ消費量十二・二乃至十二・九立方センチメートル(12.2-12.9 ccml)ナラサルヘ

カラス(又此中和液ノ試験ハ阿片ノ條ニ掲クル所ニ同シ)

注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 一・五グラム(1.5g)

一日ノ極量 五グラム(5g)

(註 解)

(一)モルヒネノ含量一・〇—一・一%ニ該當ス(阿片参照)

(醫治効用)

下痢ニ一日數回五—十滴ヲ、鎮靜及催眠劑トシテ十—二十滴ヲ用フ

Tinctura Opii benzoica.

阿片安息香丁幾

阿片安息香丁幾ハ

阿片

安息香酸

精製樟腦

茴香油

稀酒精

ヲ取り製スヘシ

本品ハ淡褐黄色ノ液ニシテ樟腦及茴香油ノ氣味ヲ有ス

本品二百分中ニハ阿片一分中ノ可溶成分ヲ含有ス

注意シテ貯フヘシ

(醫治効用)

氣管枝加答兒、咳嗽等ニ祛痰劑トシテ一日數回二十—六十滴(小兒ニハ五—十滴)ヲ用フ

Tinctura Quassiae.

クワツシア丁幾

苦木丁幾

クワツシア丁幾ハ

阿片安息香丁幾

クワツシア丁幾

クワツシア丁幾 大黃丁幾

五七〇

クワツシア木粗末

一分(一)
五分(二)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ黄色ノ液ニシテ味甚タ苦シ

(醫治効用) 苦味健胃劑トシテ一日數回二十—六十滴ヲ用フ

Tinctura Rhei.

大黃丁幾

大黃丁幾ハ

粗剉截大黃

十分 (10)

桂皮粗末

一分 (1)

粗剉截小豆蔻

一分 (1)

酒精

五十分 (50)

蒸餾水

五十分 (50)

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶褐黄色ノ液ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス

本品ニ「ナトロン」滴液ヲ加フレハ赤褐色ニ變ス

(醫治効用) 健胃劑トシテ一日數回半乃至一茶匙ヲ、下劑トシテ一食匙ヲ用フ

Tinctura Rhei aquosa.

水製大黃丁幾

水製大黃丁幾ハ

粗剉截大黃

十分 (10)

炭酸カリウム

一分 (1)

硼砂

一分 (1)

ヲ取り之ニ

熱蒸餾水

九十分 (90)

ヲ注キ十五分時間放置シ

酒精

九分 (9)

ヲ加ヘ更ニ一時間ヲ經タル後輕ク壓搾シテ濾過シ

其濾液

八十五分 (85)

桂皮水

十五分 (15)

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ褐赤色ノ液ニシテ大黃ノ氣味ヲ有シ水ニ溷濁セスシテ混和ス

用ニ臨テ製スヘシ

(醫治効用) 健胃劑トシテ半—一茶匙宛、緩下劑トシテ一食匙宛ヲ用フ

水製大黃丁幾

五七一

Tinctura Scopoliae.

莨菪丁幾

莨菪丁幾(一)ハ

莨菪根中末

稀酒精

ヲ取り製スヘシ

本品ハ帶黄褐色ノ液ナリ

本品六十グラム(60g)ヲ重湯煎上ニ蒸發シテ約十立方センチメートル(10cc)トナシ冷後水ヲ加ヘテ二十立方センチメートル(20cc)トナシ濾過シ其濾液十五立方センチメートル(15cc)ニ「エーテル」九十立方センチメートル(90cc)ヲ加ヘ善ク振盪シ次ニ「アムモニア」水五立方センチメートル(5cc)ヲ和シ屢、強ク振盪シツツ十五分時間放置シ更ニ十五分時間靜置シタル後澄明ノ「エーテル」液ヲ精製綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液八十立方センチメートル(80cc)「D」ヲ蒸餾シテ「エーテル」ヲ去リ殘渣ニ五立方センチメートル(5cc)ノ純アルコホル」ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ水十立方センチメートル(10cc)「エーテル」三十立方センチメートル(30cc)及三滴ノ「ヘマトキシリン」溶液ヲ和シ輕ク搖動シツツ百分定規鹽酸ヲ滴加シ赤褐色ノ混液ヲ生スルニ至リ更ニ水三十立方センチメートル(30cc)ヲ加ヘ屢、強ク振盪シツツ復タ百分定規鹽酸ヲ滴加シテ下層ノ水液黄色ヲ呈スルニハ其四・八立方センチメートル(4.8cc)ヲ費ササルヘカラス

(三)又此中和液十立方センチメートル(10cc)ヲ蒸發シ其殘渣ニ發烟硝酸二三滴ヲ加ヘ更ニ蒸發シテ得タルモノニ純アルコホル一立方センチメートル(1cc)ヲ加ヘテ溶解シ之ニ酒精製カリ油液二三滴ヲ和スルニ紫色ヲ呈セサルヘカラス(四)

注意シテ貯フヘシ

一分(1)
五分(5)

一回ノ極量 一グラム(1g)
一日ノ極量 三グラム(3g)

(註)

解 (一)主成分ハ「ヒオスチアミン」アトロピン「ナル」アルカロイドトス(二)本品四十グラムニ相當ス(三)百分定規鹽酸一立方センチメートルハ「ヒオスチアミン」〇・〇〇二八九グラムニ對應シ從テ「アルカロイド」含量ハ〇・〇三五トス(四)莨菪アルカロイドノ實性反應

(醫治効用)

莨菪越幾斯ト同一ノ目的ニ一日數回十一二十滴ヲ用フ

Otinctura Strophanthi.

ストロファンツス丁幾

ストロファンツス丁幾ハ

ストロファンツス子中末

ヲ取り

エーテル

ヲ撒注シ充分ニ混和シ密閉シ二十四時間放置シタル後壓搾シテ成ルヘク「エーテル」液ヲ去リ更ニ

エーテル

ヲ撒注シ操作ヲ反覆スルコト前ノ如クシ尋テ氣中ニ乾燥シタル後

稀酒精

ヲ注キ常法ニ從ヒ製スヘシ

本品ハ帶褐黄色澄明ノ液ニシテ苦味ヲ有ス

本品十滴ヲ重湯煎上ニ蒸發シ稀硫酸十滴ヲ加ヘテ温メ其澄明液ヲ取り之ニ硫酸十滴ヲ和スレハ綠色ヲ呈